

# 久喜市子育て支援に関するアンケート調査 結果報告書

平成31年3月



久喜市



# 目 次

第1章 調査概要	1
1 調査目的	3
2 実施概要	3
3 回収結果	3
4 報告書の見方	3
第2章 調査結果の概要	5
1 保護者の就労状況	7
（1） 就学前児童の保護者の家庭類型	7
（2） 小学生の保護者の家庭類型	8
（3） 母親の就労状況	9
2 定期的な教育・保育事業の利用	10
（1） 平日の利用状況と利用希望	10
（2） 土日祝日及び長期休暇期間中の利用希望	11
3 一時保育及び病児・病後児保育の利用	12
（1） 一時保育の利用希望	12
（2） 病児・病後児保育の利用希望	12
4 放課後の過ごし方	13
（1） 希望する低学年時の放課後の過ごし方	13
（2） 希望する高学年時の放課後の過ごし方	13
（3） 土日祝日及び長期休暇期間中の利用希望	14
5 子育て全般	15
（1） 久喜市における子育ての環境や支援への満足度	15
（2） 市の子育て支援の取組	16
（3） 子育てに関する情報の入手手段	18
（4） 子育てに関する必要な情報	19
（5） 子育て支援センター・児童館・児童センターへの要望	20
（6） 子育て支援センター・児童館・児童センターを利用していない理由	21
（7） 久喜市の子育て環境を良くしていくために充実していくべきこと	22
第3章 就学前児童	23
1 お子様とご家族のことについて	25
2 子どもの育ちをめぐる環境について	29
3 保護者の就労状況について	35
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	46

5	地域の子育て支援事業の利用状況について.....	55
6	土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	63
7	お子様の病気の際の対応について.....	68
8	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	76
9	小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	84
10	職場の両立支援制度について.....	91
11	子育て支援施策全般について.....	106
第4章 小学生保護者.....		115
1	お子様とご家族のことについて.....	117
2	子どもの育ちをめぐる環境について.....	121
3	保護者の就労状況について.....	125
4	放課後の過ごし方について.....	135
5	地域の子育て支援事業の利用状況について.....	142
6	お子様の病気の際の対応について.....	147
7	一時預かり等の利用について.....	152
8	子育て支援施策について.....	160

# 第1章 調査概要



## 1 調査目的

久喜市では、子どもが健やかに成長し、保護者の皆さまが子育てに喜びを感じることができる社会・地域づくりを目指し、さまざまな子育て支援施策を進めています。

本調査は、さらなる教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市民の利用状況や利用希望を把握することを目的として実施しました。

## 2 実施概要

- 対象地域 : 久喜市全域
- 対象者 : ①就学前児童の保護者 3,000 件  
②小学校 1, 2 年生の保護者 1,000 件  
※①②ともに平成 30 年 12 月 1 日時点の住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間 : 平成 31 年 1 月 11 日～平成 31 年 1 月 31 日
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収（礼状兼督促状 1 回）

## 3 回収結果

対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
①就学前児童の保護者	3,000	1,900	63.3%
②小学校 1, 2 年生の保護者	1,000	631	63.1%

## 4 報告書の見方

- ・調査結果の数値は、各問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で表記しています。ただし、経年変化等の母数が異なるものを比較する場合は、割合の差（ポイント）で表記しています。
- ・集計は、小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までを表記しています。このため、回答比率の合計が、100.0%にならない場合があります。また、複数回答可の質問では、回答者数（n）に対する回答比率のため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。
- ・回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すにとどめている場合があります。





## 第2章 調査結果の概要



## 1 保護者の就労状況

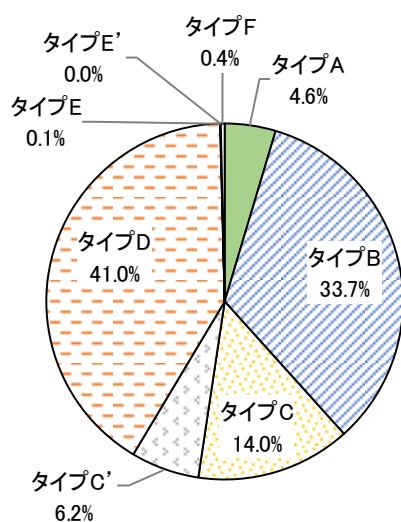
### (1) 就学前児童の保護者の家庭類型

就学前児童の保護者の就労状況について、国の「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」に基づき、家庭類型を算出すると次のようになります。

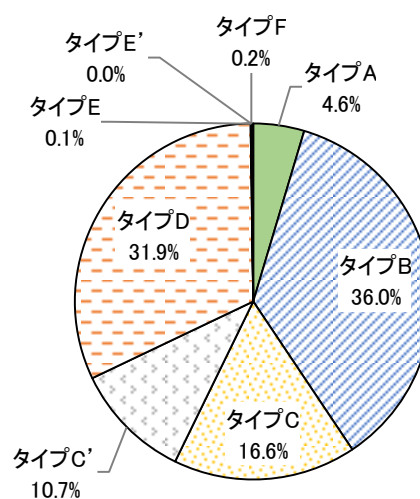
現在の家庭類型は、「タイプD」の専業主婦（夫）家庭が41.0%で最も多く、次いで、「タイプB」のフルタイムの共働き家庭が33.7%、「タイプC」のフルタイムとパートタイム（長時間）の共働き家庭が14.0%などとなっています。

母親の今後の就労希望を反映した潜在的な家庭類型をみると、「タイプB」のフルタイムの共働き家庭、「タイプC」のフルタイムとパートタイム（長時間）の共働き家庭、「タイプC'」のフルタイムとパートタイム（短時間）の共働き家庭への移行を希望している家庭が多いことがわかります。

【現在の家庭類型(0歳～就学前家庭)】



【潜在的な家庭類型(0歳～就学前家庭)】



		現在の家庭類型		潜在的な家庭類型	
		実数	割合	実数	割合
タイプA	ひとり親	79	4.6%	79	4.6%
タイプB	フルタイム×フルタイム	577	33.7%	616	36.0%
タイプC	フルタイム×パートタイム(長時間)	240	14.0%	284	16.6%
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短時間)	106	6.2%	183	10.7%
タイプD	専業主婦(夫)	702	41.0%	545	31.9%
タイプE	パートタイム×パートタイム(ともに長時間)	1	0.1%	1	0.1%
タイプE'	パートタイム×パートタイム(いずれかが短時間)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF	無業×無業	6	0.4%	3	0.2%
全体		1,711	100.0%	1,711	100.0%

## (2) 小学生の保護者の家庭類型

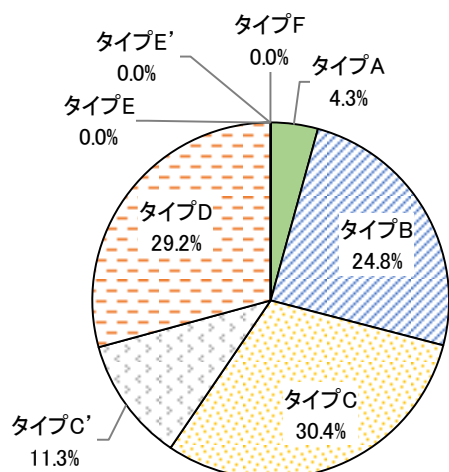
小学生の保護者の現在の家庭類型は、「タイプC」のフルタイムとパートタイム（長時間）の共働き家庭が30.4%で最も多く、次いで「タイプD」の専業主婦（夫）家庭が29.2%、「タイプB」のフルタイムの共働き家庭が24.8%となっています。

潜在的な家庭類型は、「タイプB」のフルタイムの共働き家庭、「タイプC'」のフルタイムとパートタイム（短時間）の共働き家庭への移行を希望している家庭が多いことがわかります。

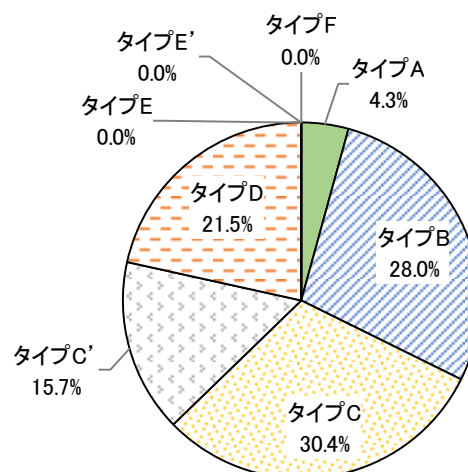
また、就学前児童と比較すると、「タイプC」のフルタイムとパートタイム（長時間）の共働き家庭、「タイプC'」のフルタイムとパートタイム（短時間）の共働き家庭が多いことがわかります。

なお、国の手引きは、就学前児童保護者の家庭類型の算出を基本としているため、小学生保護者の家庭類型は参考値とします。

【現在の家庭類型】



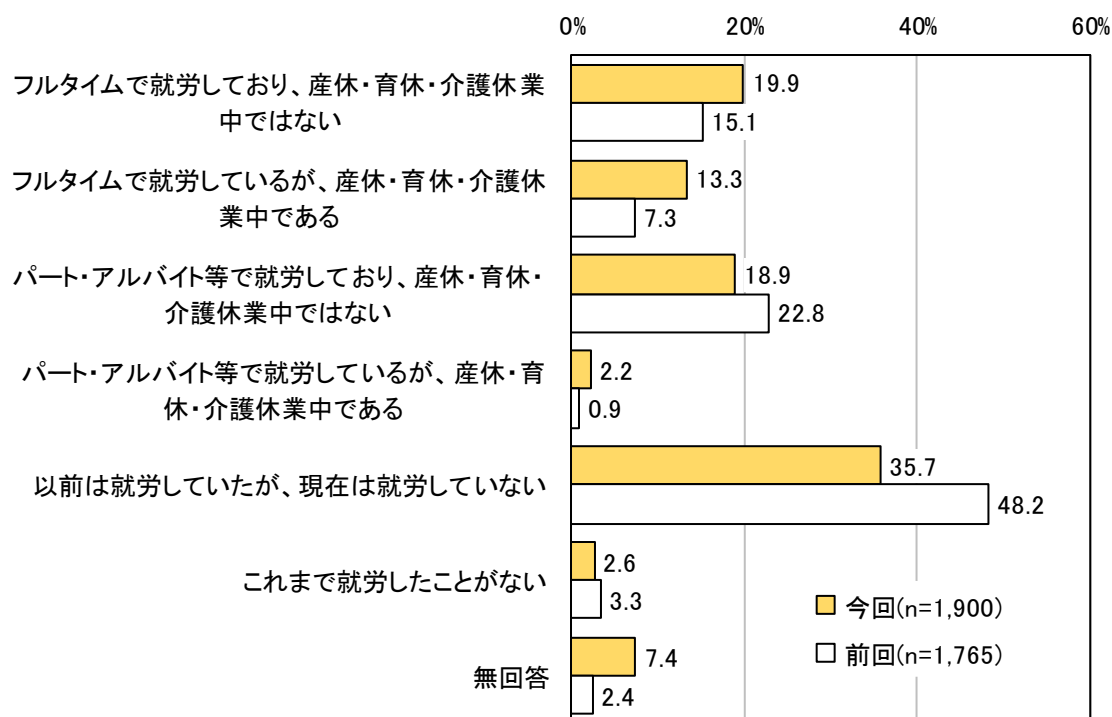
【潜在的な家庭類型】



		現在の家庭類型		潜在的な家庭類型	
		実数	割合	実数	割合
タイプA	ひとり親	25	4.3%	25	4.3%
タイプB	フルタイム×フルタイム	145	24.8%	164	28.0%
タイプC	フルタイム×パートタイム(長時間)	178	30.4%	178	30.4%
タイプC'	フルタイム×パートタイム(短時間)	66	11.3%	92	15.7%
タイプD	専業主婦(夫)	171	29.2%	126	21.5%
タイプE	パートタイム×パートタイム(ともに長時間)	0	0.0%	0	0.0%
タイプE'	パートタイム×パートタイム(いずれかが短時間)	0	0.0%	0	0.0%
タイプF	無業×無業	0	0.0%	0	0.0%
全体		585	100.0%	585	100.0%

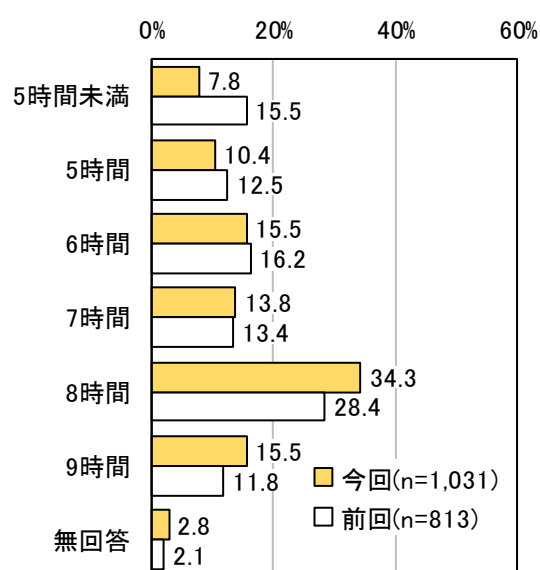
### (3) 母親の就労状況

前回（平成25年度）調査時の母親の就労状況と比較すると、就労している母親（休業中含む）が8.2ポイント増加し、一方で就労していない母親（したことがないを含む）が13.2ポイント減少しており、この5年間で就労している母親が増加していることがわかります。



また、一日の就労時間を比較すると、「7時間」から「9時間」の割合が高くなっており、就労時間も5年前から長くなっていることがうかがえます。

なお、時間の集計の考え方が前回調査と異なる可能性があるため、就労時間の比較については参考値とします。

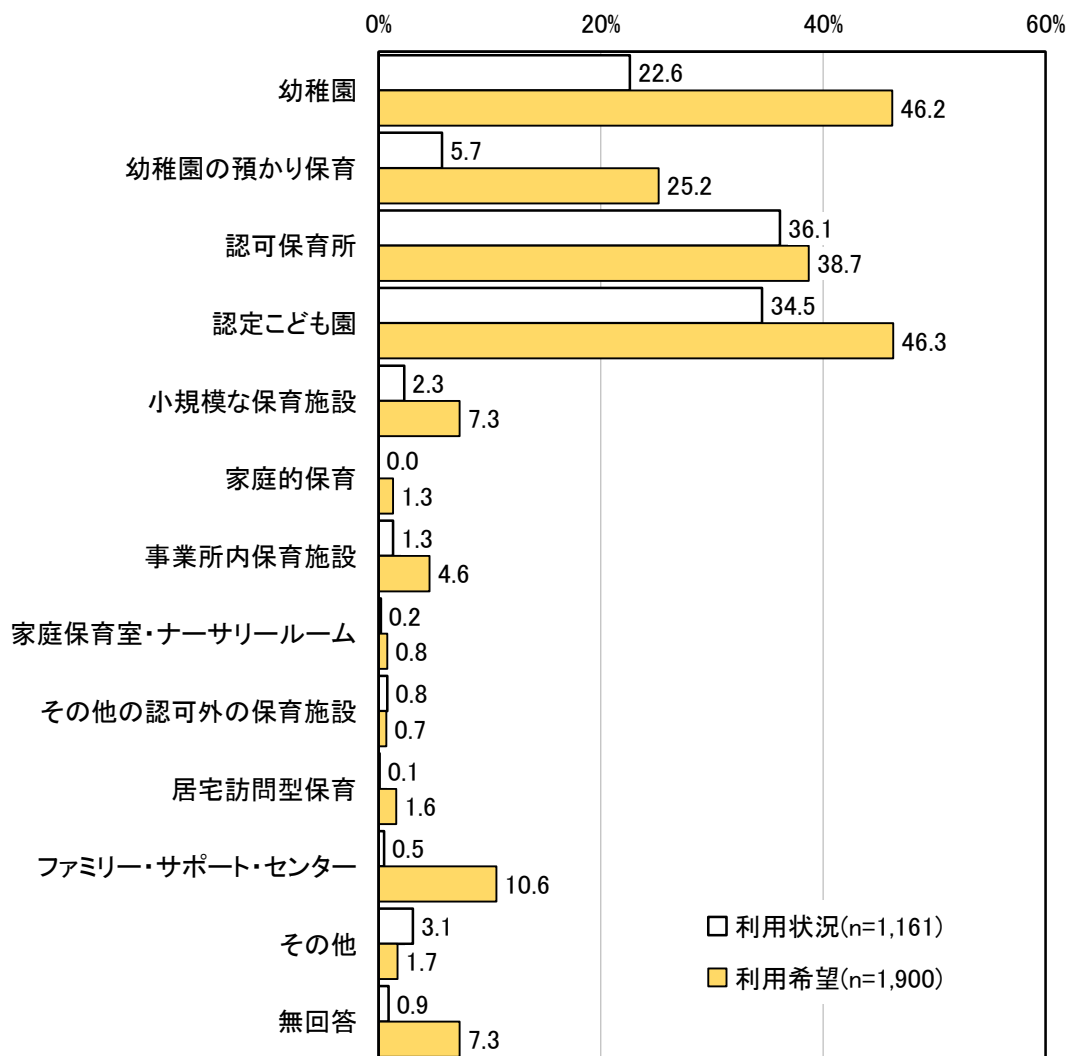


## 2 定期的な教育・保育事業の利用

### (1) 平日の利用状況と利用希望

利用している平日の定期的な教育・保育の事業は、「認可保育所」が36.1%で最も多く、次いで「認定こども園」が34.5%、「幼稚園」が22.6%などとなっています。

利用したい平日の定期的な教育・保育の事業は、「認定こども園」が46.3%で最も多く、次いで「幼稚園」が46.2%、「認可保育所」が38.7%、「幼稚園の預かり保育」が25.2%などとなっています。

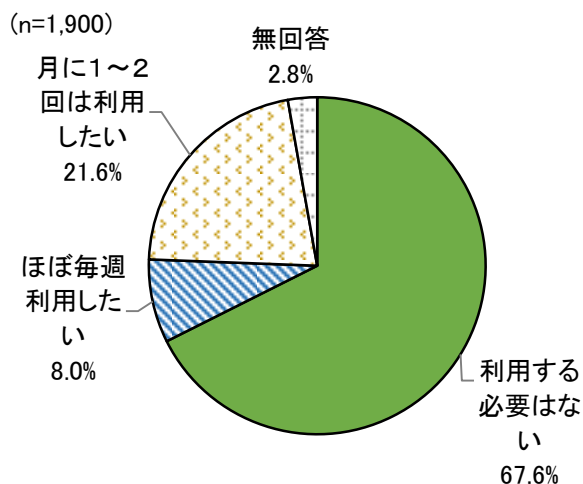


## (2) 土日祝日及び長期休暇期間中の利用希望

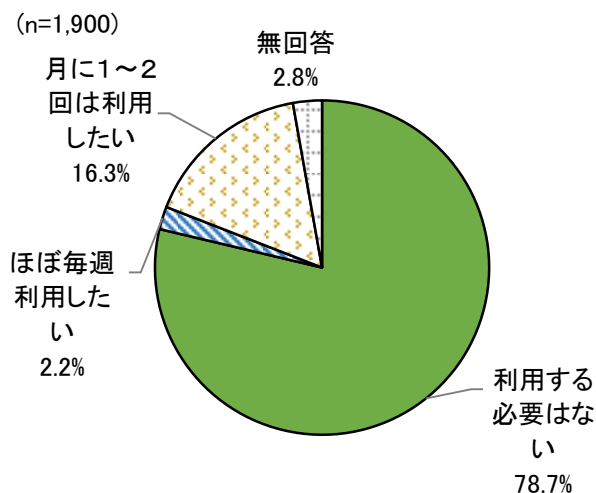
平日以外の定期的な教育・保育の事業の利用希望をみると、長期休暇期間中では「休みの期間中、ほぼ毎週利用したい」が12.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が46.2%で半数以上が利用を希望しています。

土曜日では29.6%、日曜・祝日では18.5%が利用を希望しています。

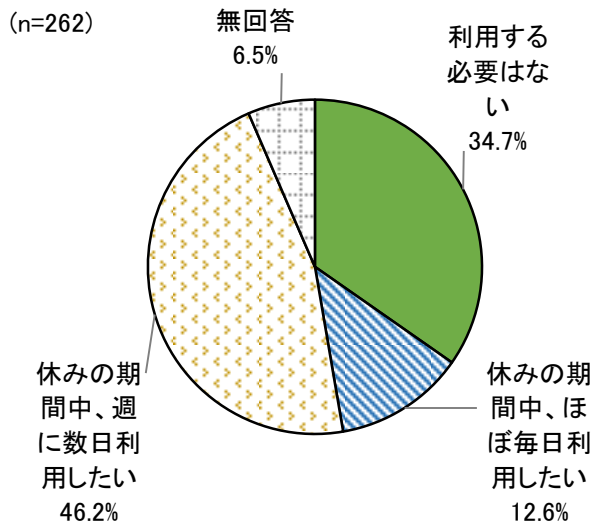
【土曜日の利用希望】



【日曜日の利用希望】



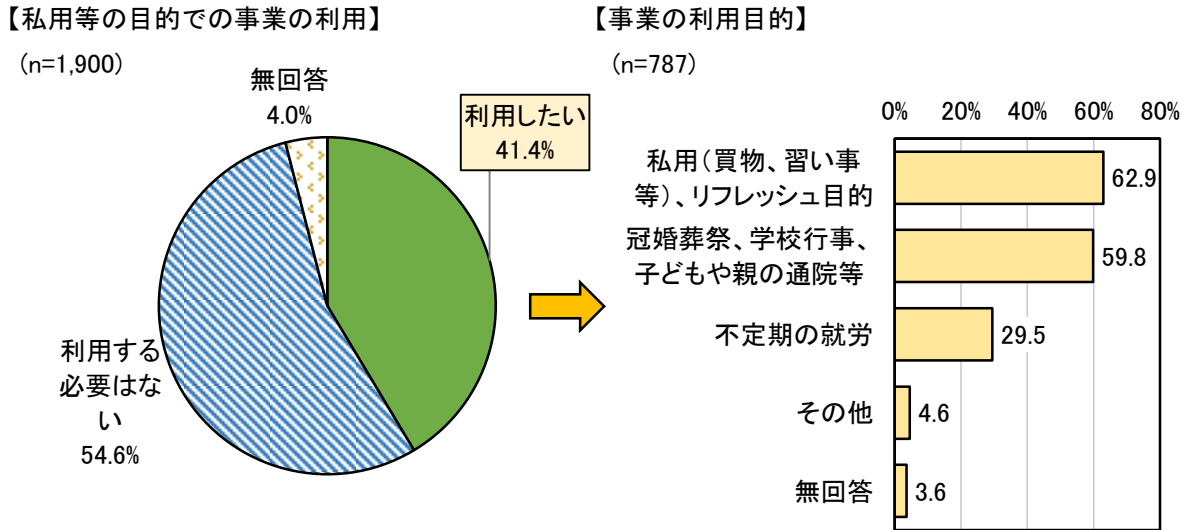
【長期休暇期間中の利用希望（幼稚園利用家庭）】



### 3 一時保育及び病児・病後児保育の利用

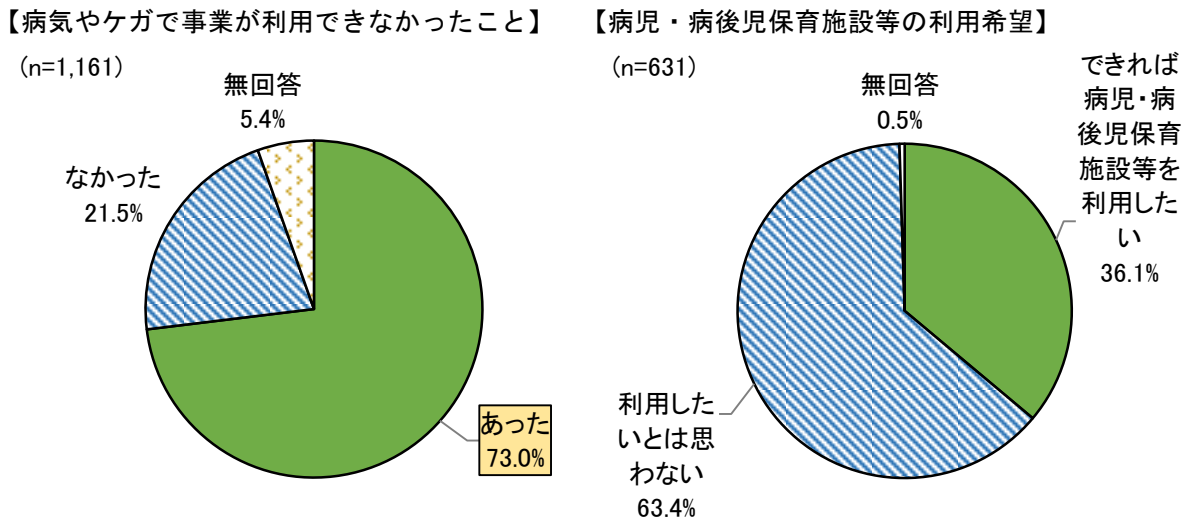
#### (1) 一時保育の利用希望

私用等の目的での事業の利用は、「利用したい」が41.4%となっており、利用目的としては、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が過半数を占めています。



#### (2) 病児・病後児保育の利用希望

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が73.0%となっており、そのうち36.1%が「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答しています。





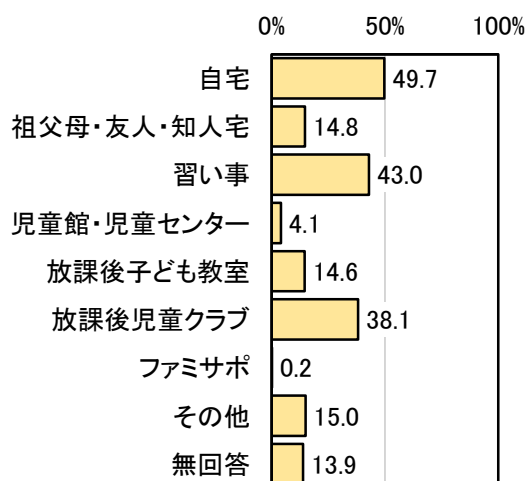
## 4 放課後の過ごし方

### (1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方

希望する低学年時の放課後の過ごし方は、就学前児童と小学生ともに「自宅」が最も多くなっています。「放課後児童クラブ」は就学前児童で38.1%、小学生で29.2%となっています。

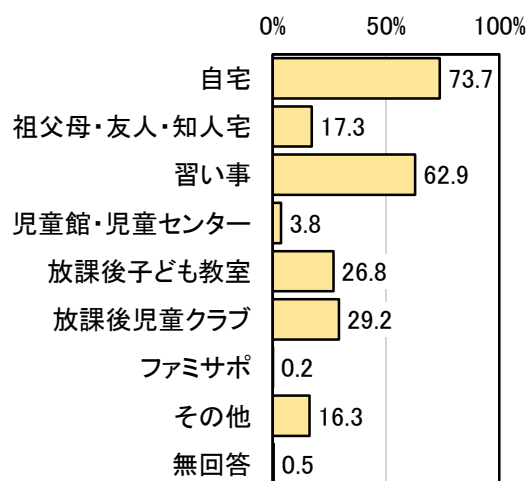
【就学前児童（5歳以上）】

(n=467)



【小学生】

(n=631)

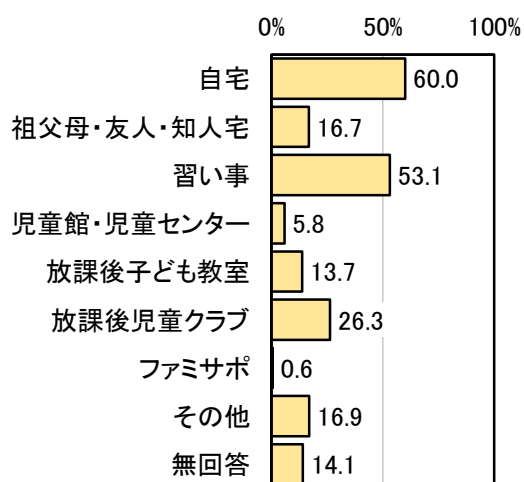


### (2) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

希望する高学年時の放課後の過ごし方においても、「自宅」が最も多くなっています。また、「習い事」が「自宅」に次いで多くなっており、「放課後児童クラブ」は20%台となっています。

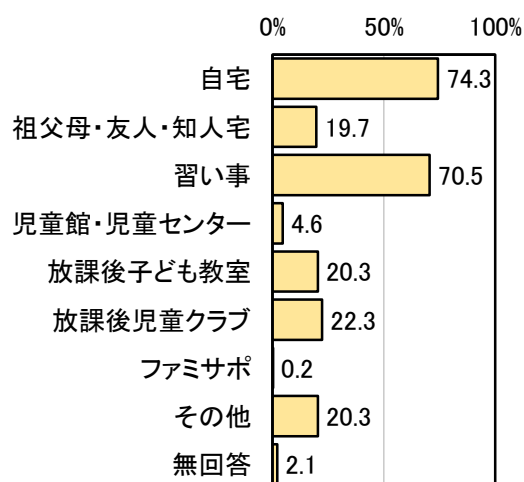
【就学前児童（5歳以上）】

(n=467)



【小学生】

(n=631)



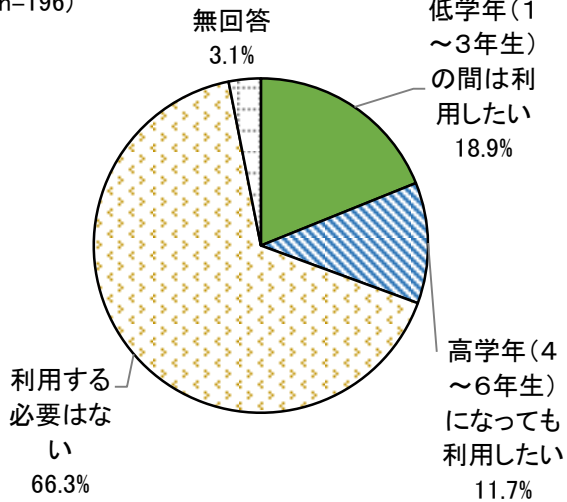
(3) 土日祝日及び長期休暇期間中の利用希望

平日以外の定期的な教育・保育の事業の利用希望をみると、長期休暇期間中では「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が43.9%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が47.4%で大半の家庭が利用を希望しています。

土曜日では30.6%、日曜・祝日では15.8%が利用を希望しています。

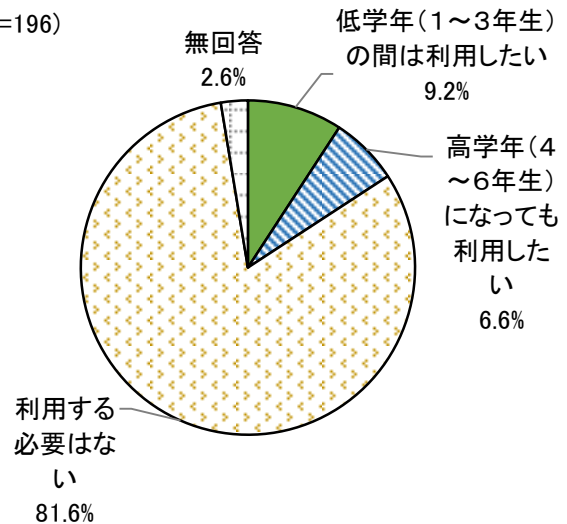
【土曜日の利用希望】

(n=196)



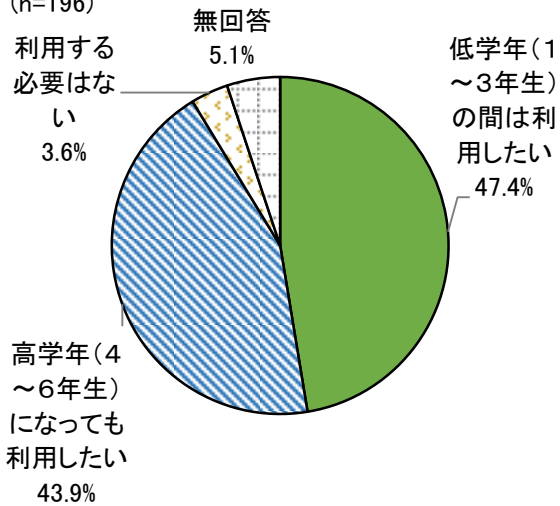
【日曜・祝日の利用希望】

(n=196)



【長期休暇期間中の利用希望】

(n=196)



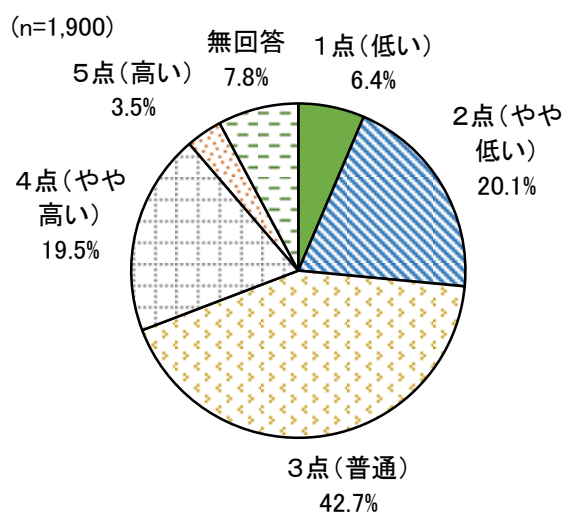
## 5 子育て全般(久喜市独自の質問)

### (1) 久喜市における子育ての環境や支援への満足度

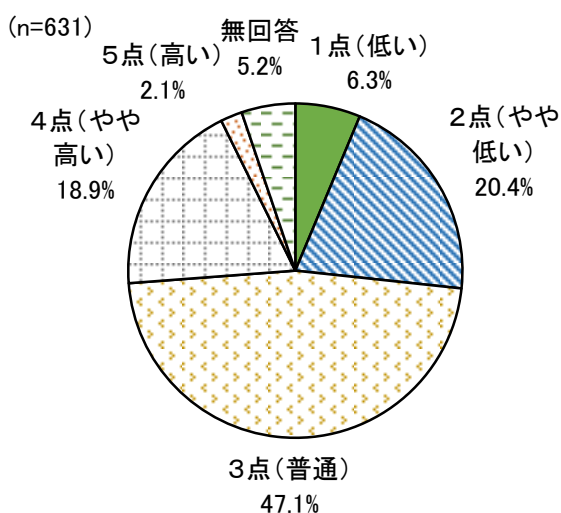
就学前児童では、「3点(普通)」が42.7%で最も多く、次いで「2点(やや低い)」が20.1%、「4点(やや高い)」が19.5%、「1点(低い)」が6.4%、「5点(高い)」が3.5%で、平均点は2.93点となっています。

小学生では、「3点(普通)」が47.1%で最も多く、次いで「2点(やや低い)」が20.4%、「4点(やや高い)」が18.9%、「1点(低い)」が6.3%、「5点(高い)」が2.1%で、平均点は2.89点となっており、就学前児童とおおむね同様の評価となっています。

【就学前児童】

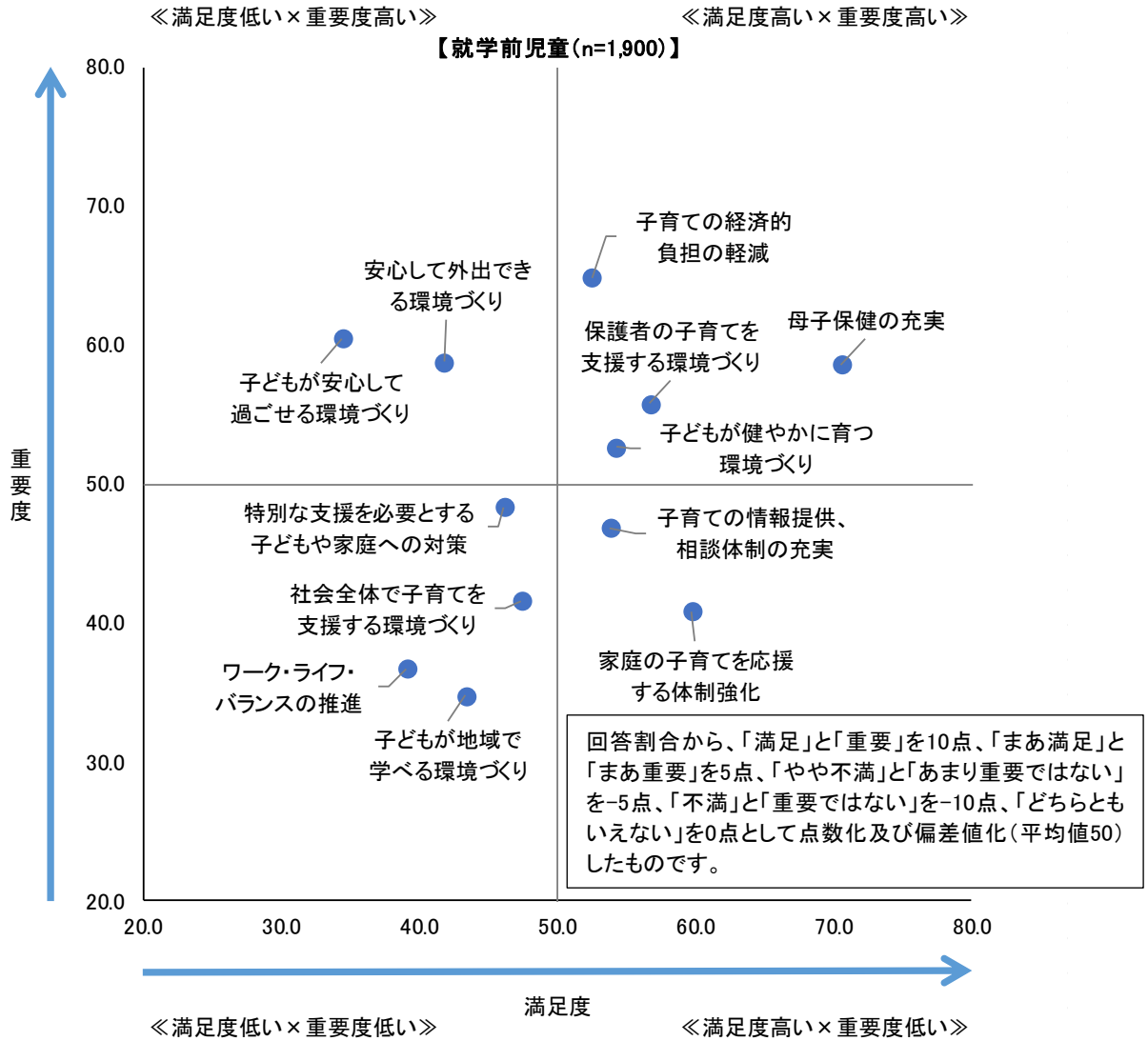


【小学生】



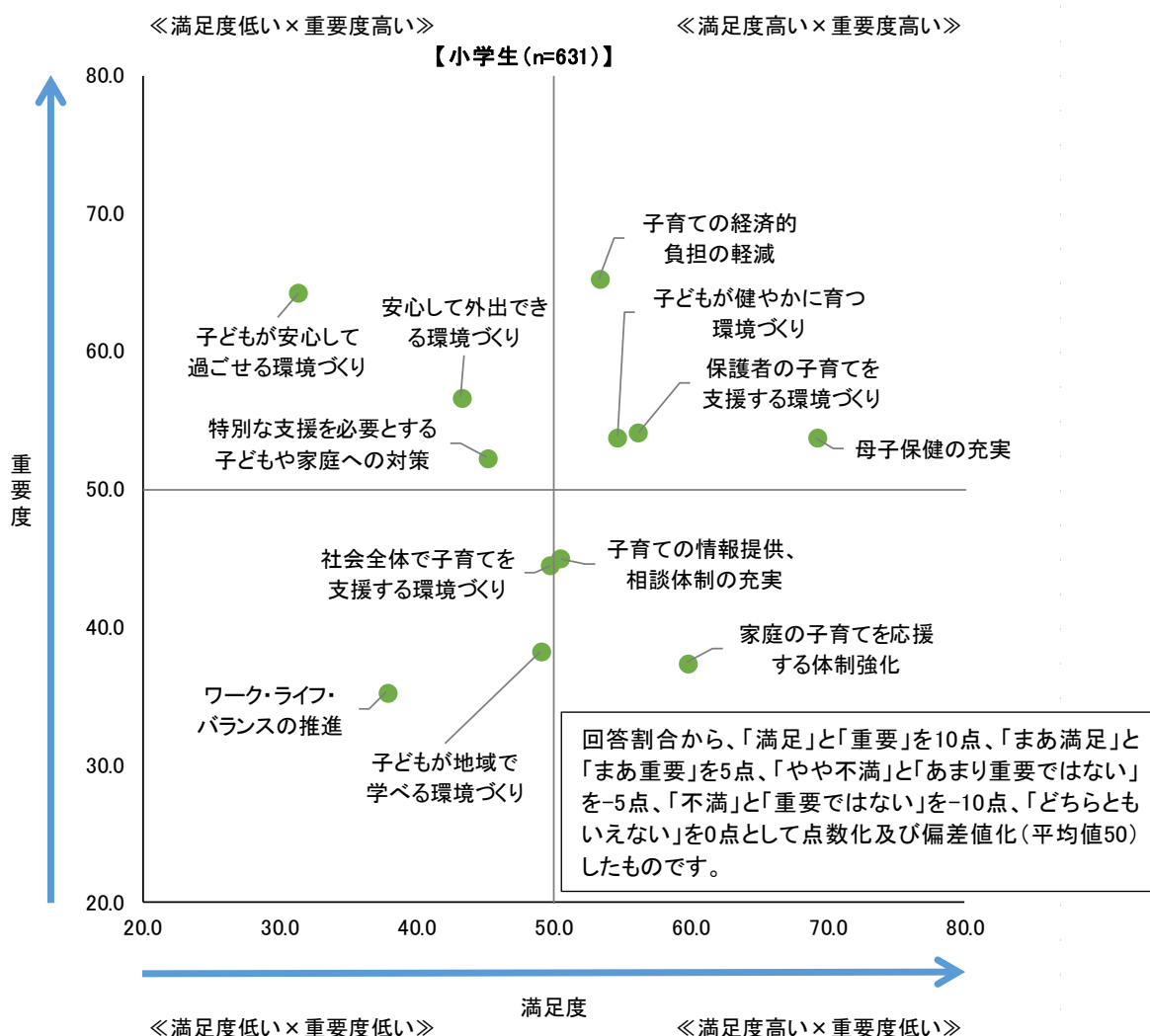
(2) 市の子育て支援の取組

市の子育て支援の取組について、就学前児童では「子どもが安心して過ごせる環境づくり」、「安心して外出できる環境づくり」が最優先施策として想定されます。



	得点		偏差値		評価区分		
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度低い	重要度高い	重点施策
子どもが健やかに育つ環境づくり	1.4	6.2	54.3	52.6		○	
子どもが地域で学べる環境づくり	0.5	3.5	43.4	34.7	○		
特別な支援を必要とする子どもや家庭への対策	0.7	5.5	46.2	48.3	○		
保護者の子育てを支援する環境づくり	1.6	6.6	56.7	55.8		○	
家庭の子育てを応援する体制強化	1.9	4.4	59.8	40.8			
子育ての情報提供、相談体制の充実	1.4	5.3	53.8	46.8			
子育ての経済的負担の軽減	1.3	8.0	52.5	64.9		○	
母子保健の充実	2.8	7.1	70.6	58.6		○	
社会全体で子育てを支援する環境づくり	0.8	4.5	47.4	41.6	○		
ワーク・ライフ・バランスの推進	0.1	3.7	39.1	36.7	○		
子どもが安心して過ごせる環境づくり	▲0.3	7.4	34.4	60.4	○	○	●
安心して外出できる環境づくり	0.4	7.1	41.8	58.8	○	○	●

小学生では「特別な支援を必要とする子どもや家庭への対策」、「子どもが安心して過ごせる環境づくり」と「安心して外出できる環境づくり」が最優先施策として想定されます。

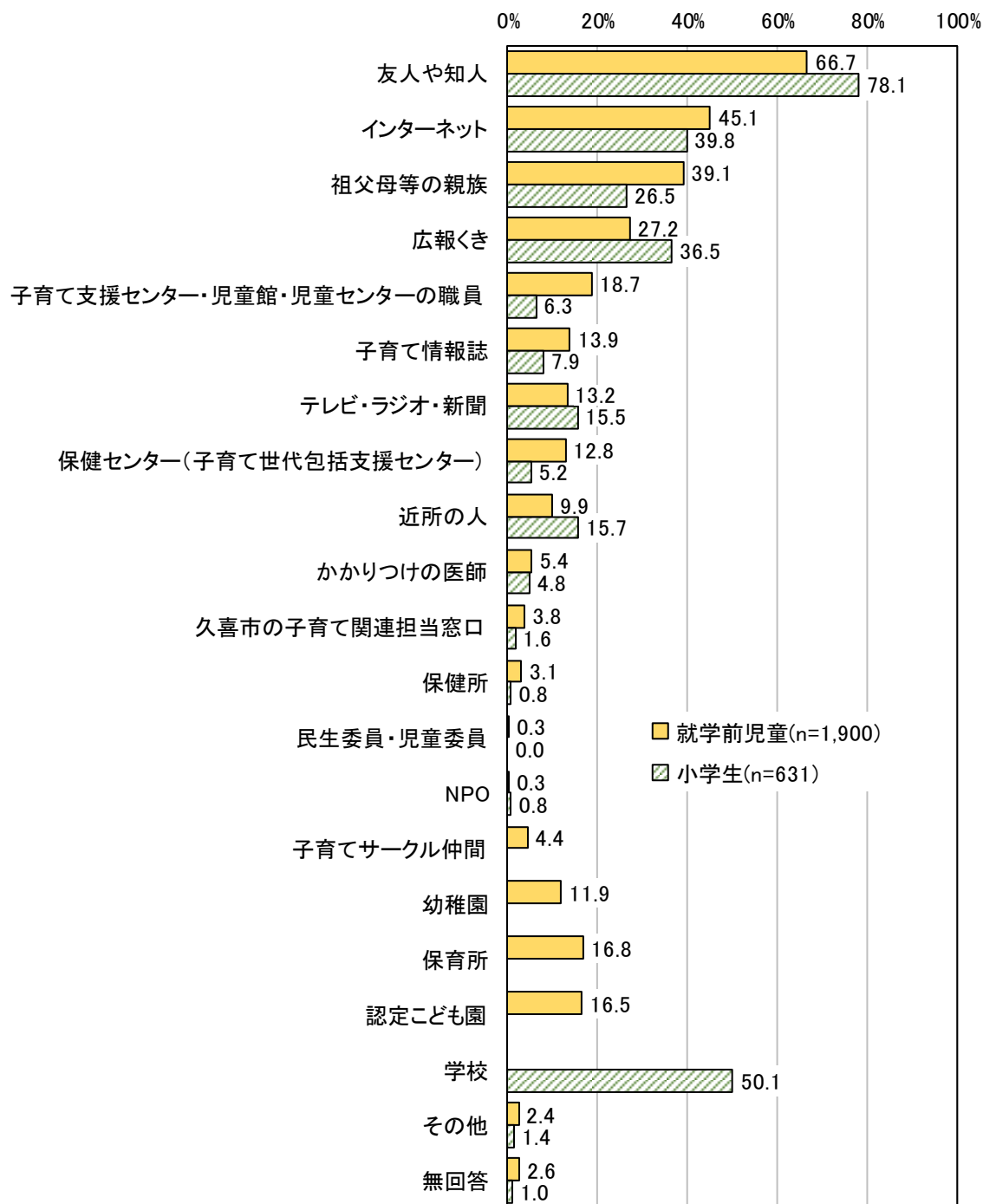


	得点		偏差値		評価区分		
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度低い	重要度高い	重点施策
子どもが健やかに育つ環境づくり	1.8	6.2	54.6	53.8		○	
子どもが地域で学べる環境づくり	1.3	4.0	49.0	38.2	○		
特別な支援を必要とする子どもや家庭への対策	0.9	6.0	45.2	52.2	○	○	●
保護者の子育てを支援する環境づくり	1.9	6.2	56.1	54.1		○	
家庭の子育てを応援する体制強化	2.2	3.8	59.7	37.4			
子育ての情報提供、相談体制の充実	1.4	4.9	50.5	44.9			
子育ての経済的負担の軽減	1.6	7.8	53.3	65.2		○	
母子保健の充実	3.1	6.2	69.2	53.7		○	
社会全体で子育てを支援する環境づくり	1.3	4.9	49.8	44.4	○		
ワーク・ライフ・バランスの推進	0.2	3.5	37.8	35.3	○		
子どもが安心して過ごせる環境づくり	▲0.3	7.7	31.4	64.2	○	○	●
安心して外出できる環境づくり	0.7	6.6	43.3	56.6	○	○	●

### (3) 子育てに関する情報の入手手段

就学前児童、小学生ともに「友人や知人」が最も多くなっています。次いで、就学前児童では「インターネット」、「祖父母等の家族」、「広報くき」などとなっています。

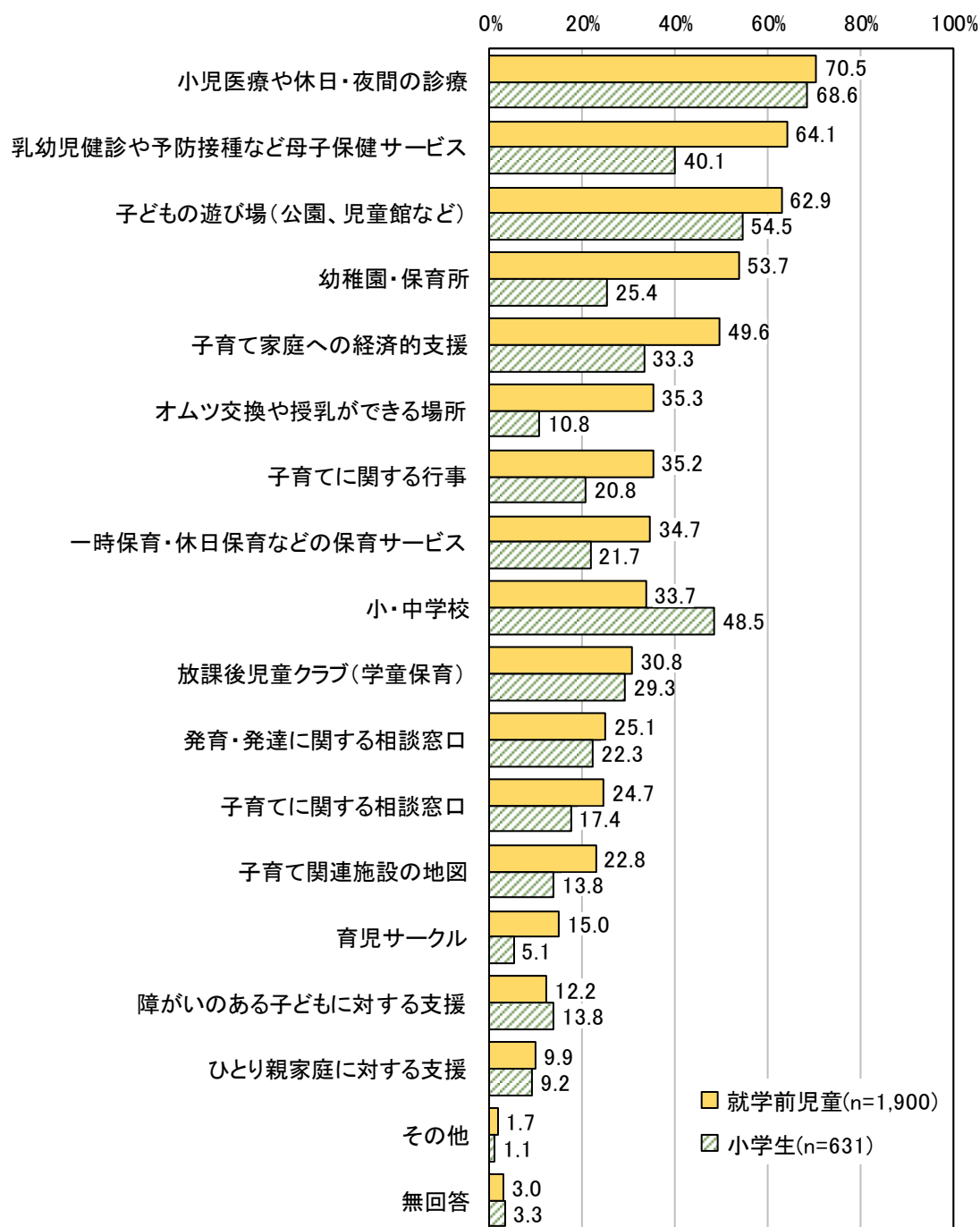
小学生では「学校」、「インターネット」、「広報くき」などとなっています。



#### (4) 子育てに関する必要な情報

就学前児童、小学生ともに「小児医療や休日・夜間の診療」が最も多くなっています。次いで、就学前児童では「乳幼児健診や予防接種など母子保健サービス」、「子どもの遊び場（公園、児童館など）」、「幼稚園・保育所」などとなっています。

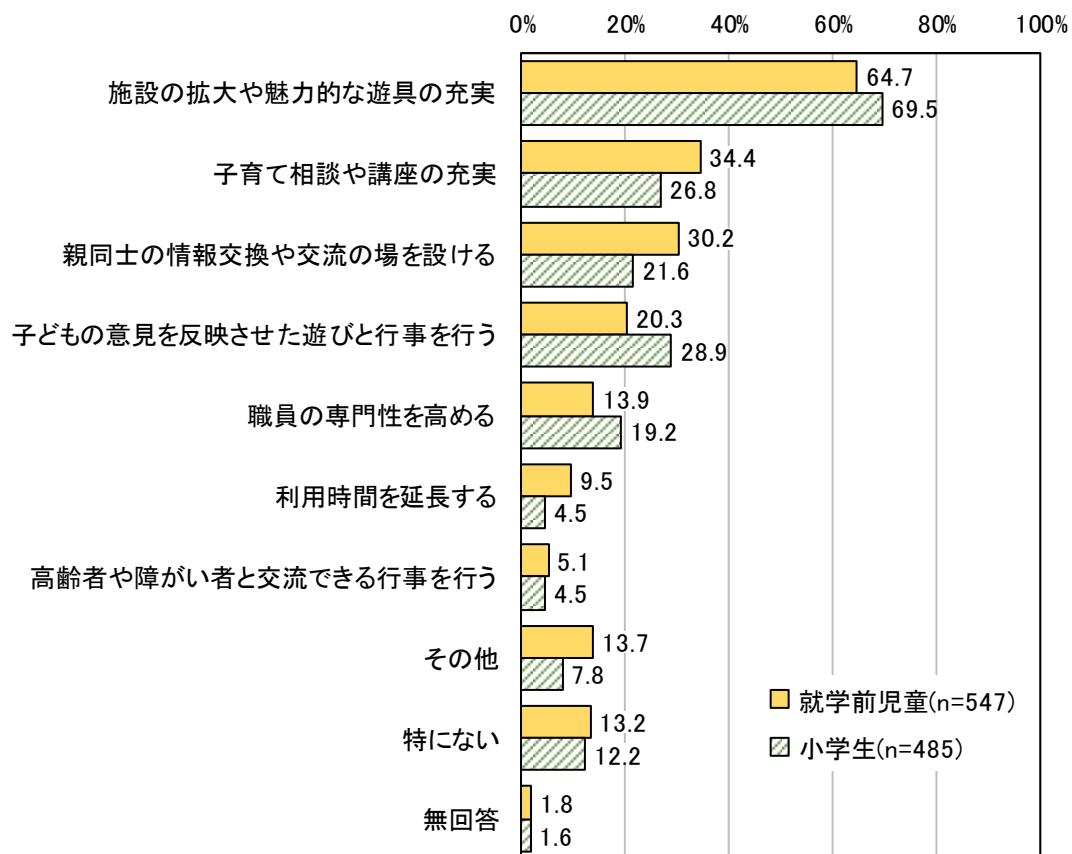
小学生では「子どもの遊び場（公園、児童館など）」、「小・中学校」、「乳幼児健診や予防接種など母子保健サービス」などとなっています。



(5) 子育て支援センター・児童館・児童センターへの要望(利用者のみ)

就学前児童、小学生ともに「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が最も多くなっています。次いで、就学前児童では「子育て相談や講座の充実」、「親同士の情報交換や交流の場を設ける」、「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」などとなっています。

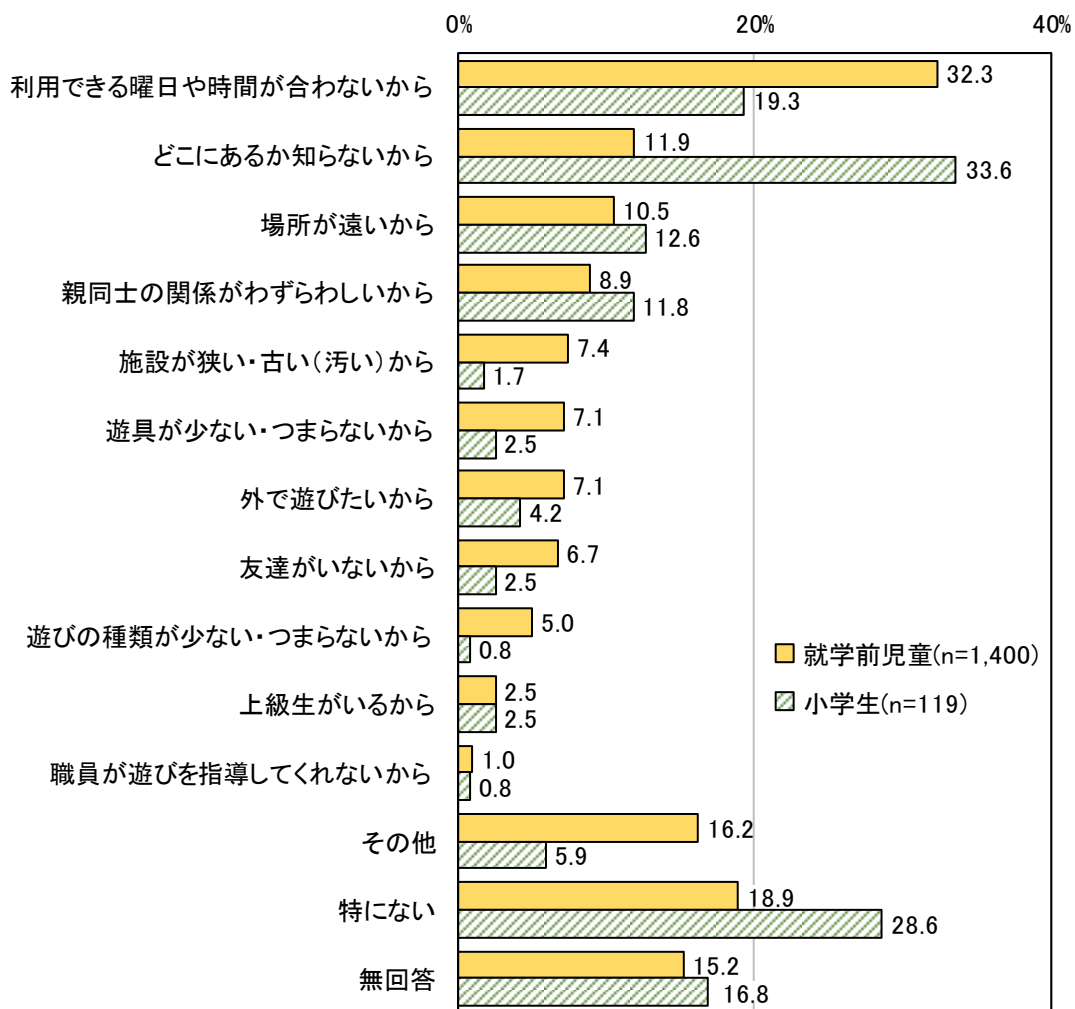
小学生では「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」、「子育て相談や講座の充実」、「親同士の情報交換や交流の場を設ける」の順となっています。





(6) 子育て支援センター・児童館・児童センターを利用していない理由(未利用者のみ)

就学前児童では「利用できる曜日や時間が合わないから」が32.3%で最も多くなっています。一方、小学生では「どこにあるか知らないから」が33.6%で最も多くなっています。

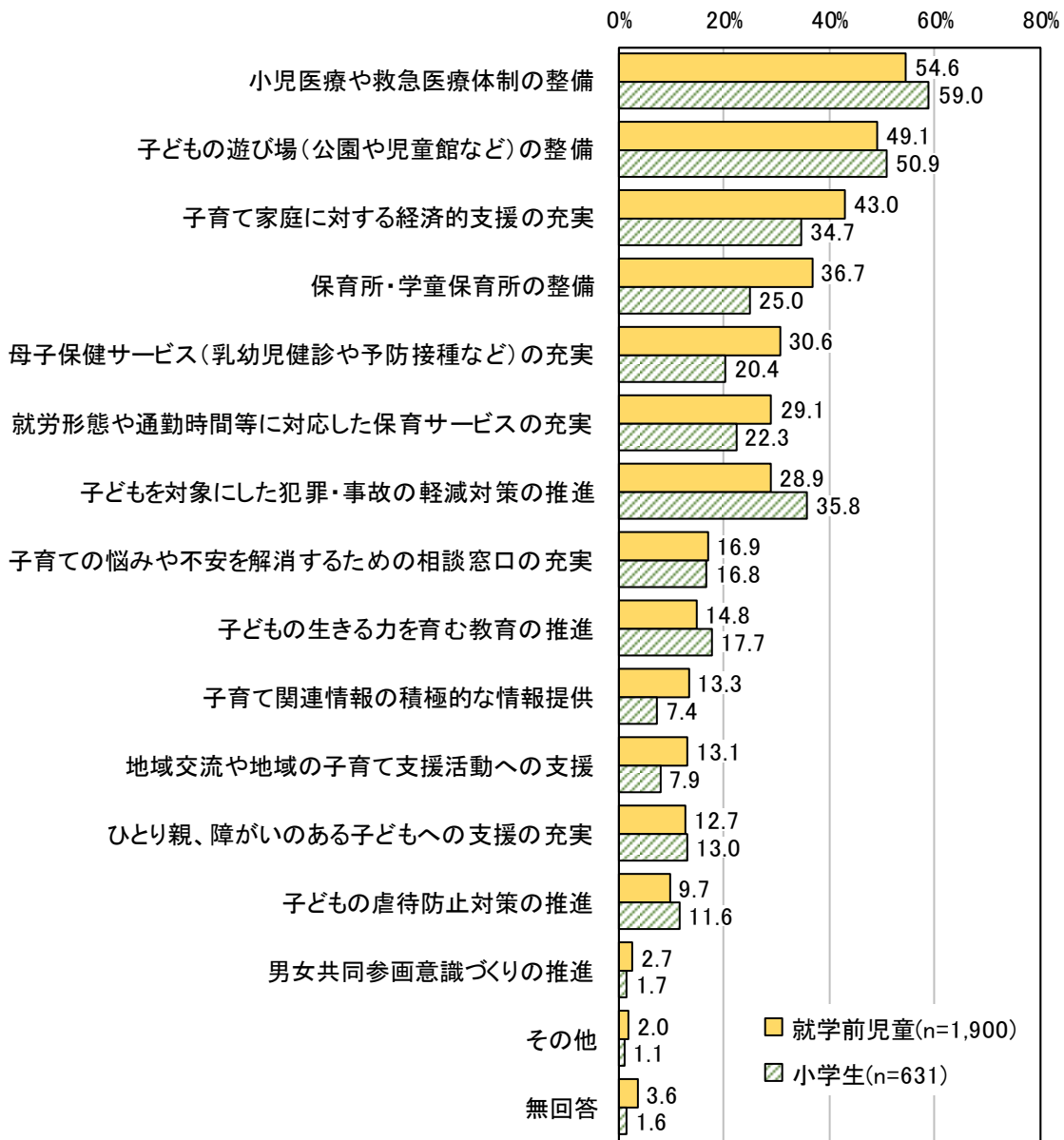


(7) 久喜市の子育て環境を良くしていくために充実していくべきこと

就学前児童、小学生ともに「小児医療や救急医療体制の整備」が最も多く、次いで「子どもの遊び場（公園や児童館など）の整備」が多くなっています。

第3位以降は、就学前児童では、多い順に「子育て家庭に対する経済的支援の充実」、「保育所・学童保育所の整備」、「母子保健サービス（乳幼児健診や予防接種など）の充実」などとなっています。

小学生では、多い順に「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減対策の推進」、「子育て家庭に対する経済的支援の充実」、「保育所・学童保育所の整備」などとなっています。



## **第3章 就学前儿童**



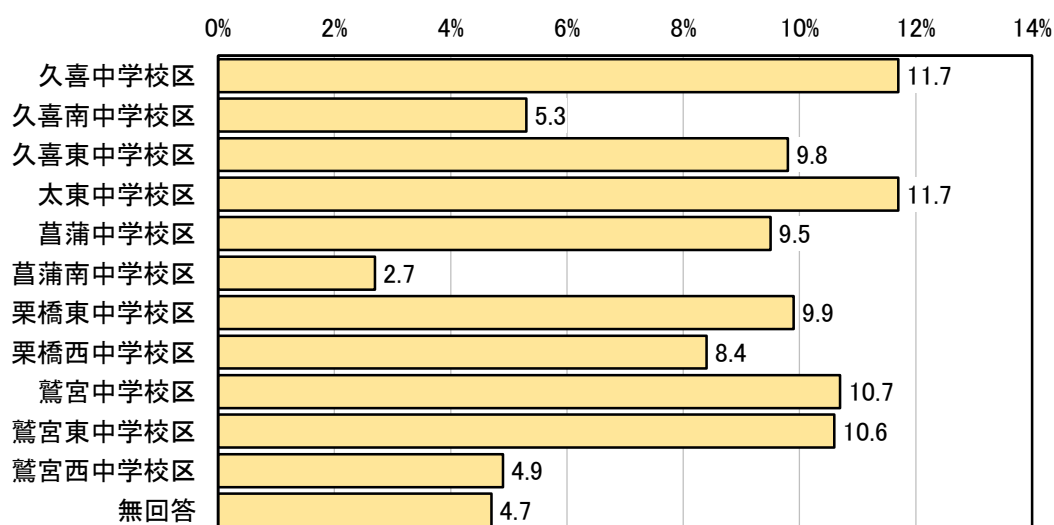
## 1 お子様とご家族のことについて

### (1) 居住地域

問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。(1つに○)

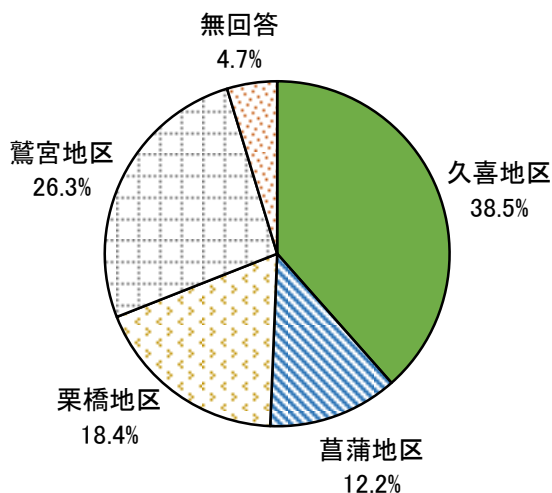
居住地域は、「太東中学校区」、「久喜中学校区」がともに 11.7%で最も多く、次いで「鷺宮中学校区」が 10.7%、「鷺宮東中学校区」が 10.6%、「栗橋東中学校区」が 9.9%、「久喜東中学校区」が 9.8%となっています。

(n=1,900)



居住地域を4区域で大別すると、「久喜地区」が 38.5%で最も多く、次いで「鷺宮地区」が 26.3%、「栗橋地区」が 18.4%、「菖蒲地区」が 12.2%となっています。

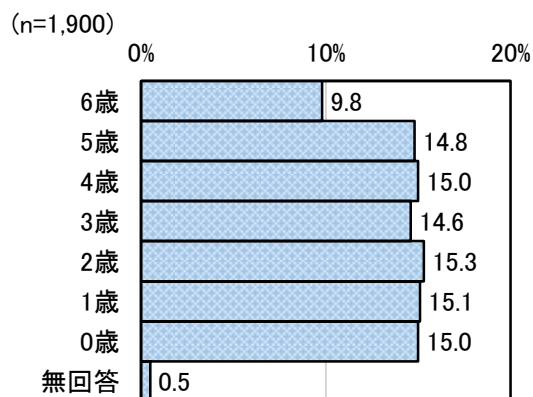
(n=1,900)



(2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。(数字を記入)

子どもの年齢は、「2歳」が15.3%で最も多く、次いで「1歳」が15.1%、「4歳」、「0歳」がともに15.0%、「5歳」が14.8%となっています。



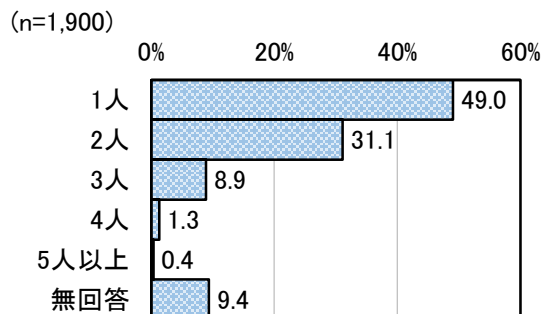
(3) 子どもの人数

問3 宛名のお子さまのきょうだいは(宛名のお子さまを含め)何人いらっしゃいますか。

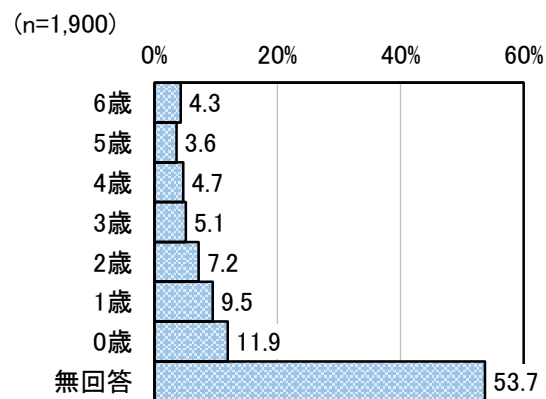
2人以上のお子さまがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。(数字を記入)

子どもの人数は、「1人」が49.0%で最も多く、次いで「2人」が31.1%、「3人」が8.9%、「4人」が1.3%、「5人以上」が0.4%となっています。また、末子の年齢は、「0歳」が11.9%で最も多く、次いで「1歳」が9.5%、「2歳」が7.2%、「3歳」が5.1%、「4歳」が4.7%となっています。

【きょうだいの数】



【末子の年齢】

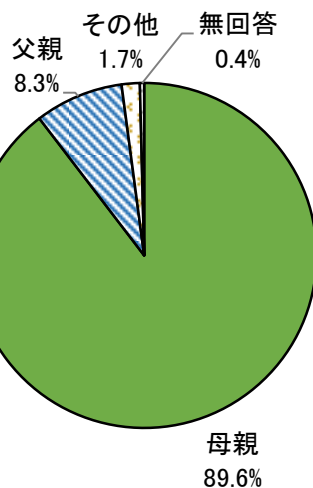


(4) 調査票回答者

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さまからみた関係でお答えください。(1つに○)

調査票回答者は、「母親」が89.6%、「父親」が8.3%、「その他」が1.7%となっています。

(n=1,900)

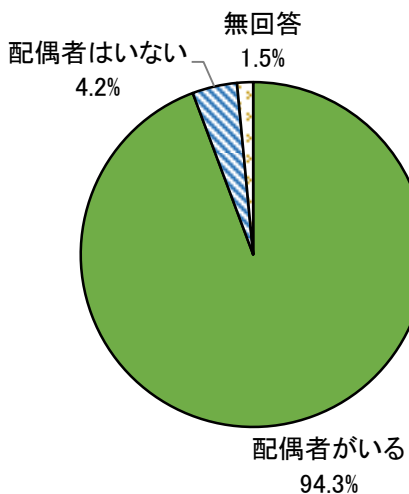


(5) 調査票回答者の配偶関係

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

調査票回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が94.3%、「配偶者がいない」が4.2%となっています。

(n=1,900)

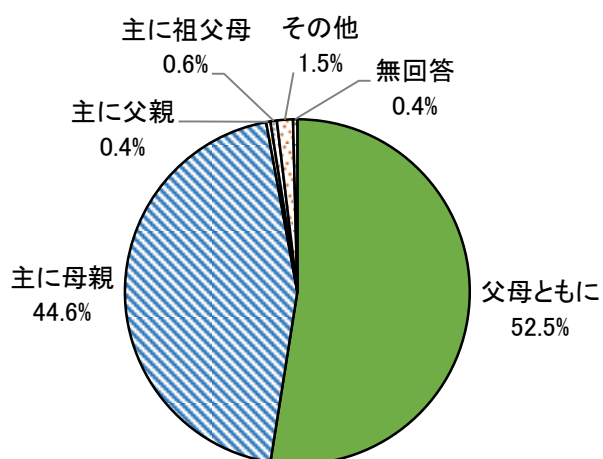


(6) 主に子育てをしている人

問6 宛名のお子さまの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。  
お子さまからみた関係でお答えください。(1つに○)

主に子育てをしている人は、「父母ともに」が52.5%で最も多く、次いで「主に母親」が44.6%、「その他」が1.5%、「主に祖父母」が0.6%、「主に父親」が0.4%となっています。

(n=1,900)





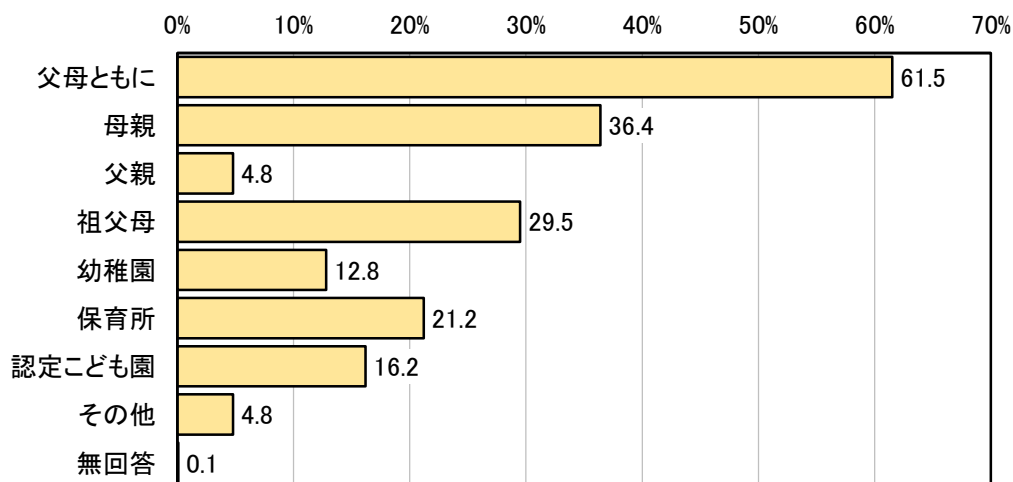
## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

問7 宛名のお子さまの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設を含む)ですか。お子さまからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が61.5%で最も多く、次いで「母親」が36.4%、「祖父母」が29.5%、「保育所」が21.2%、「認定こども園」が16.2%となっています。

(n=1,900)



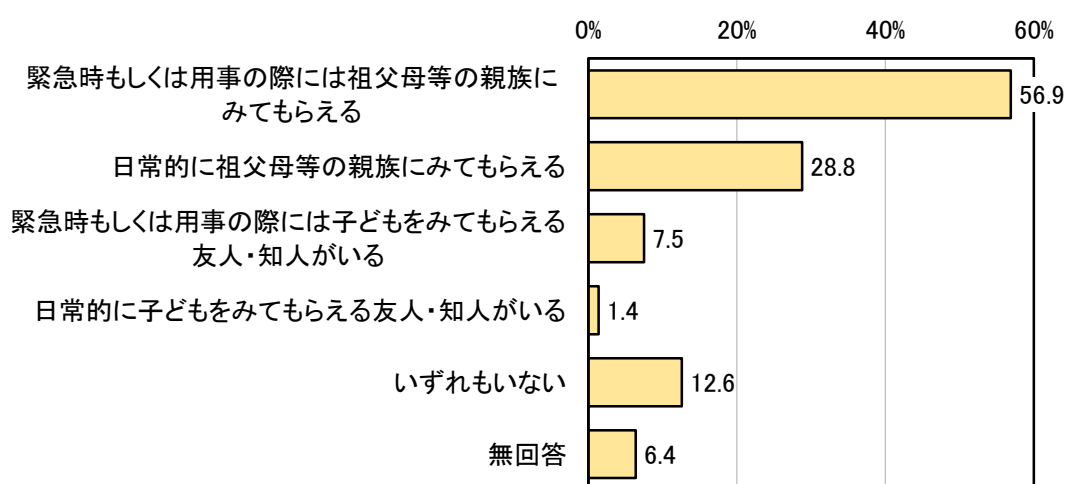
(2) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無

問8 日頃、宛名のお子さまをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもをみてもらえる親族・友人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が56.9%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が28.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が7.5%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が1.4%となっています。

また、「いずれもない」は12.6%となっています。

(n=1,900)



## (3) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

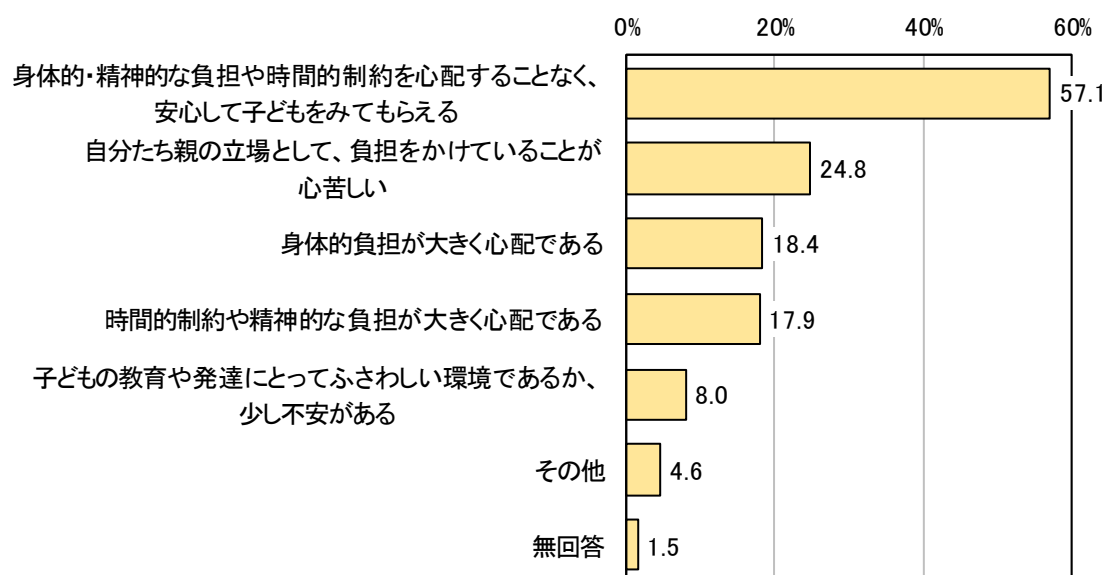
【問8で「1」、「2」(祖父母等の親族にみてもらえる)に○をつけた方のみ】

問8-1 祖父母等の親族にお子さまをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が57.1%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.8%、「身体的負担が大きく心配である」が18.4%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が17.9%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が8.0%となっています。

(n=1,507)



(4) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

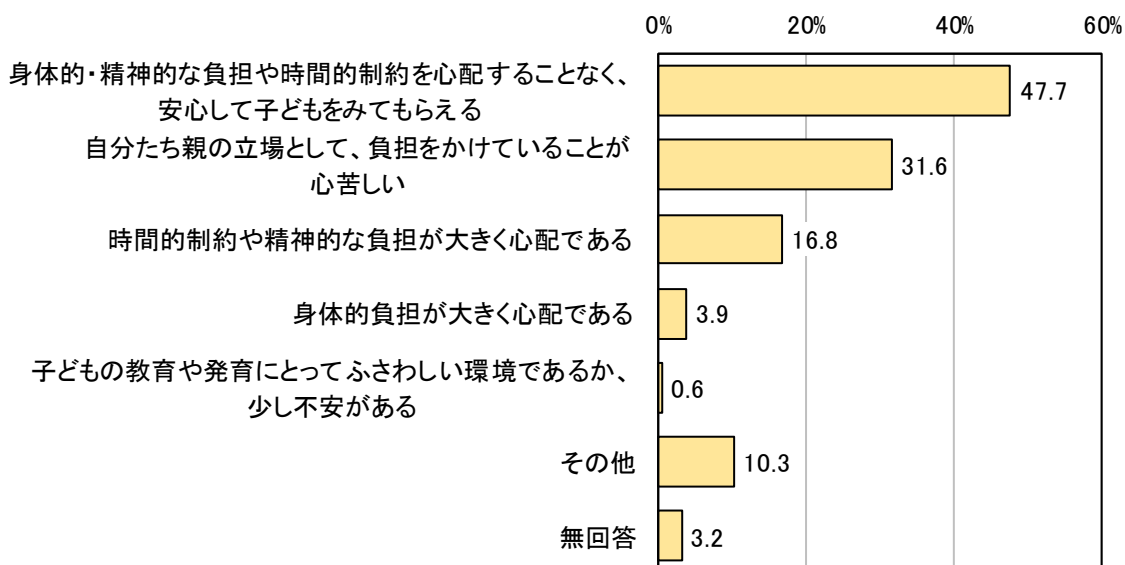
【問8で「3」、「4」(友人・知人がいる)に○をつけた方のみ】

問8-2 友人・知人にお子さまをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が47.7%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が31.6%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が16.8%、「身体的負担が大きく心配である」が3.9%となっています。

(n=155)

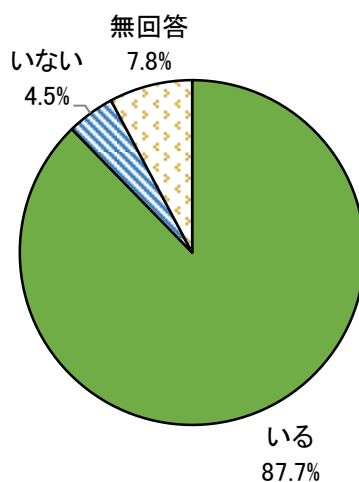


(5) 気軽に相談できる人・場所の有無

問9 宛名のお子さまの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。(1つに○)

気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる」が87.7%、「いない」が4.5%となっています。

(n=1,900)



(6) 気軽に相談できる人・場所

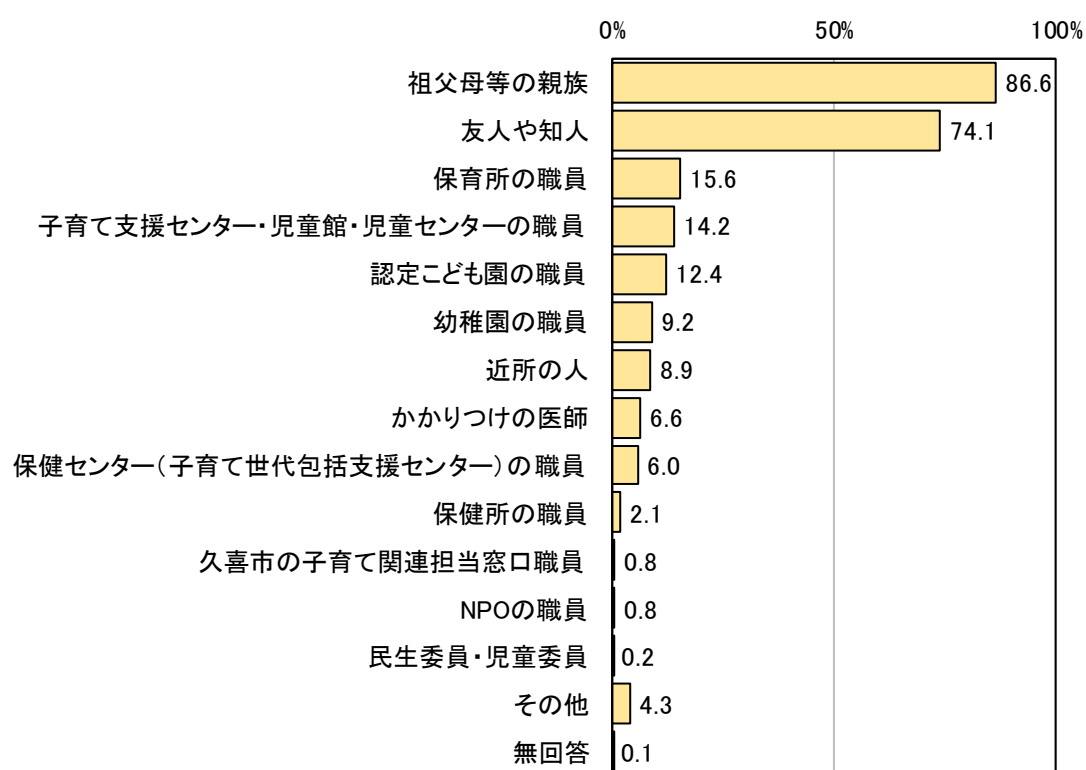
【問9で「1. いる」に○をつけた方のみ】

問9-1 お子さまの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる方は、誰ですか。

(あてはまるものすべてに○)

気軽に相談できる人・場所は、「祖父母等の親族」が86.6%で最も多く、次いで「友人や知人」が74.1%、「保育所の職員」が15.6%、「子育て支援センター・児童館・児童センターの職員」が14.2%、「認定こども園の職員」が12.4%となっています。

(n=1,666)



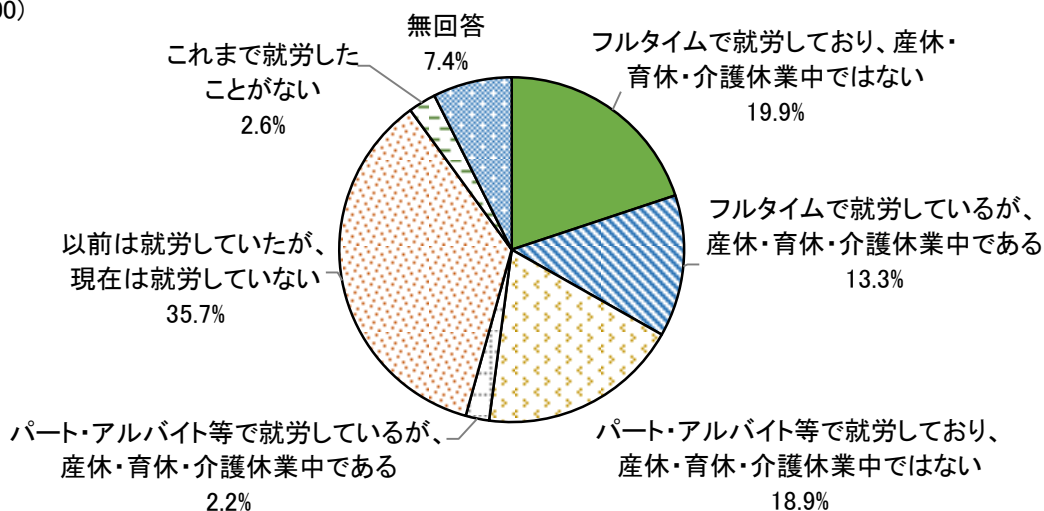
### 3 保護者の就労状況について

#### (1) 母親の就労状況

問10 宛名のお子さまの母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(1つに○)  
【父子家庭の場合は記入不要】

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 35.7%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 19.9%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 18.9%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 13.3%、「これまで就労したことがない」が 2.6%となっています。

(n=1,900)



(2) 就労している母親の就労日数・就労時間

【問10で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ】

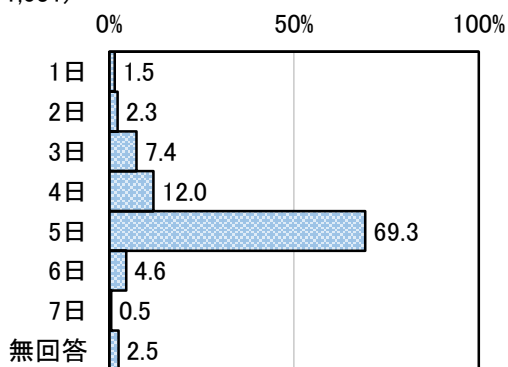
問10-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、時刻が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(数字を記入)

就労している母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が69.3%で最も多く、次いで「4日」が12.0%、「3日」が7.4%、「6日」が4.6%、「2日」が2.3%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が34.3%で最も多く、次いで「6時間」が15.5%、「7時間」が13.8%、「9時間」が8.0%となっています。

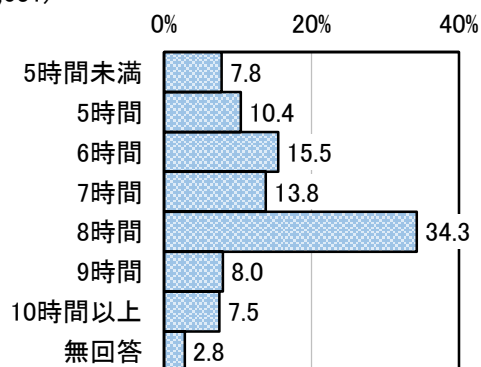
【1週あたりの就労日数】

(n=1,031)



【1日あたりの就労時間】

(n=1,031)





## (3) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻

## 【問10で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ】

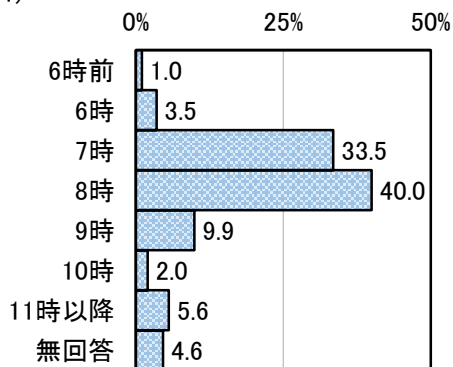
問10-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、時刻が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

就労している母親の家を出る時刻は、「8時」が40.0%で最も多く、次いで「7時」が33.5%、「9時」が9.9%、「11時以降」が5.6%、「6時」が3.5%となっています。

また、帰宅時刻は、「18時」が29.2%で最も多く、次いで「19時」が18.9%、「17時」が16.4%、「20時以降」が12.8%、「16時」が7.5%となっています。

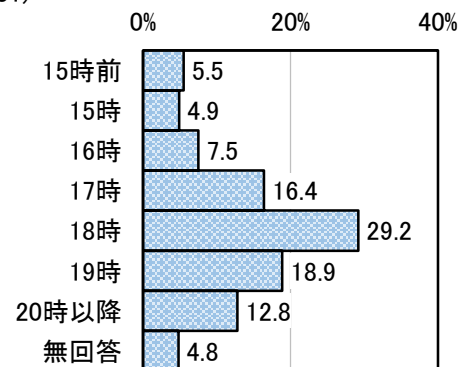
## 【家を出る時刻】

(n=1,031)



## 【帰宅時刻】

(n=1,031)



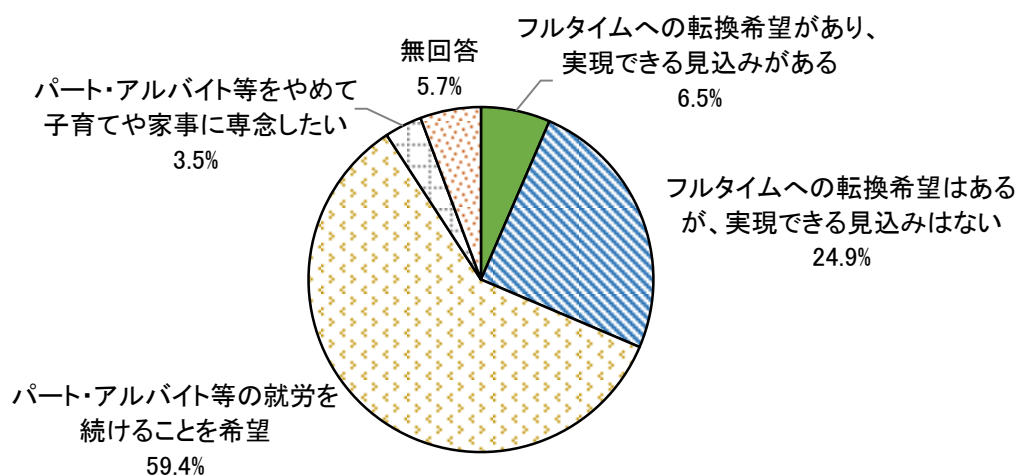
#### (4) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

【問10で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ】

問10-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が59.4%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が6.5%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が3.5%となっています。

(n=401)



(5) 就労していない母親の就労希望

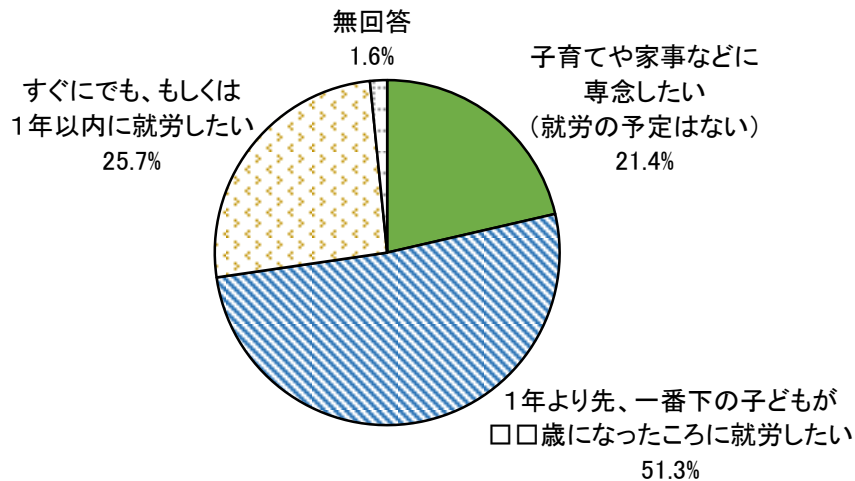
【問10で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ】

問10-3 就労したいという希望はありますか。(番号と記号それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が51.3%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.7%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が21.4%となっています。

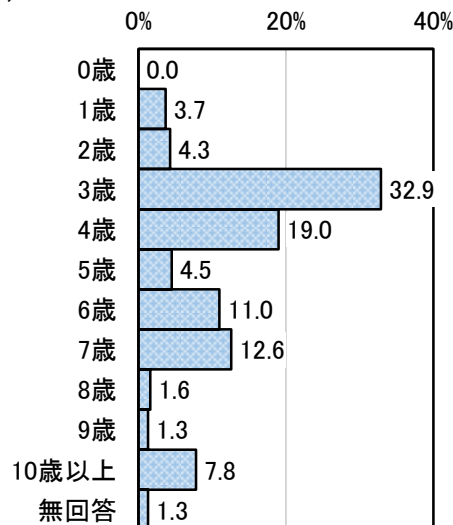
なお、母親の就労希望時の下の子どもの年齢は、「3歳」が32.9%で最も多く、次いで「4歳」が19.0%、「7歳」が12.6%、「6歳」が11.0%、「10歳以上」が7.8%となっています。

(n=729)



【母親の就労希望時の下の子どもの年齢】

(n=374)



### 第3章 就学前児童保護者

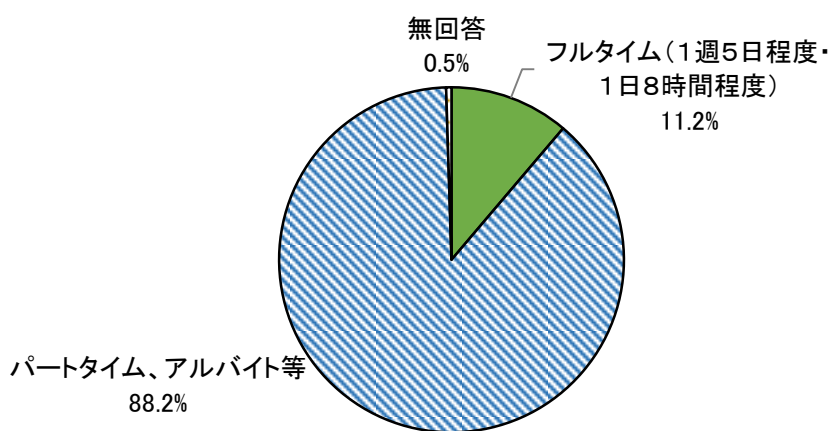
1年以内に就労したい母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が88.2%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」が11.2%となっています。

パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週当たりの就労日数は、「3日」が40.6%で最も多く、次いで「4日」が33.9%、「5日」が17.0%、「2日」が6.1%、「1日」が1.2%となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「5時間」が34.5%で最も多く、次いで「4時間」が33.9%、「6時間」が12.7%、「7時間以上」が9.7%、「3時間」が7.3%となっています。

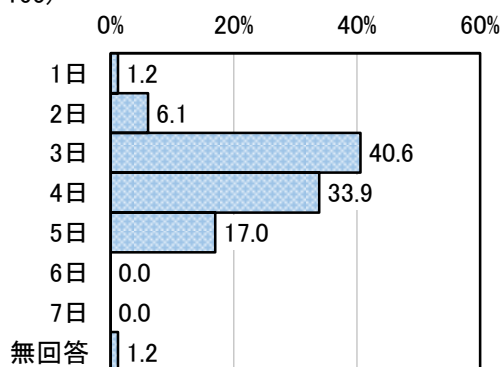
#### 【希望する就労形態】

(n=187)



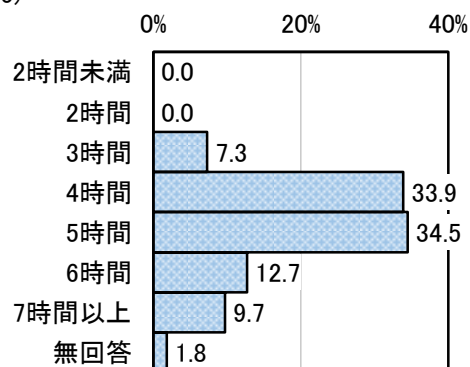
#### 【希望する1週あたりの就労日数】

(n=165)



#### 【希望する1日あたりの就労時間】

(n=165)

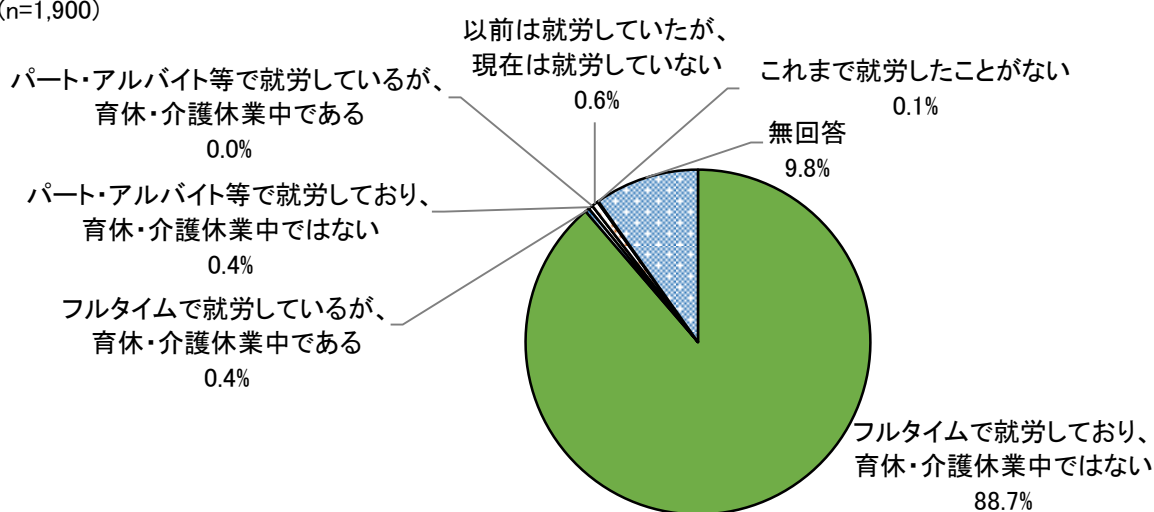


## (6) 父親の就労状況

問11 宛名のお子さまの父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(1つに○)  
【母子家庭の場合は記入不要】

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が88.7%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.6%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」がともに0.4%、「これまで就労したことがない」が0.1%となっています。

(n=1,900)



(7) 就労している父親の就労日数・就労時間

【問11で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ】

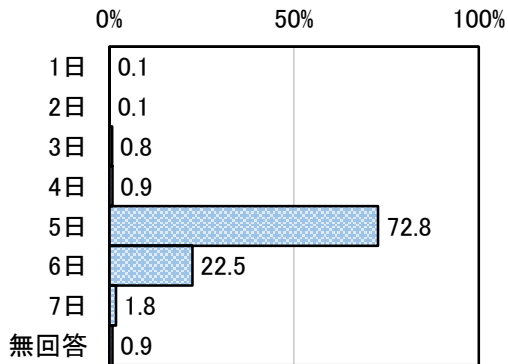
問11-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、時刻が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(数字を記入)

就労している父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が72.8%で最も多く、次いで「6日」が22.5%、「7日」が1.8%、「4日」が0.9%、「3日」が0.8%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が30.0%で最も多く、次いで「10時間」が23.8%、「12時間以上」が18.1%、「9時間」が16.5%、「11時間」が6.8%となっています。

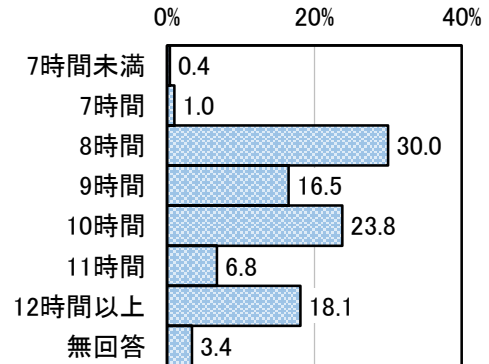
【1週あたりの就労日数】

(n=1,700)



【1日あたりの就労時間】

(n=1,700)



(8) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻

【問11で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ】

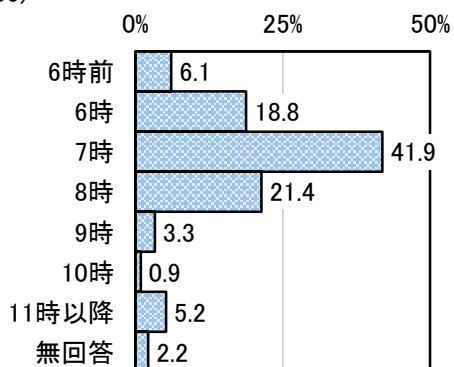
問11-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、時刻が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(数字を記入)

就労している父親の家を出る時刻は、「7時」が41.9%で最も多く、次いで「8時」が21.4%、「6時」が18.8%、「6時前」が6.1%、「11時以降」が5.2%となっています。

また、帰宅時刻は、「22時以降」が23.3%で最も多く、次いで「20時」が21.6%、「19時」が19.6%、「21時」が18.9%、「18時」が10.2%となっています。

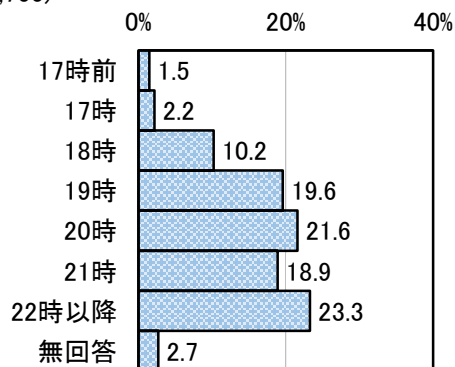
【家を出る時刻】

(n=1,700)



【帰宅時刻】

(n=1,700)



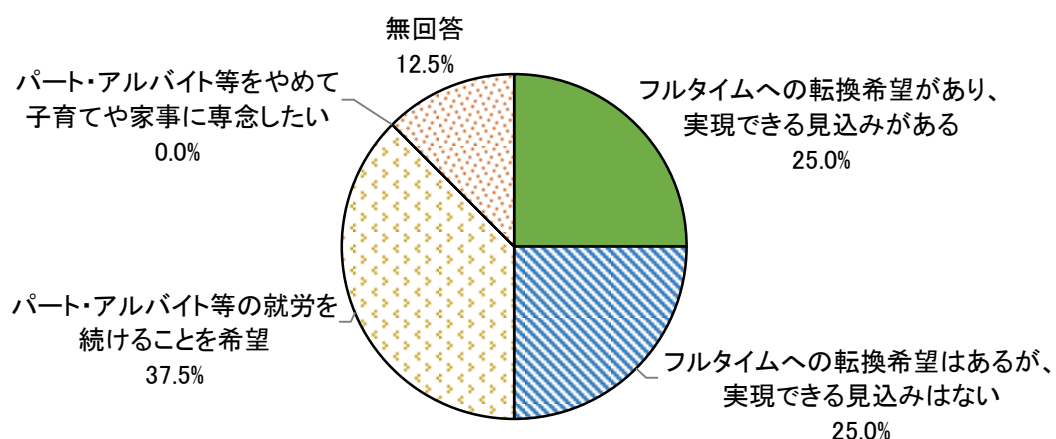
(9) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

【問11で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ】

問11-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が37.5%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がともに25.0%となっています。

(n=8)





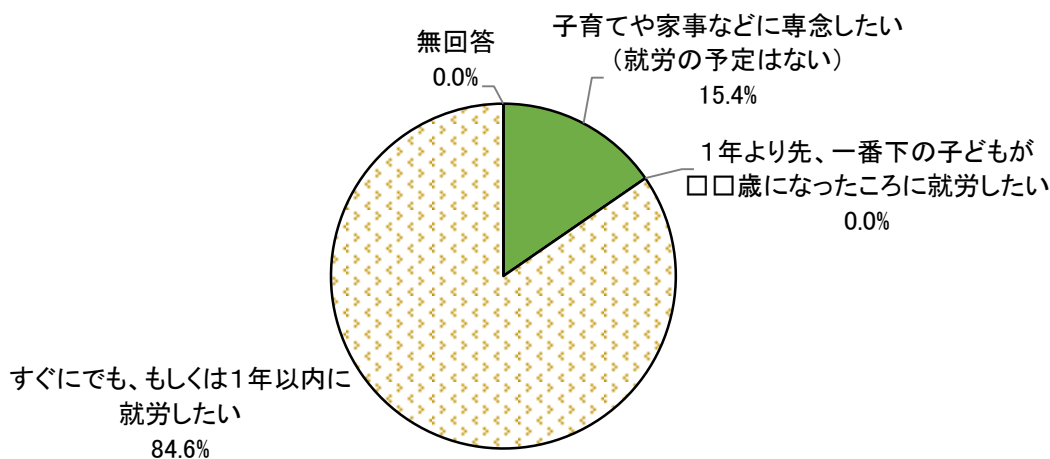
## (10) 就労していない父親の就労希望

【問11で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ】

問11-3 就労したいという希望はありますか。(番号と記号それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が84.6%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が15.4%となっています。

(n=13)

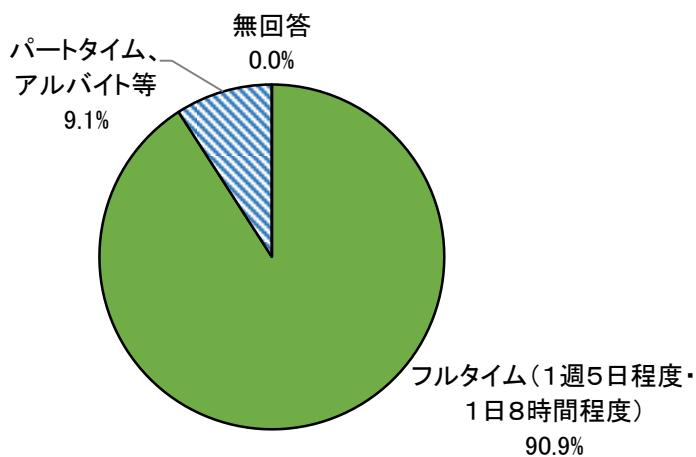


1年以内に就労したい父親が希望する就労形態は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)」が90.9%、「パートタイム、アルバイト等」が9.1%となっています。

パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週当たりの就労日数と、1日当たりの就労時間についての回答は得られませんでした。

【希望する就労形態】

(n=11)



## 4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

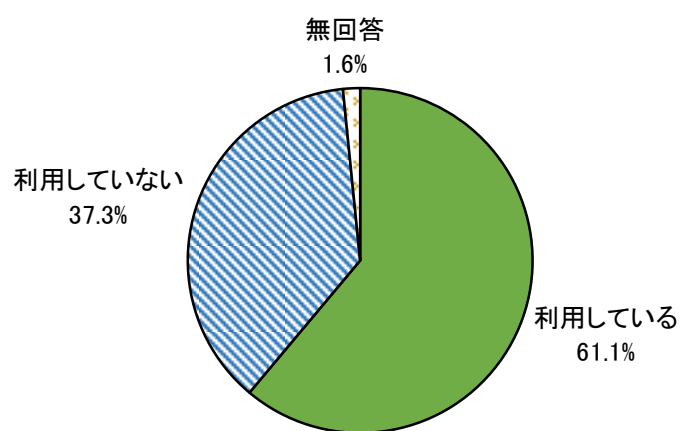
---

### (1) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

問12 宛名のお子さまは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つに○)

平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」が61.1%、「利用していない」が37.3%となっています。

(n=1,900)



## (2) 利用している平日の定期的な教育・保育の事業

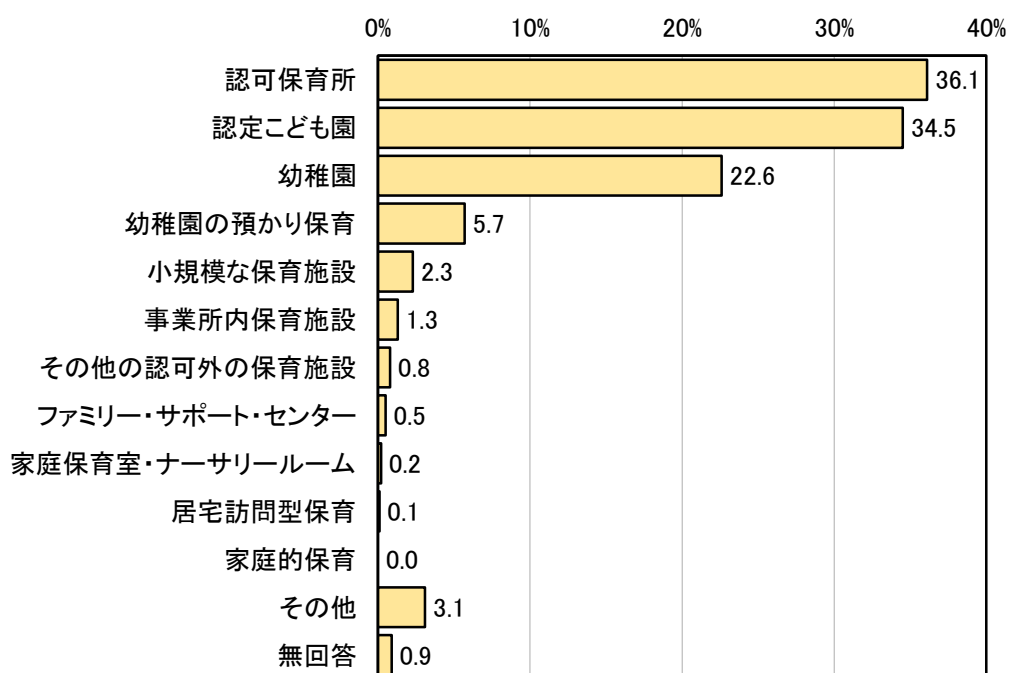
【問12で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

問12-1 宛名のお子さまは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

利用している平日の定期的な教育・保育の事業は、「認可保育所」が36.1%で最も多く、次いで「認定こども園」が34.5%、「幼稚園」が22.6%、「幼稚園の預かり保育」が5.7%、「小規模な保育施設」が2.3%となっています。

(n=1,161)



(3) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況・利用希望

【問12で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

問12-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(それぞれ数字を記入)

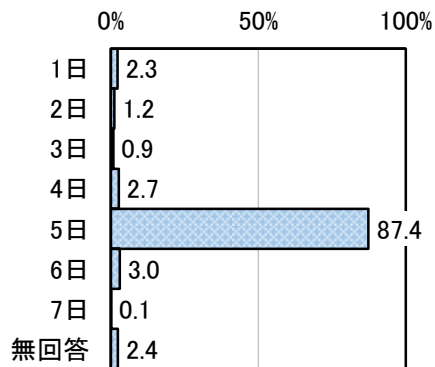
平日の定期的な教育・保育の事業の1週あたりの現在の利用日数は、「5日」が87.4%で最も多く、希望の利用日数も「5日」が66.4%で最も多くなっています。

1日あたりの現在の利用時間は、「8時間以上」が48.0%で最も多く、希望の利用時間も「8時間以上」が46.5%で最も多くなっています。

【1週あたりの利用日数】

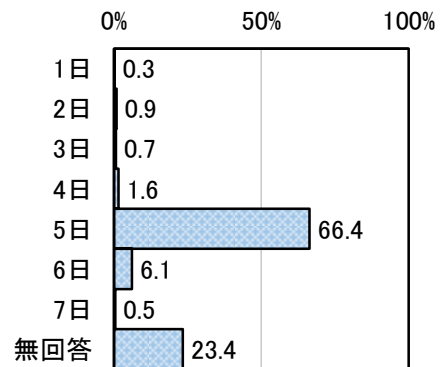
・現在

(n=1,161)



・希望

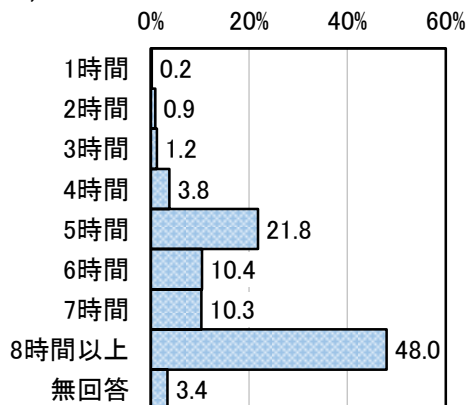
(n=1,161)



【1日あたりの利用時間】

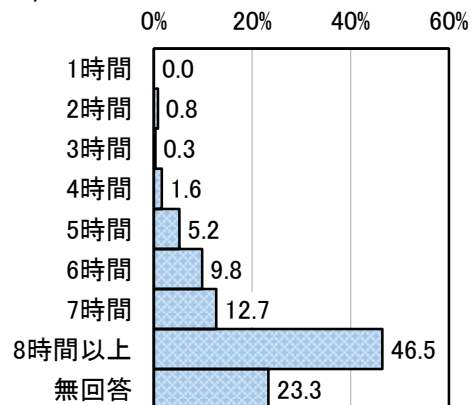
・現在

(n=1,161)



・希望

(n=1,161)



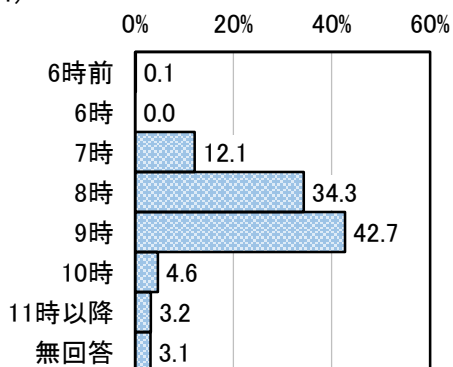
現在の利用開始時刻は、「9時」が42.7%で最も多く、次いで「8時」が34.3%となっており、希望の開始時刻も、「9時」が32.0%で最も多く、次いで「8時」が28.2%となっています。

現在の利用終了時刻は、「15時前」が30.9%で最も多く、次いで「18時」が19.4%となっていますが、希望の終了時刻は、「16時」が17.1%で最も多く、次いで「17時」が17.0%となっています。

【利用開始時刻】

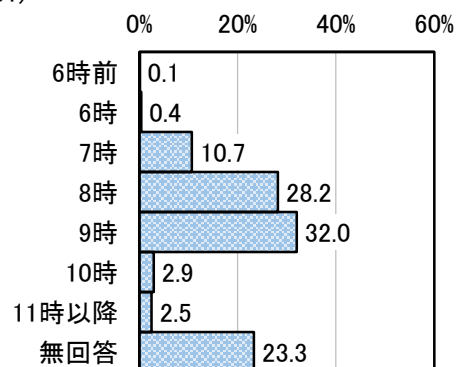
・現在

(n=1,161)



・希望

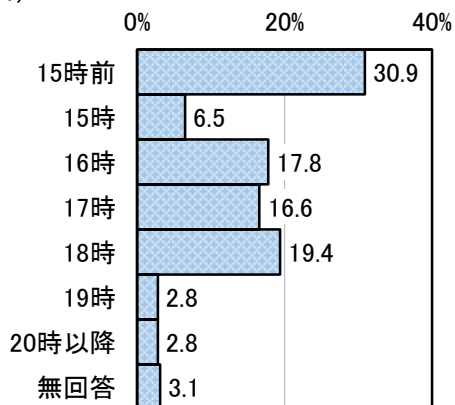
(n=1,161)



【利用終了時刻】

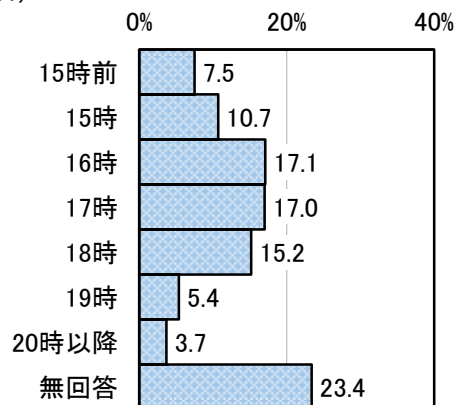
・現在

(n=1,161)



・希望

(n=1,161)



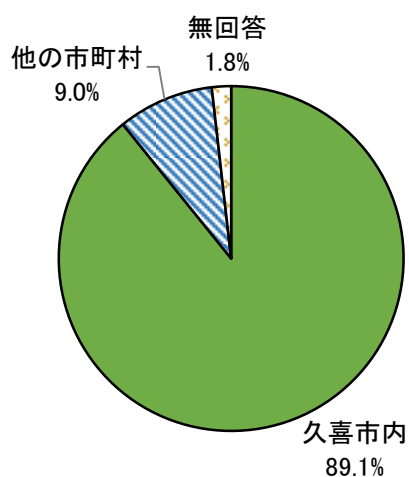
(4) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所

【問12で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

問12-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(1つに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所は、「久喜市内」が89.1%、「他の市町村」が9.0%となっています。

(n=1,161)



《参考》他の市町村

五霞町 (36 件)、幸手市 (22 件)、加須市 (7 件)、さいたま市 (5 件)、桶川市・伊奈町・蓮田市 (4 件)、春日部市 (2 件)、鴻巣市・上尾市・白岡市・杉戸町 (1 件) など

## (5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由

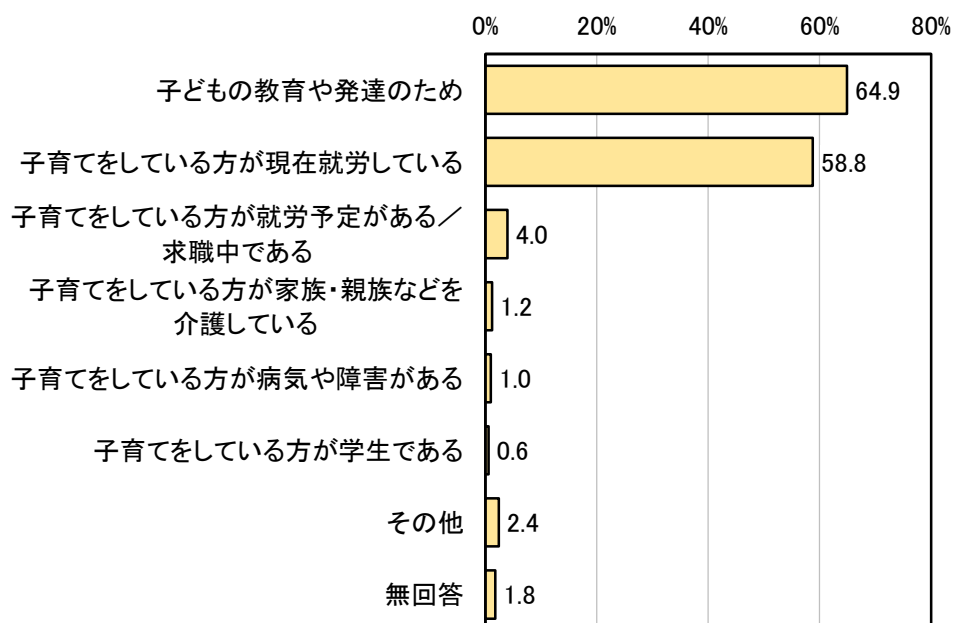
【問12で「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

問12-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由は、「子どもの教育や発達のため」が64.9%で最も多く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」が58.8%、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」が4.0%、「子育てをしている方が家族・親族などを介護している」が1.2%、「子育てをしている方が病気や障がいがある」が1.0%となっています。

(n=1,161)



(6) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由

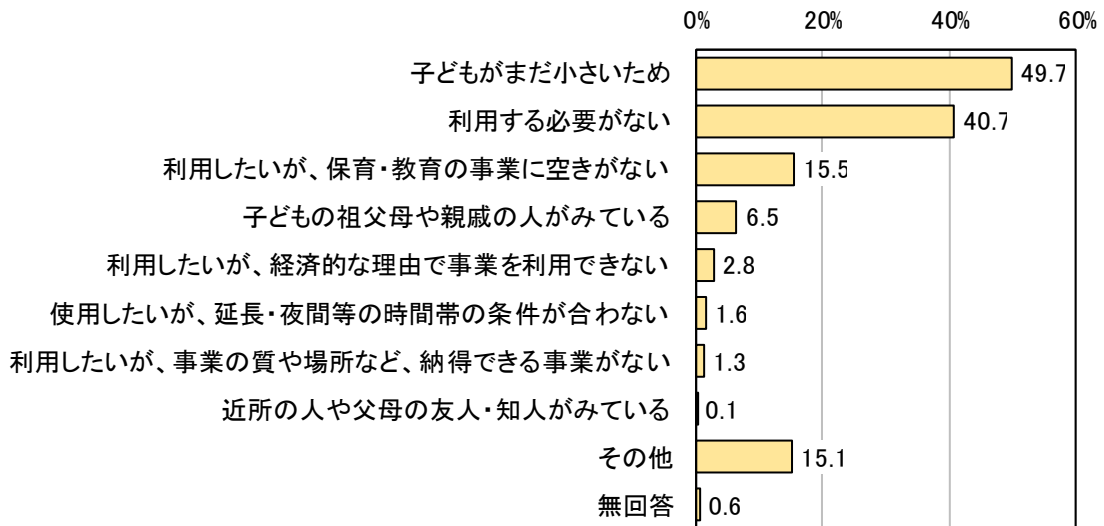
【問12で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ】

問12-5 利用していない主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が49.7%で最も多く、次いで「利用する必要がない」が40.7%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が15.5%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が6.5%、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」が2.8%となっています。

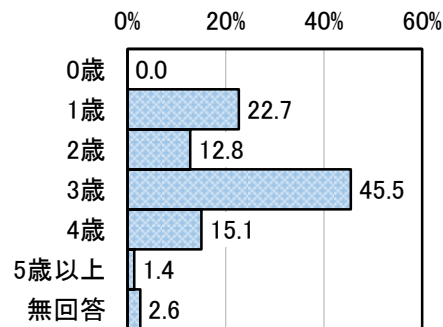
なお、事業の利用を予定している子どもの年齢は、「3歳」が45.5%で最も多くなっています。

(n=708)



【事業の利用を予定している子どもの年齢】

(n=352)



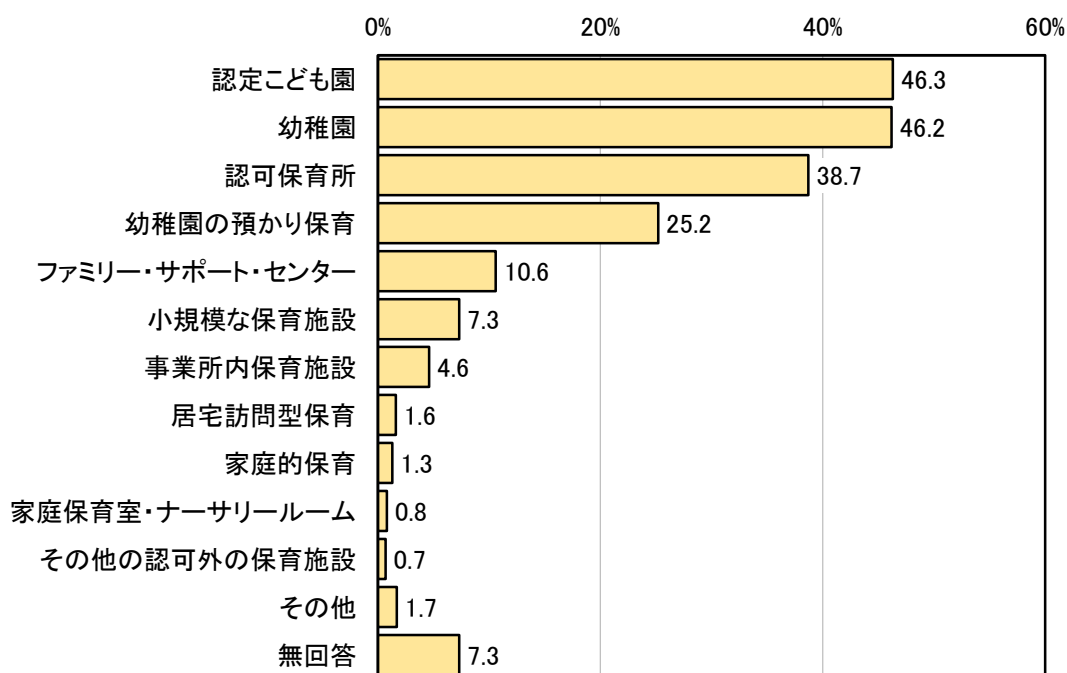


(7) 利用したい平日の定期的な教育・保育の事業

問13 現在の利用状況にかかわらず、宛名のお子さまの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には利用者負担が発生します。(あてはまるものすべてに○)

利用したい平日の定期的な教育・保育の事業は、「認定こども園」が46.3%で最も多く、次いで「幼稚園」が46.2%、「認可保育所」が38.7%、「幼稚園の預かり保育」が25.2%、「ファミリー・サポート・センター」が10.6%となっています。

(n=1,900)

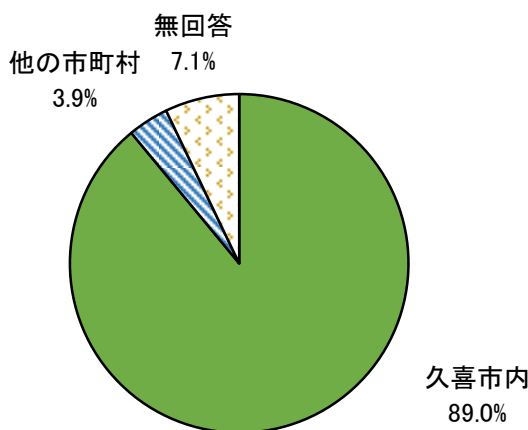


(8) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所

問13-1 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。(1つに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所は、「久喜市内」が89.0%、「他の市町村」が3.9%となっています。

(n=1,900)



《参考》他の市町村

五霞町 (15 件)、幸手市 (6 件)、加須市 (5 件)、桶川市・北本市 (3 件)、さいたま市・春日部市・越谷市 (2 件)、上尾市・羽生市・吉川市・伊奈町・宮代町・杉戸町 (1 件) など

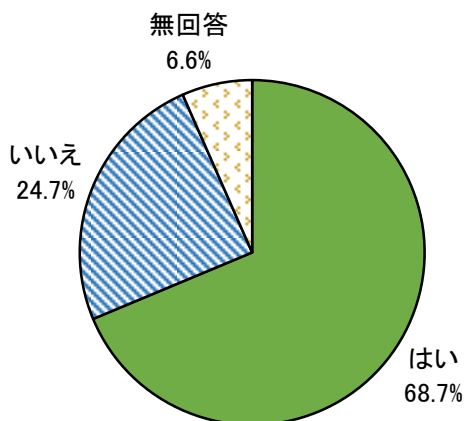
(9) 幼稚園の強い利用希望

【問13で「1」または「2」に○をつけ、かつ「3」~「12」にも○をつけた方のみ】

問13-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

幼稚園と幼稚園以外の事業の利用を希望する場合の幼稚園の強い利用希望は、「はい」が68.7%、「いいえ」が24.7%となっています。

(n=572)



## 5 地域の子育て支援事業の利用状況について

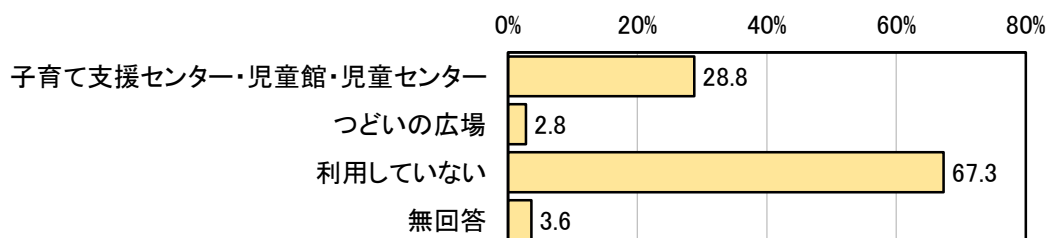
### (1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問14 宛名のお子さまは、現在、久喜市の地域子育て支援拠点事業を利用していますか。  
(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「子育て支援センター・児童館・児童センター」が28.8%で最も多く、次いで「つどいの広場」が2.8%となっています。

それぞれ利用している人の利用回数は、1週あたり、1か月あたりともに「1回」が最も多くなっています。

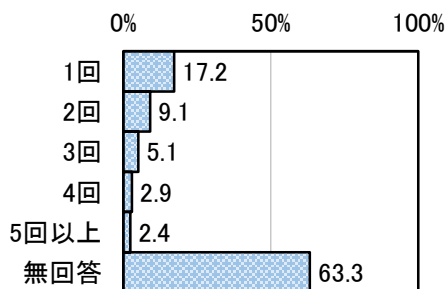
(n=1,900)



#### 【地域子育て支援拠点事業】

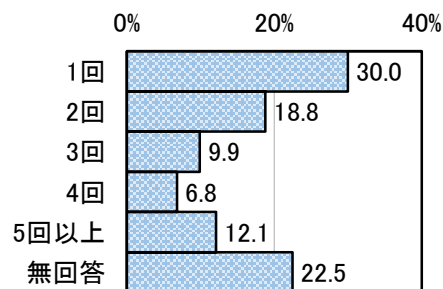
##### ・ 1週あたりの利用回数

(n=547)



##### ・ 1か月あたりの利用回数

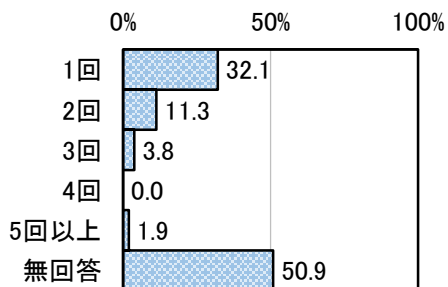
(n=547)



#### 【その他当該自治体で実施している類似の事業】

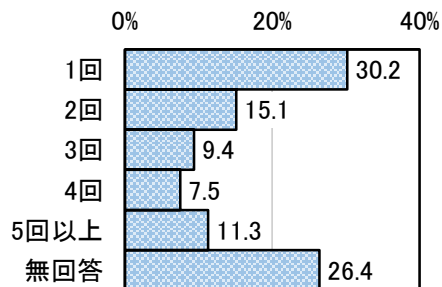
##### ・ 1週あたりの利用回数

(n=53)



##### ・ 1か月あたりの利用回数

(n=53)



(2) 子育て支援センター・児童館・児童センターへの要望

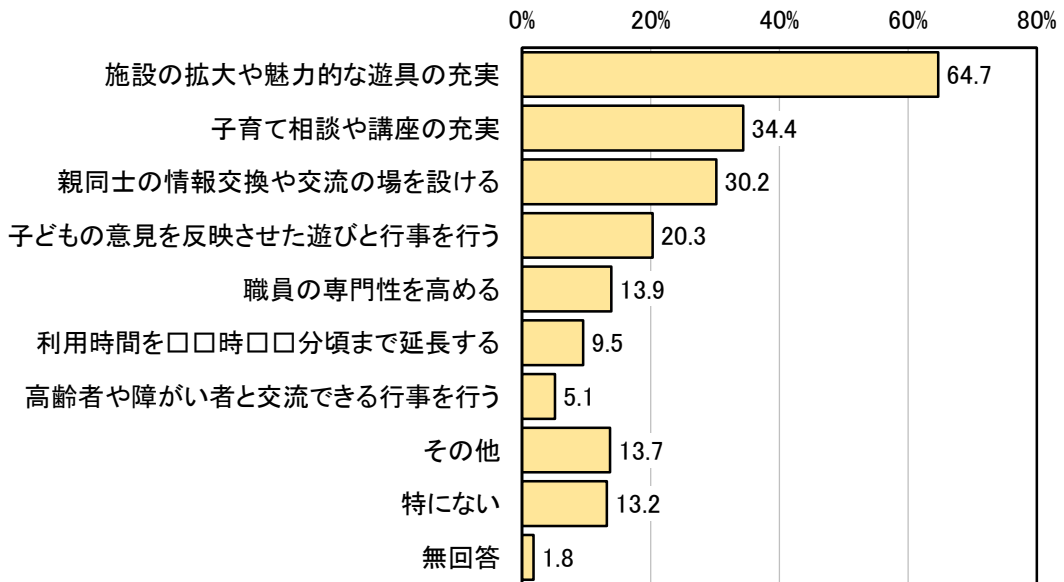
【問14で「1. 子育て支援センター・児童館・児童センター」に○をつけた方のみ】

問14-1 子育て支援センター・児童館・児童センターへの要望をお答えください。(○は3つまで)

子育て支援センター・児童館・児童センターへの要望は、「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が64.7%で最も多く、次いで「子育て相談や講座の充実」が34.4%、「親同士の情報交換や交流の場を設ける」が30.2%、「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」が20.3%、「職員の専門性を高める」が13.9%となっています。

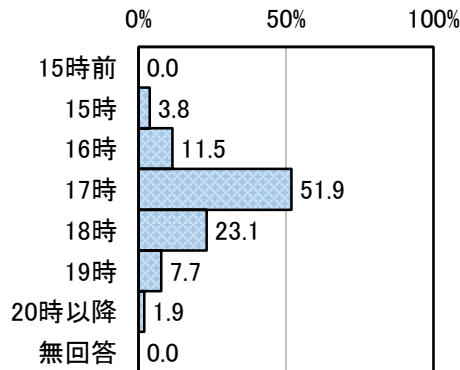
なお、利用時間の延長希望については、「17時」が51.9%で最も多くなっています。

(n=547)



【利用時間の延長希望】

(n=52)



## (3) 子育て支援センター・児童館・児童センターを利用していない理由

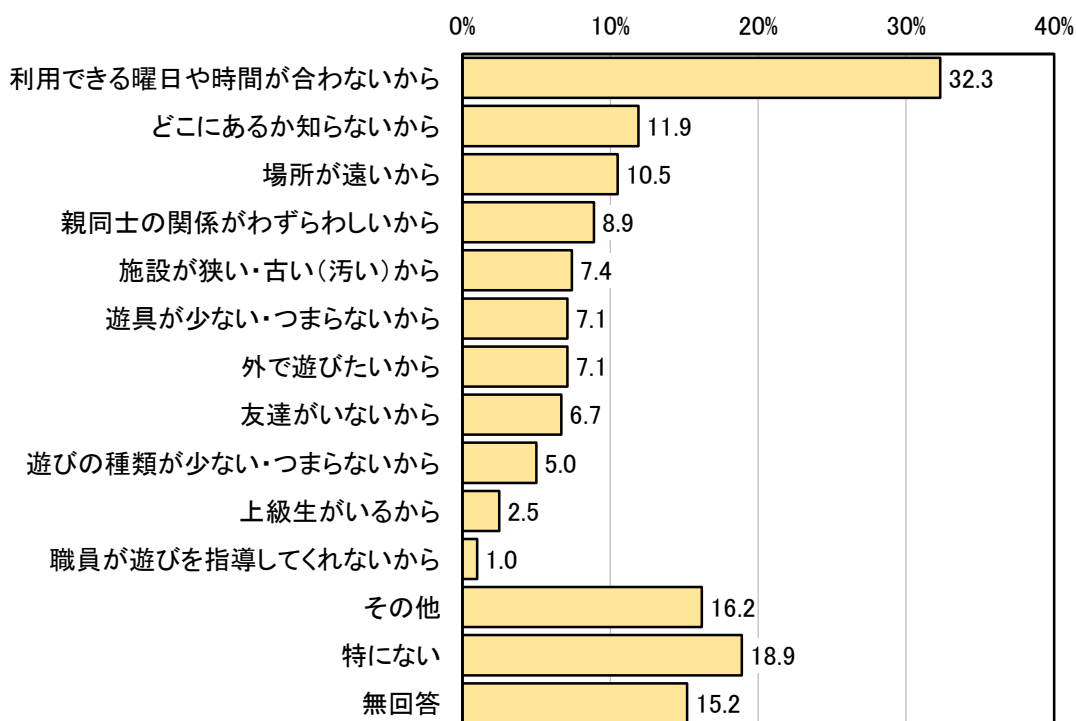
【問14で「1. 子育て支援センター・児童館・児童センター」に○をつけなかった方のみ】

問14-2 子育て支援センター・児童館・児童センターを利用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

子育て支援センター・児童館・児童センターを利用していない理由は、「利用できる曜日や時間が合わないから」が32.3%で最も多く、次いで「どこにあるか知らないから」が11.9%、「場所が遠いから」が10.5%、「親同士の関係がわずらわしいから」が8.9%、「施設が狭い・古い(汚い)から」が7.4%となっています。

(n=1,400)



#### (4) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

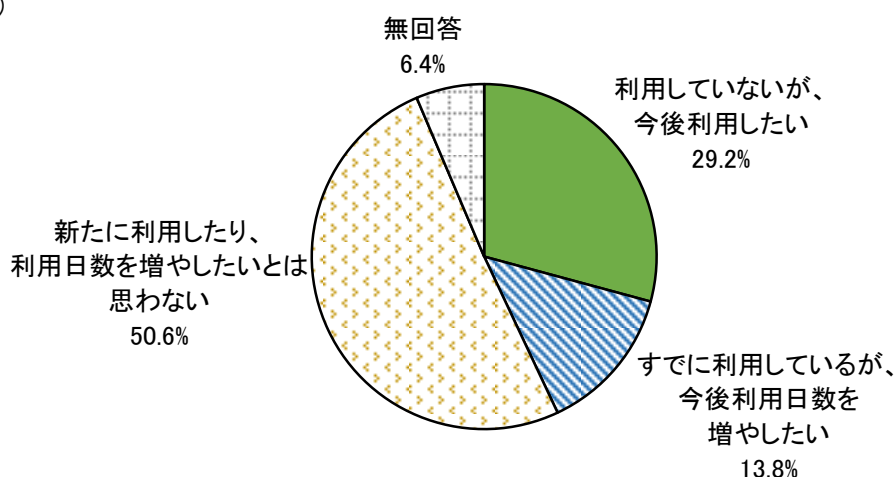
問15 久喜市の地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。なお、これらの事業の利用は、基本的に無料ですが、一部実費負担が発生する場合があります。(1つに○、数字を記入)

地域子育て支援拠点事業の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が50.6%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が29.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が13.8%となっています。

「利用していないが、今後利用したい」と回答した方の利用回数は、1週あたりでは「1回」、1か月あたりでは「2回」が最も多くなっています。

また、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した方の利用回数は、1週あたりでは「1回」、1か月あたりでは「2回」が最も多くなっています。

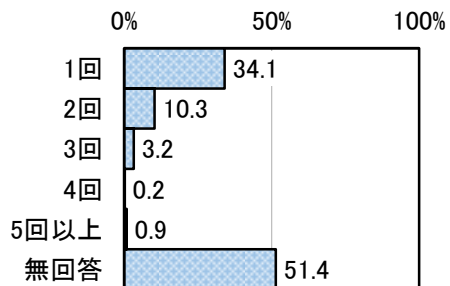
(n=1,900)



【利用していないが、今後利用したい】

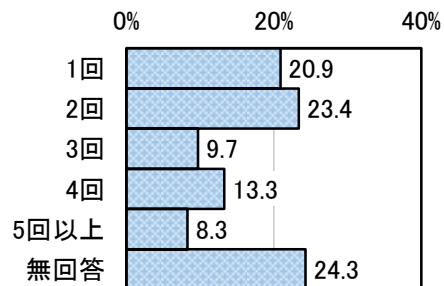
・ 1週あたりの利用回数

(n=555)



・ 1か月あたりの利用回数

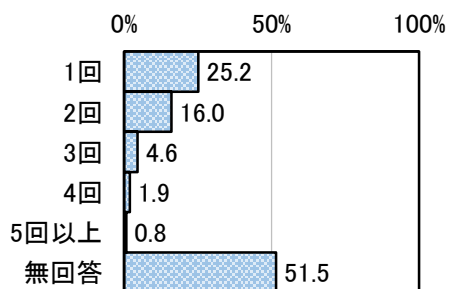
(n=555)



【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】

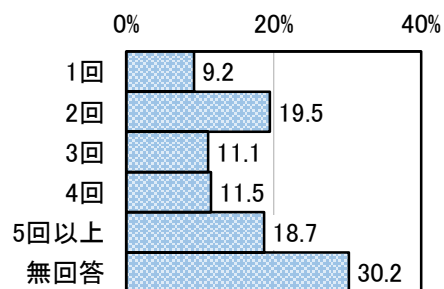
・ 1週あたりの利用回数

(n=262)



・ 1か月あたりの利用回数

(n=262)



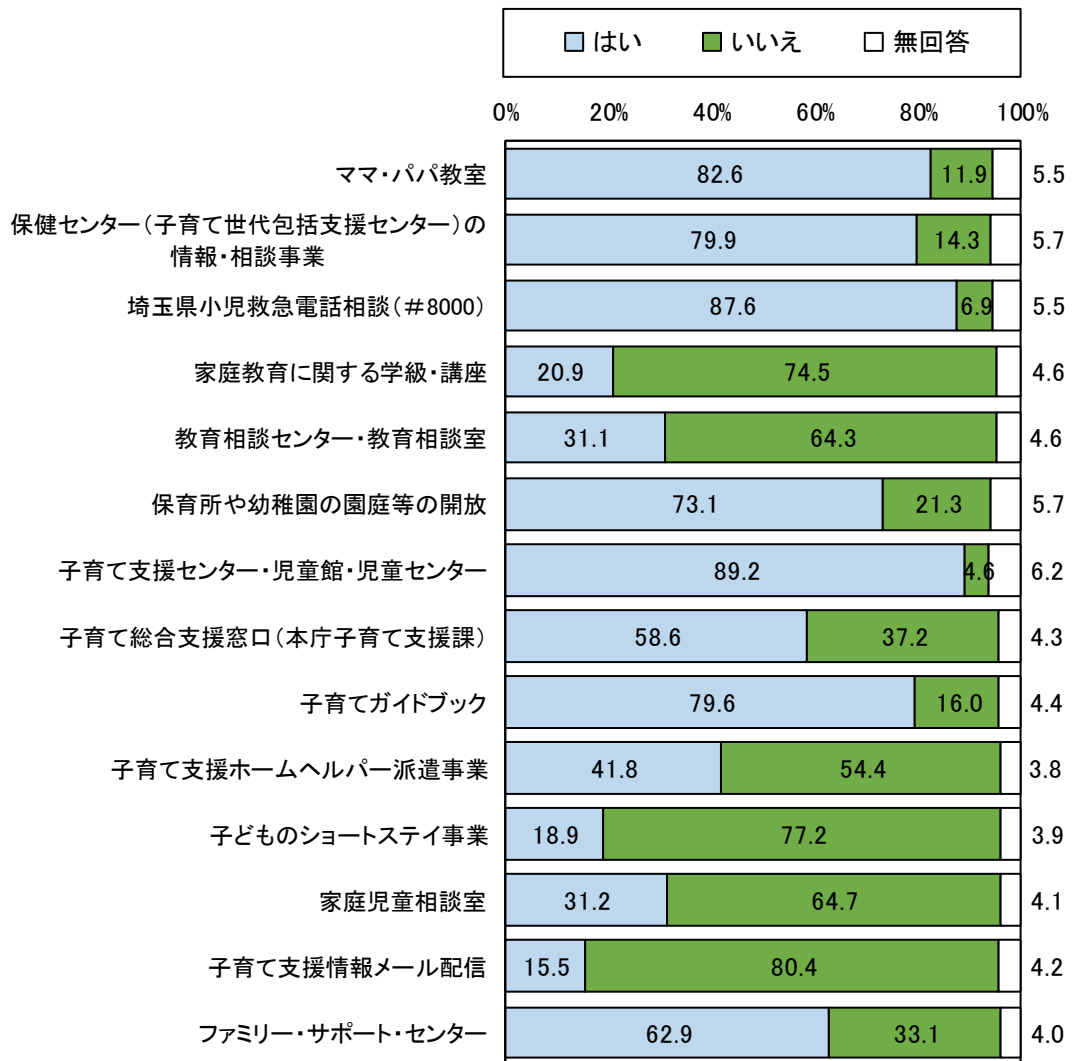
(5) 各種事業の認知度

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。  
(事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の認知度（知っているもの）について、「はい」が多い順に、「子育て支援センター・児童館・児童センター」（89.2%）、「埼玉県小児救急電話相談（#8000）」（87.6%）、「ママ・パパ教室」（82.6%）、「保健センター（子育て世代包括支援センター）の情報・相談事業」（79.9%）、「子育てガイドブック」（79.6%）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「子育て支援情報メール配信」（80.4%）、「子どものショートステイ事業」（77.2%）、「家庭教育に関する学級・講座」（74.5%）、「家庭児童相談室」（64.7%）、「教育相談センター・教育相談室」（64.3%）となっています。

(n=1,900)





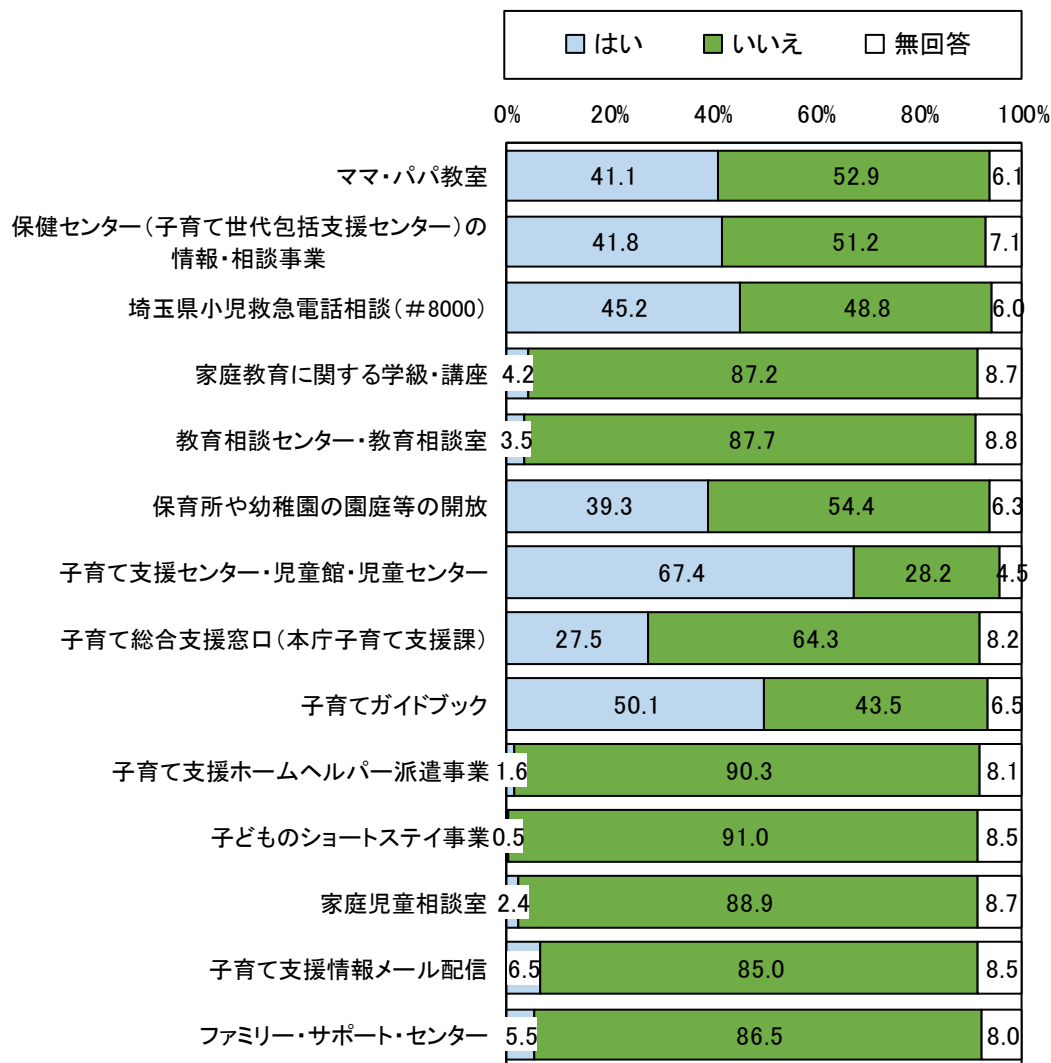
(6) 各種事業の利用状況

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。  
(事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の利用状況（これまでに利用したことがあるもの）について、「はい」が多い順に、「子育て支援センター・児童館・児童センター」（67.4%）、「子育てガイドブック」（50.1%）、「埼玉県小児救急電話相談（#8000）」（45.2%）、「保健センター（子育て世代包括支援センター）の情報・相談事業」（41.8%）、「ママ・パパ教室」（41.1%）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「子どものショートステイ事業」（91.0%）、「子育て支援ホームヘルパー派遣事業」（90.3%）、「家庭児童相談室」（88.9%）、「教育相談センター・教育相談室」（87.7%）、「家庭教育に関する学級・講座」（87.2%）となっています。

(n=1,900)



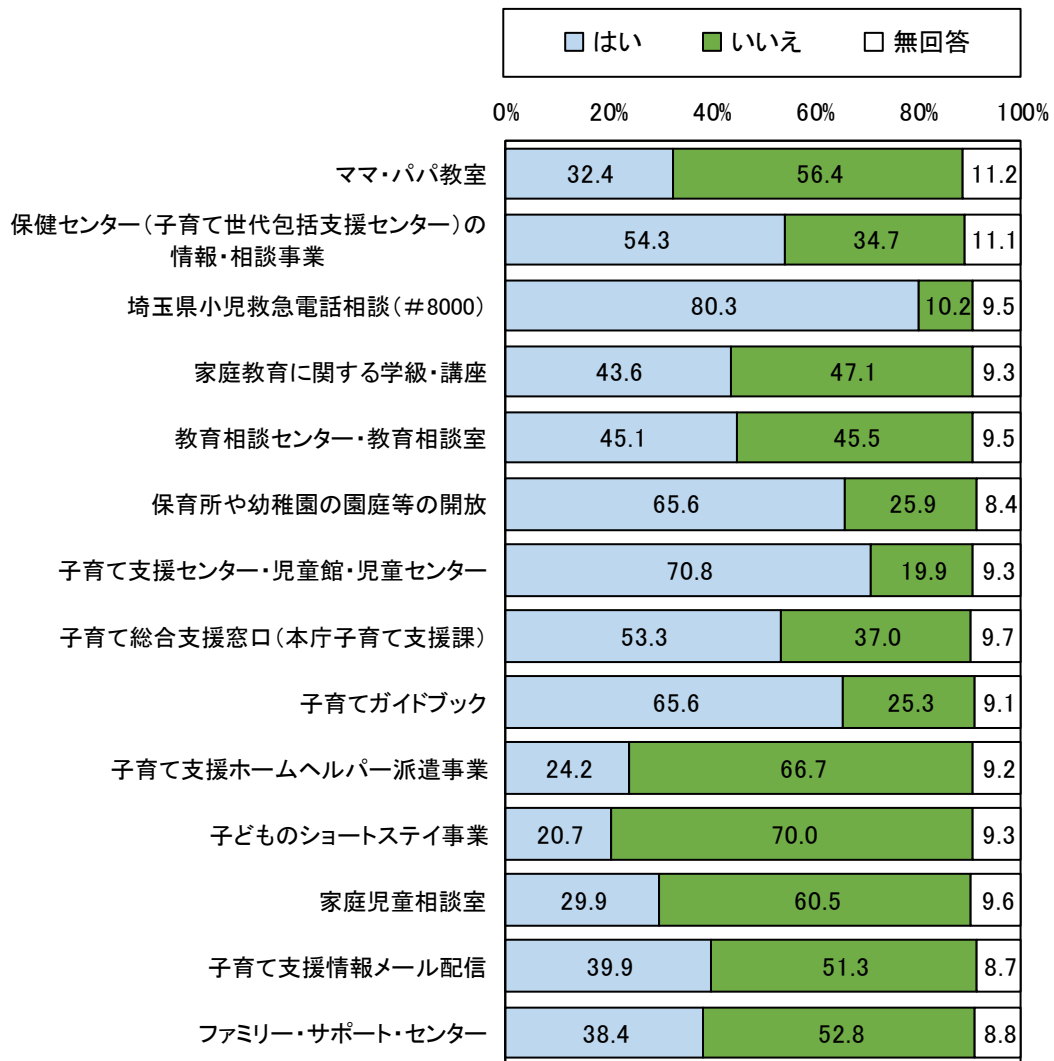
(7) 各種事業の利用意向

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。  
(事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の利用意向（今後、利用したいと思うものを）について、「はい」が多い順に、「埼玉県小児救急電話相談（＃8000）」（80.3%）、「子育て支援センター・児童館・児童センター」（70.8%）、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」（65.6%）、「子育てガイドブック」（65.6%）、「保健センター（子育て世代包括支援センター）の情報・相談事業」（54.3%）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「子どものショートステイ事業」（70.0%）、「子育て支援ホームヘルパー派遣事業」（66.7%）、「家庭児童相談室」（60.5%）、「ママ・パパ教室」（56.4%）、「ファミリー・サポート・センター」（52.8%）となっています。

(n=1,900)



## 6 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

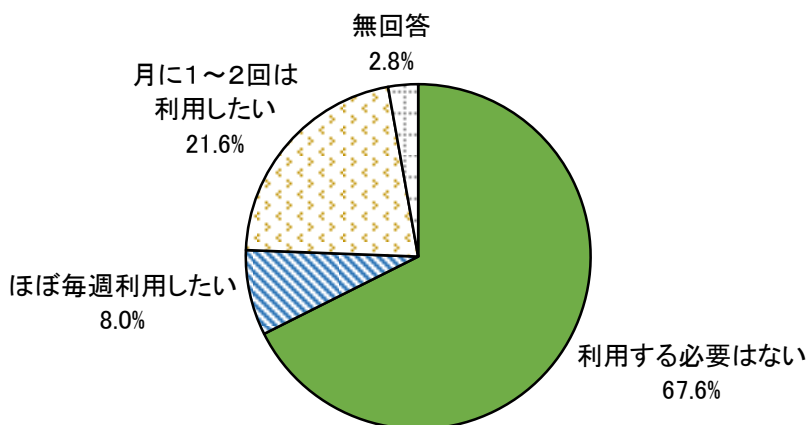
### (1) 定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望

問17 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除きます）はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（それぞれ1つに○、数字を記入）

定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が 67.6%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 21.6%、「ほぼ毎週利用したい」が 8.0%となっています。

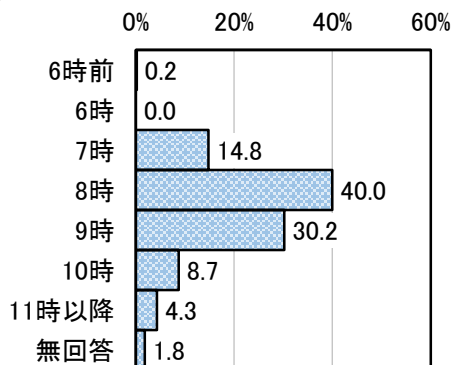
希望する利用開始時刻は、「8時」が 40.0%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「18時」が 22.2%で最も多くなっています。

(n=1,900)



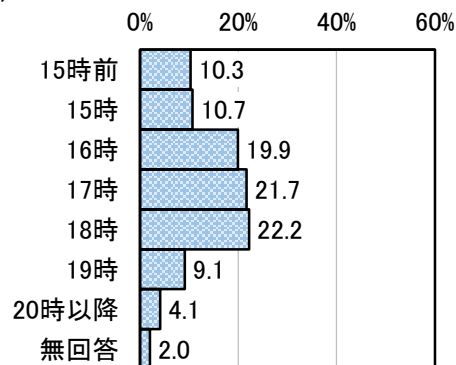
【利用開始時刻】

(n=562)



【利用終了時刻】

(n=562)



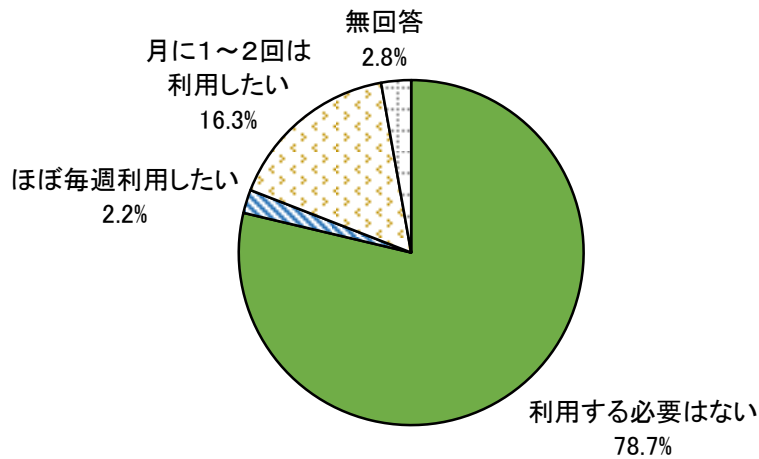
(2) 定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望

問17 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望(一時的な利用は除きます)はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。(それぞれ1つに○、数字を記入)

定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が78.7%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が16.3%、「ほぼ毎週利用したい」が2.2%となっています。

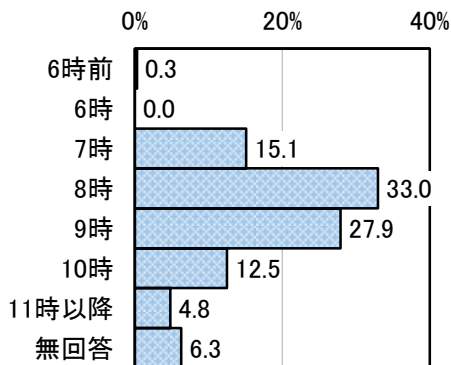
希望する日曜・祝日の利用開始時刻は、「8時」が33.0%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「18時」が23.4%で最も多くなっています。

(n=1,900)



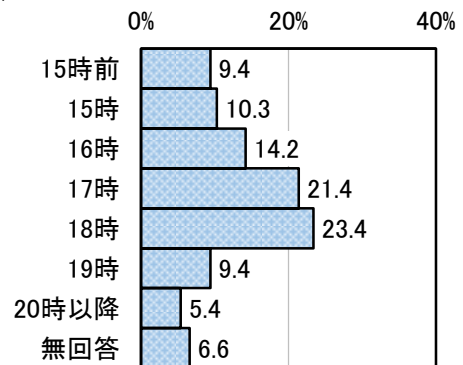
【利用開始時刻】

(n=351)



【利用終了時刻】

(n=351)



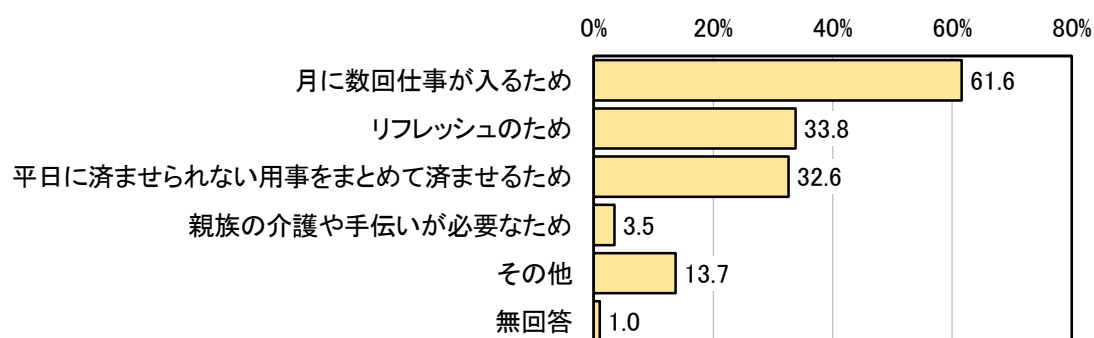
## (3) 土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由

【問17の土曜日、日曜日・祝日で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方のみ】

問17-1 毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が61.6%で最も多く、次いで「リフレッシュのため」が33.8%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が32.6%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が3.5%となっています。

(n=482)



(4) 定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望

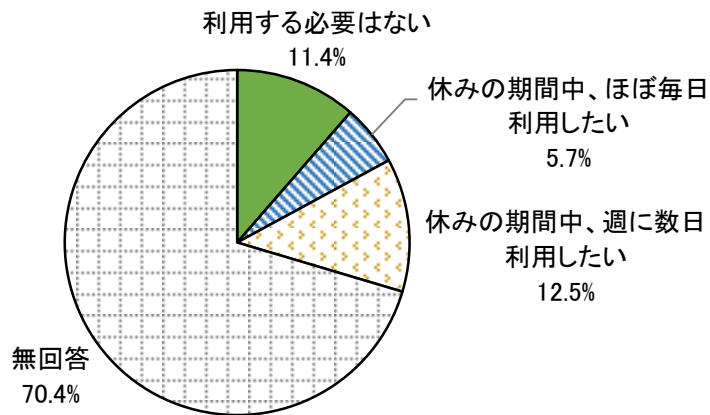
【「幼稚園」を利用されている方のみ】

問18 宛名のお子さまについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。(1つに○、数字を記入)

幼稚園を利用している方の定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が12.5%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が11.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が5.7%となっています。

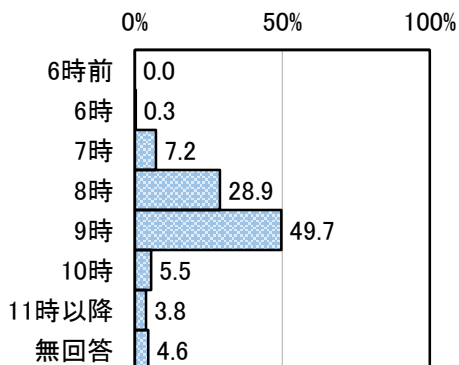
希望する長期休暇期間の利用開始時刻は、「9時」が49.7%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「15時」が22.3%で最も多くなっています。

(n=1,900)



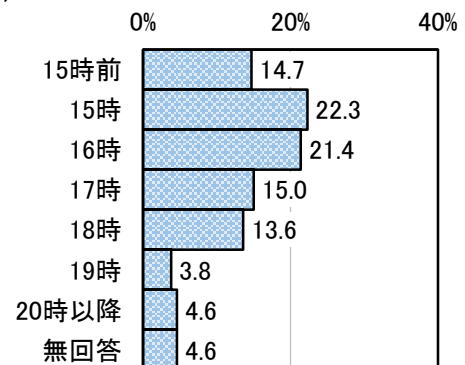
【利用開始時刻】

(n=346)



【利用終了時刻】

(n=346)



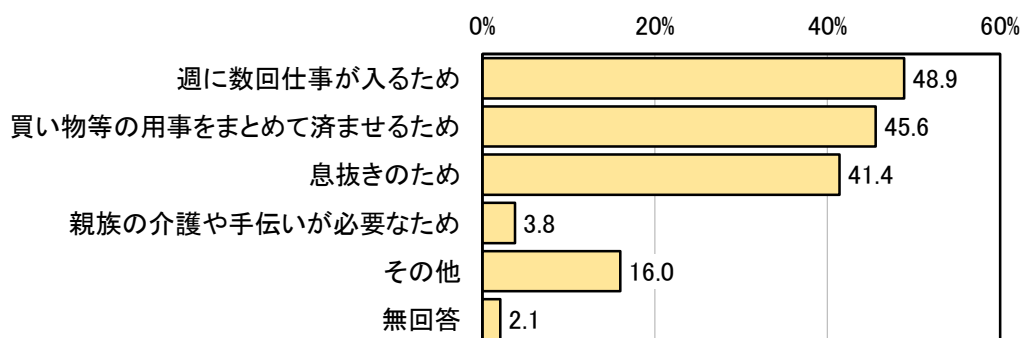
## (5) 長期休暇期間中、たまに利用したい理由

【問18で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ】

問18-1 毎日ではなく、週に数日利用したい理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

長期休暇期間に、毎日ではなく、たまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が48.9%で最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が45.6%、「息抜きのため」が41.4%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が3.8%となっています。

(n=237)



## 7 お子様の病気の際の対応について【平日の教育・保育事業の利用者のみ】

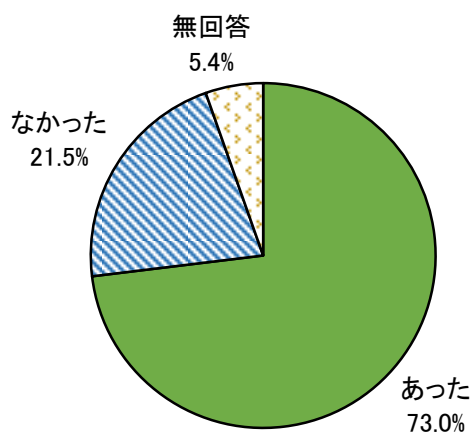
### (1) 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

【問12で平日の定期的な教育・保育の事業を「1. 利用している」に○をつけた方のみ】

問19 この1年間に、宛名のお子さまが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。  
(1つに○)

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が73.0%、次いで「なかった」が21.5%となっています。

(n=1,161)





## (2) 事業が利用できなかった場合の対処方法

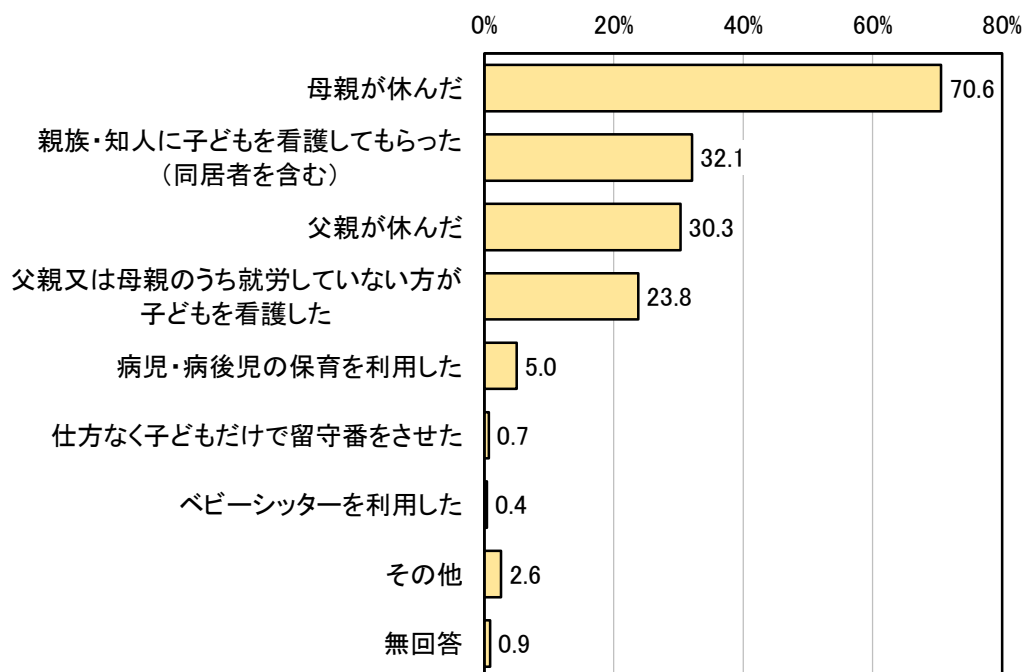
【問19で「1. あった」に○をつけた方のみ】

問19-1 宛名のお子さまが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入、半日程度の対応の場合は1日でカウント)

事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が70.6%で最も多く、次いで「親族・知人に子どもを看護してもらった(同居者を含む)」が32.1%、「父親が休んだ」が30.3%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看護した」が23.8%、「病児・病後児の保育を利用した」が5.0%となっています。

上位4項目の1年間の対処日数は、いずれも「1～5日」が最も多くなっています。

(n=848)

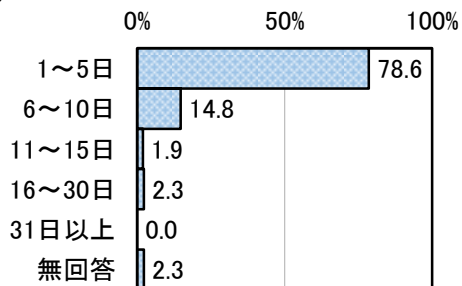


### 第3章 就学前児童保護者

#### 【1年間の対処日数】

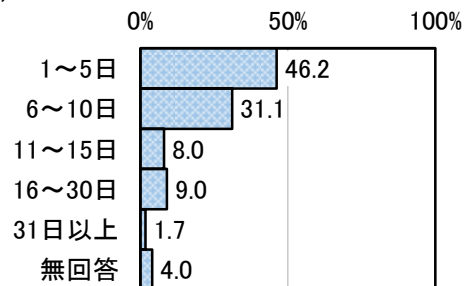
##### ・父親が休んだ

(n=257)



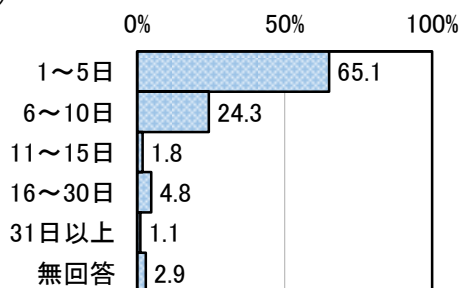
##### ・母親が休んだ

(n=599)



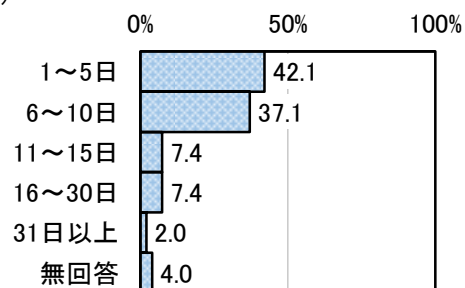
##### ・親族・知人にみてもらった

(n=272)



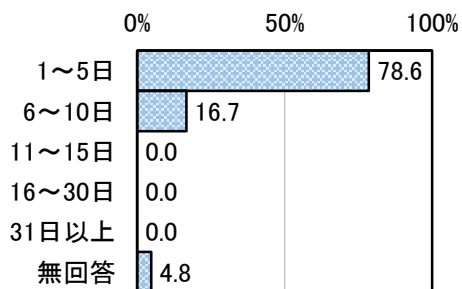
##### ・父母のうち就労していない方が子どもをみた

(n=202)



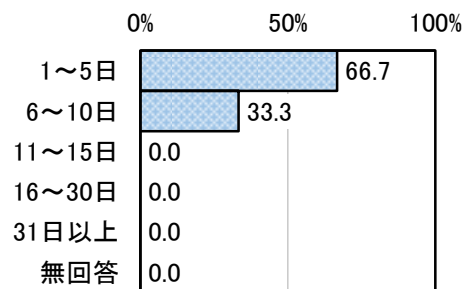
##### ・病児・病後児の保育を利用した

(n=42)



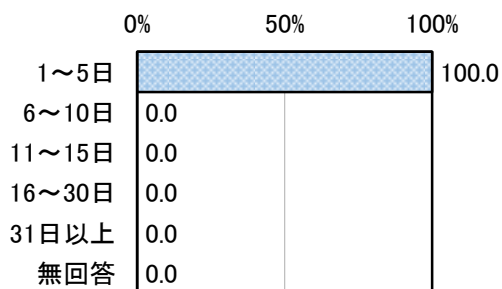
##### ・ベビーシッターを利用した

(n=3)



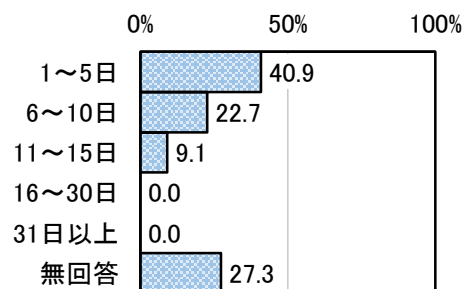
##### ・子どもだけで留守番をさせた

(n=6)



##### ・その他の対処

(n=22)



### (3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

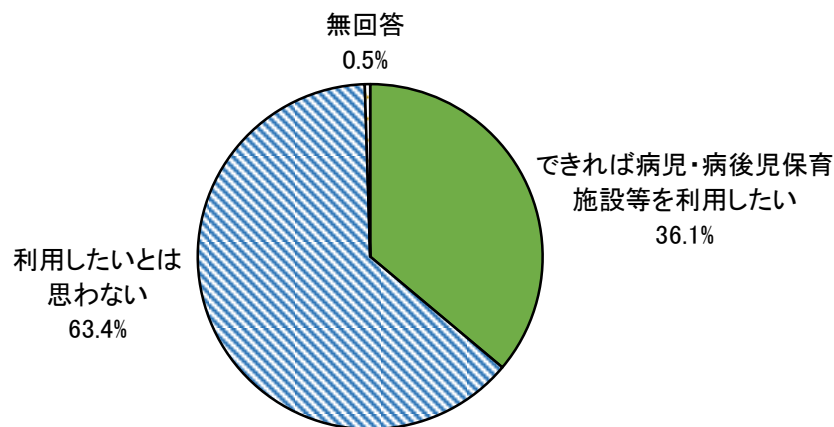
【問19-1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ】

問19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つに○、数字を記入)

父親または母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」が63.4%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が36.1%、となっています。

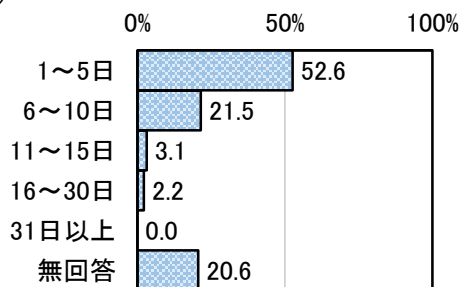
希望する病児・病後児保育施設等の1年間の利用日数は、「1～5日」が52.6%で最も多くなっています。

(n=631)



#### 【1年間の利用日数】

(n=228)



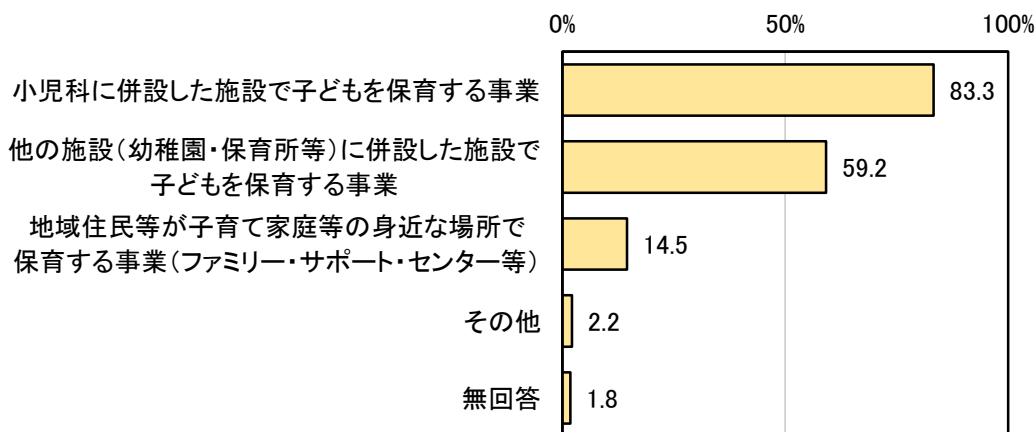
(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

【問19-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ】

問19-3 病気やケガに対応する目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が83.3%で最も多く、次いで「他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が59.2%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」が14.5%となっています。

(n=228)



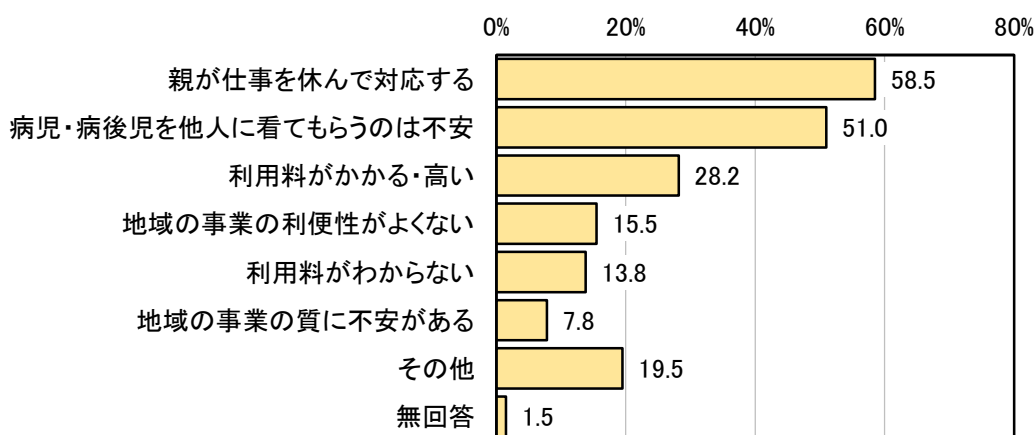
## (5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

【問19-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ】

問19-4 利用したいと思わない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が58.5%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が51.0%、「利用料がかかる・高い」が28.2%、「地域の事業の利便性がよくない（立地や利用可能時間日数など）」が15.5%、「利用料がわからない」が13.8%となっています。

(n=400)

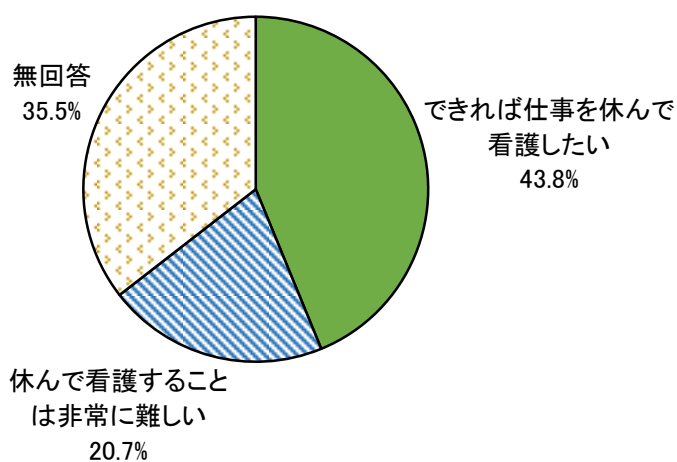


(6) 父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったか

【問19-1で「3. 親族・知人に子どもを看護してもらった」～「8. その他」に○をつけた方のみ】  
 問19-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。  
 (1つに○、問19-1の「3」から「8」の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数を数字で記入)

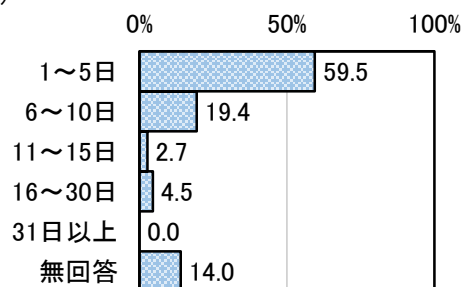
父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったかどうかは、「できれば仕事を休んで看護したい」が43.8%、「休んで看護することは非常に難しい」が20.7%となっています。  
 仕事を休んで看たい1年間の日数は、「1～5日」が59.5%で最も多くなっています。

(n=507)



【1年間の日数】

(n=222)



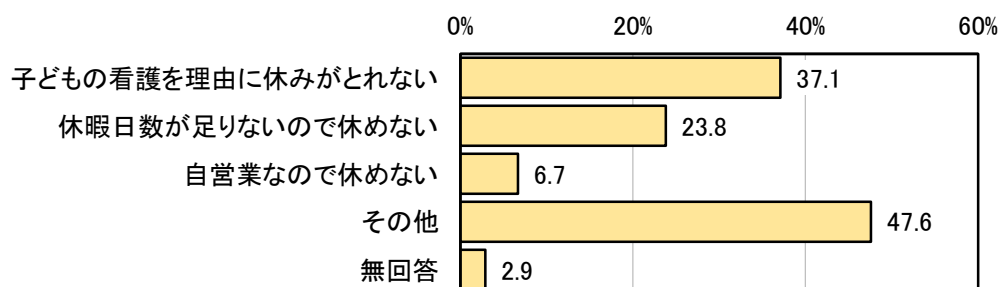
## (7) 休んで看護することが難しい理由

【問19-5で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方のみ】

問19-6 そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

休んで看護することが難しい理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が37.1%で最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が23.8%、「自営業なので休めない」が6.7%となっています。

(n=105)



《参考》その他

業務に支障が出る（10件）、職場に迷惑がかかる（9件）、人手が足りない・代わりがきかない（6件）  
休む必要がない（5件）、収入が減ってしまう（4件）休みづらい（3件）、仕事が忙しい（2件）など

## 8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

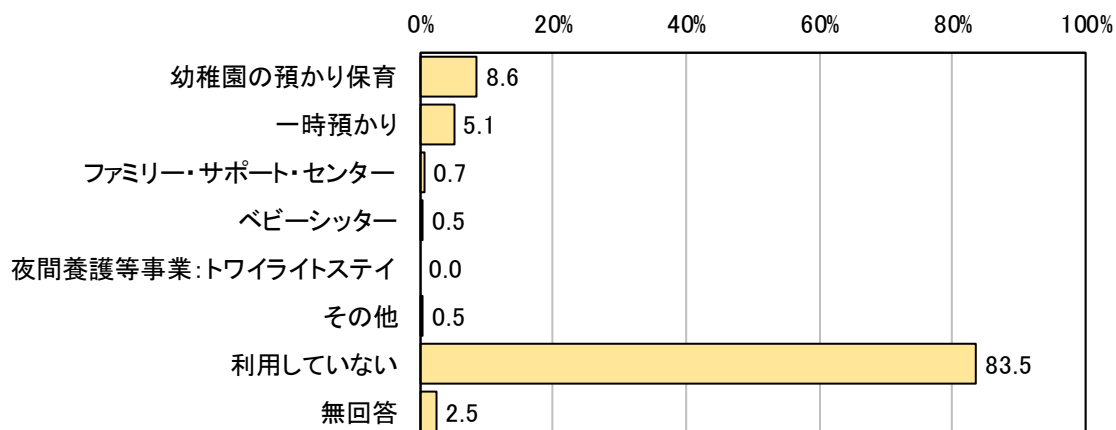
### (1) 利用している不定期の教育・保育の事業

問20 宛名のお子さまについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で「不定期」に利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

利用している不定期の教育・保育の事業は、「利用していない」が83.5%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）」が8.6%、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」が5.1%、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」が0.7%、「ベビーシッター」が0.5%となっています。

1年間の利用日数は、いずれも「1～5日」が最も多くなっています。

(n=1,900)

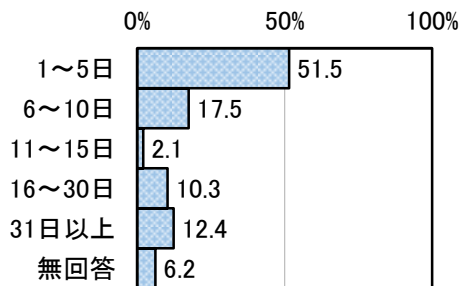




【1年間の利用日数】

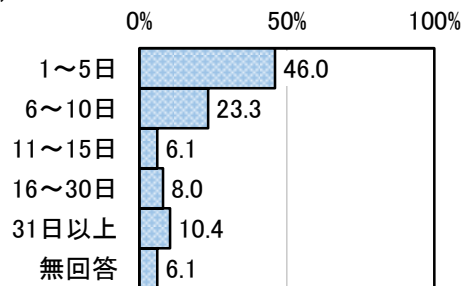
・一時預かり保育

(n=97)



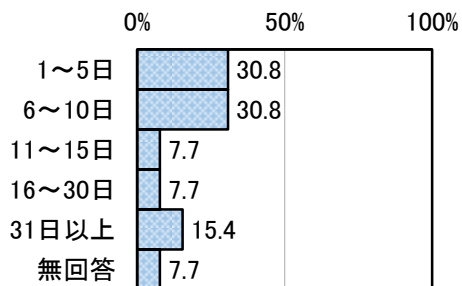
・幼稚園の預かり保育

(n=163)



・ファミリー・サポート・センター

(n=13)

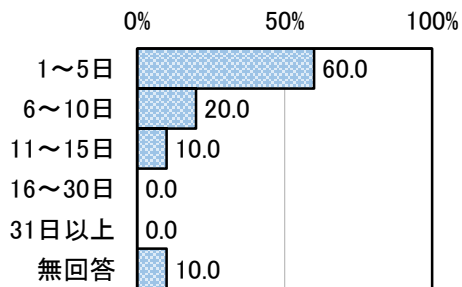


・夜間養護等事業 (トワイライトステイ)

(該当者なし)

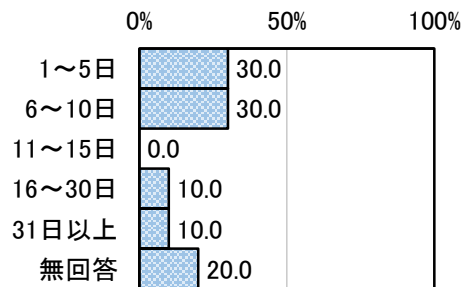
・ベビーシッター

(n=10)



・その他の事業

(n=10)



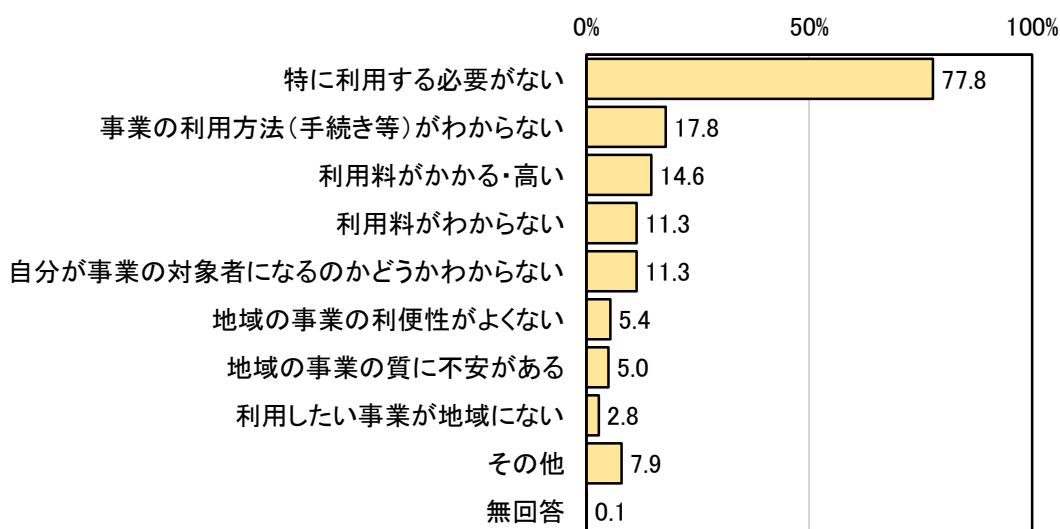
(2) 不定期の教育・保育の事業を利用していない理由

【問20で「7. 利用していない」に○をつけた方のみ】

問20-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

不定期の教育・保育の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が77.8%で最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が17.8%、「利用料がかかる・高い」が14.6%、「利用料がわからない」と「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」がともに11.3%となっています。

(n=1,587)



## (3) 私用等の目的での事業の利用希望

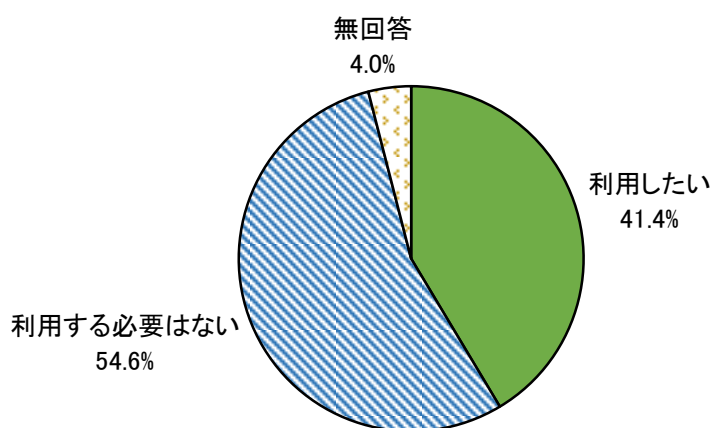
問21 宛名のお子さまについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

私用等の目的での事業の利用希望は、「利用する必要はない」が54.6%、「利用したい」が41.4%となっています。

利用したい場合の1年間の合計日数は、「不定期の就労」で「6～10日」、その他は「1～5日」が最も多くなっています。

事業の利用目的は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が62.9%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が59.8%、「不定期の就労」が29.5%となっています。

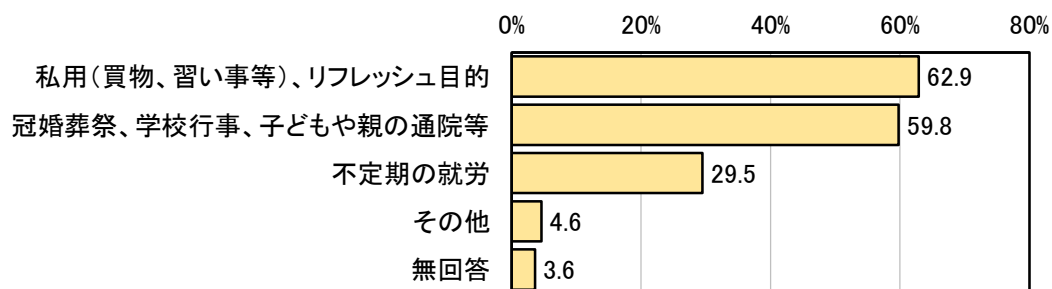
(n=1,900)



### 第3章 就学前児童保護者

#### 【事業の利用目的】

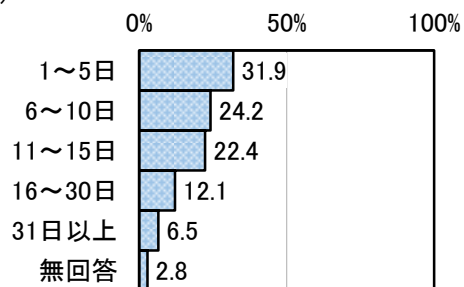
(n=787)



#### 【1年間に必要な日数】

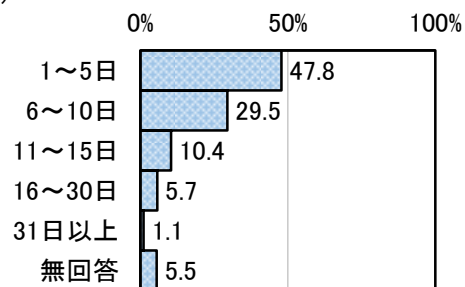
・私用、リフレッシュ目的

(n=495)



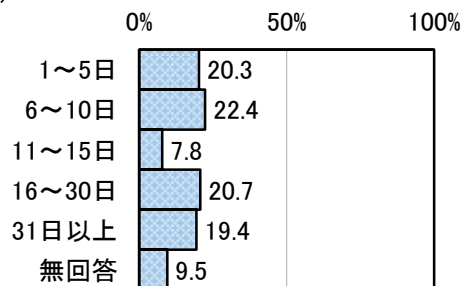
・冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

(n=471)



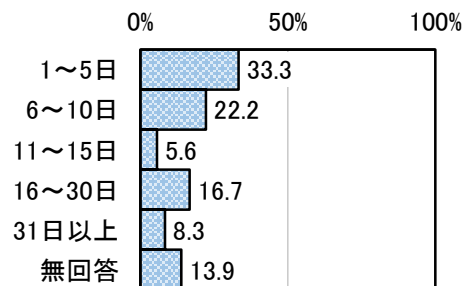
・不定期の就労

(n=232)



・その他の目的

(n=36)



## (4) 私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態

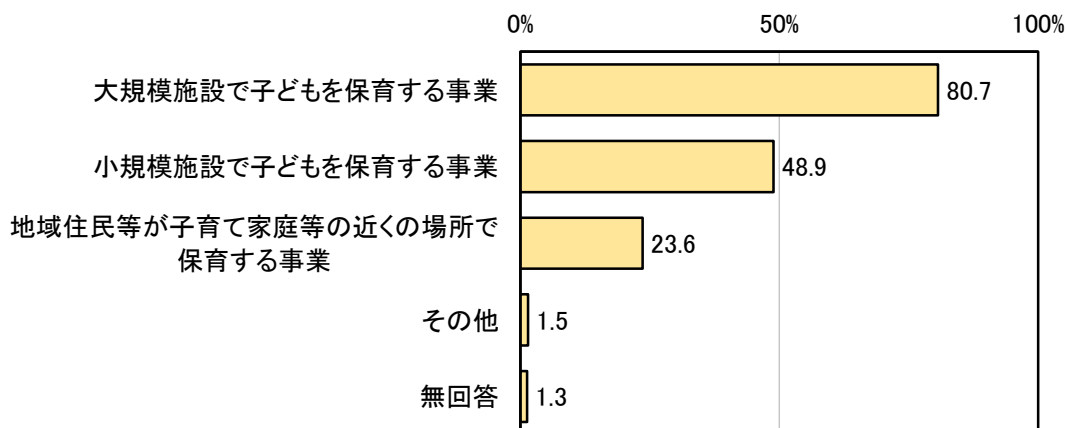
【問21で「1. 利用したい」に○をつけた方のみ】

問21-1 問21の目的でお子さまを預ける場合、望ましいと思われる事業形態は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

私等の目的で利用する事業の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所等）」が 80.7%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（地域子育て支援拠点等）」が 48.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」が 23.6%となっています。

(n=787)



(5) 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと

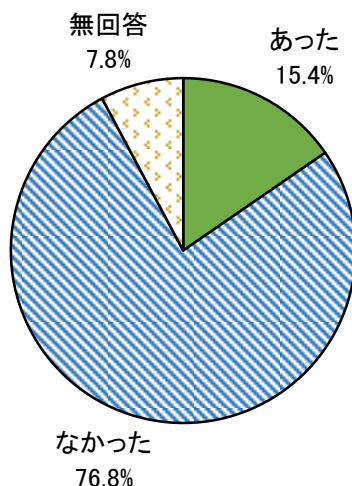
問22 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さまを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと(預け先が見つからなかった場合も含みます)はありましたか。あった場合は、この1年間の対応を選択し、それぞれの日数をご記入ください。  
(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったことは、「なかった」が76.8%、「あった」が15.4%となっています。

対処方法は、「親族・知人にみてもらった(同居者を含む)」が83.9%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が18.5%となっています。

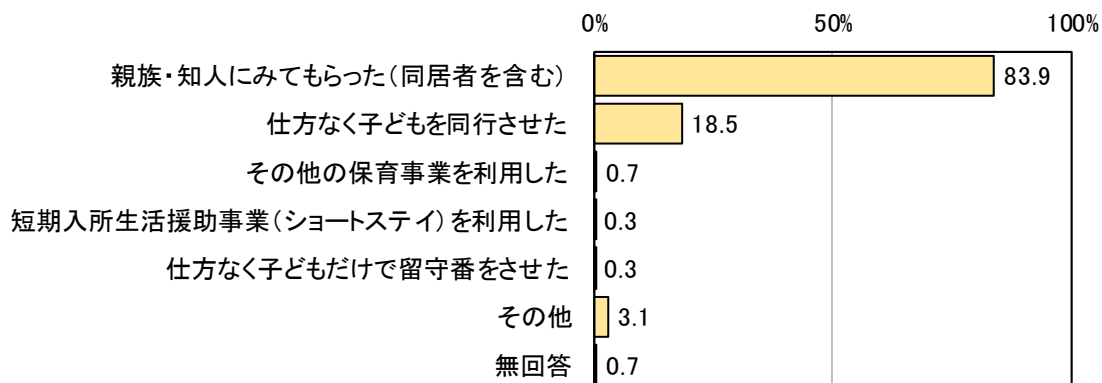
上位3項目の1年間の対処泊数は、いずれも「1～5日」が最も多くなっています。

(n=1,900)



【対処方法】

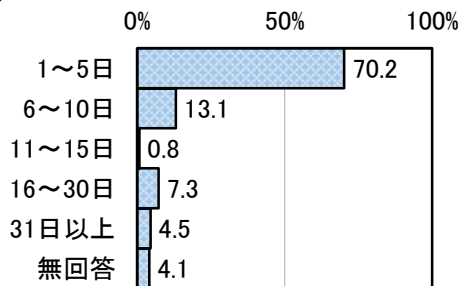
(n=292)



【1年間の対処泊数】

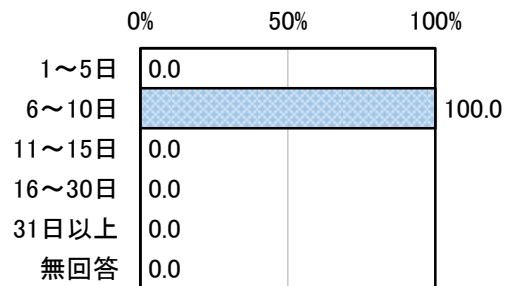
・親族・知人にみてもらった

(n=245)



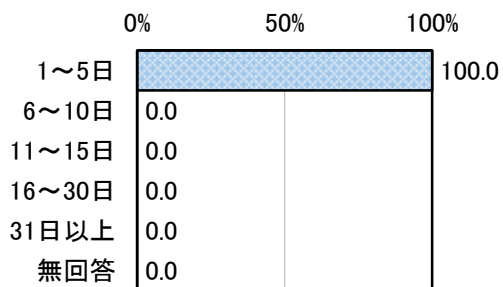
・短期入所生活援助事業を利用した

(n=1)



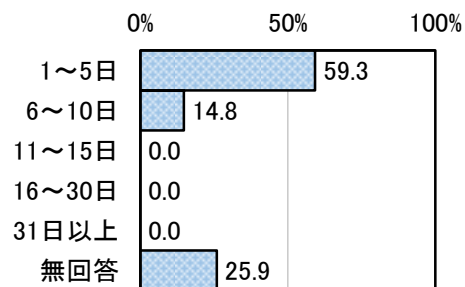
・その他の保育事業を利用した

(n=2)



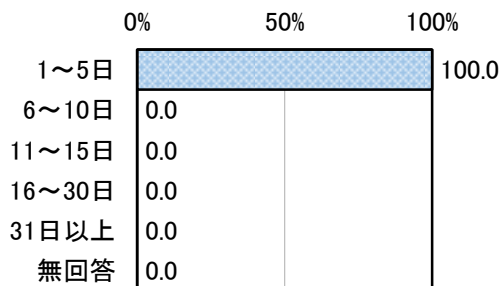
・子どもを同行させた

(n=54)



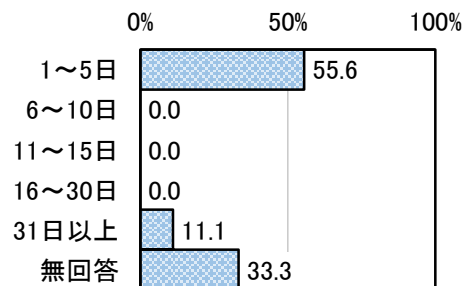
・子どもだけで留守番をさせた

(n=1)



・その他の対処

(n=9)



## 9 小学校就学後の放課後の過ごし方について【5歳以上のみ】

### (1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方

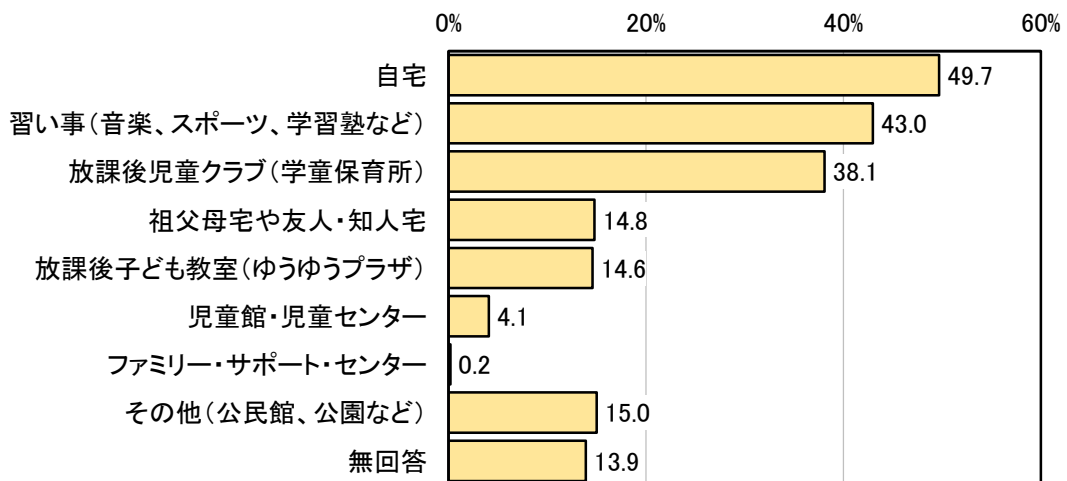
問23 宛名のお子さまについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

希望する低学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が49.7%で最も多く、次いで「習い事(音楽、スポーツ、学習塾など)」が43.0%、「放課後児童クラブ(学童保育所)」が38.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」が14.8%、「放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)」が14.6%となっています。

放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻は、「18時」が36.5%で最も多くなっています。

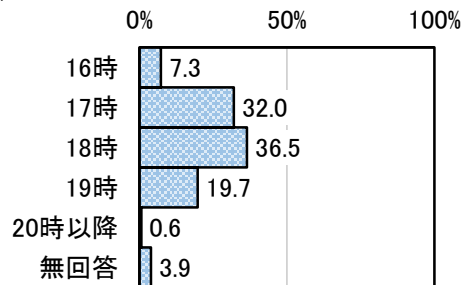
なお、1週あたりの利用日数は、「自宅」、「放課後児童クラブ(学童保育所)」では「5日」が多くなっていますが、「習い事」、「祖父母宅や友人・知人宅」は「1日」～「2日」が多くなっています。

(n=467)



【放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻】

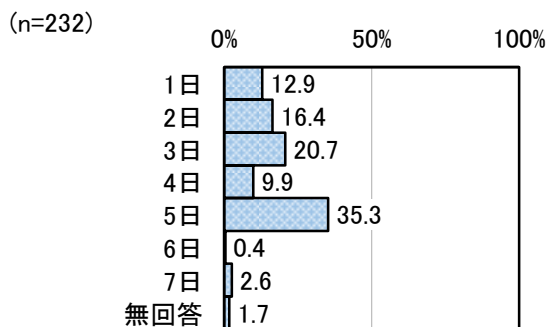
(n=178)



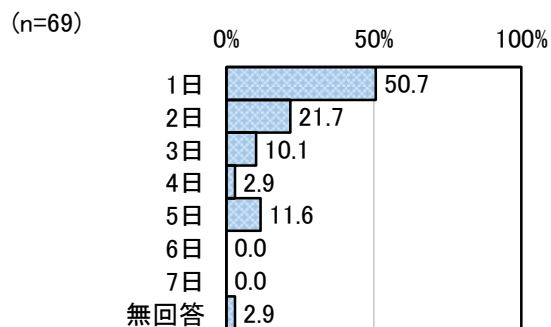


【1週あたりの利用日数】

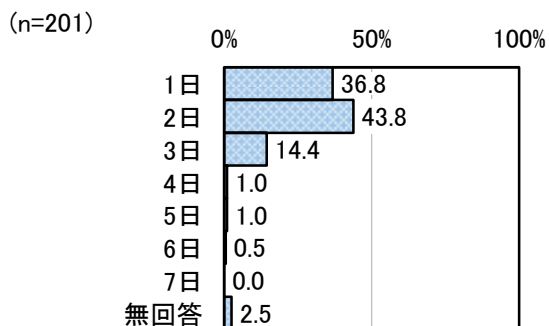
・ 自宅



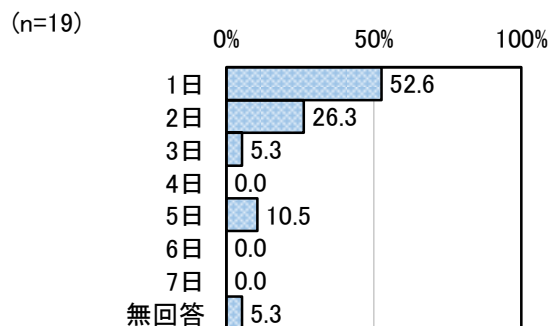
・ 祖父母宅や友人・知人宅



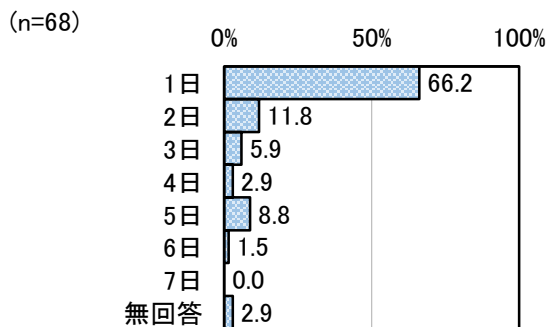
・ 習い事



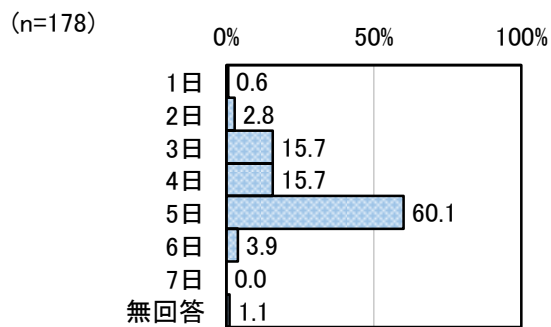
・ 児童センター



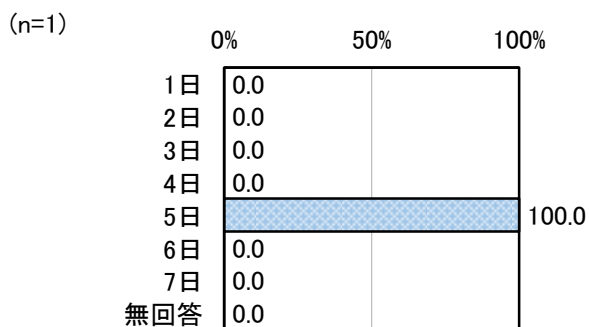
・ 放課後子ども教室



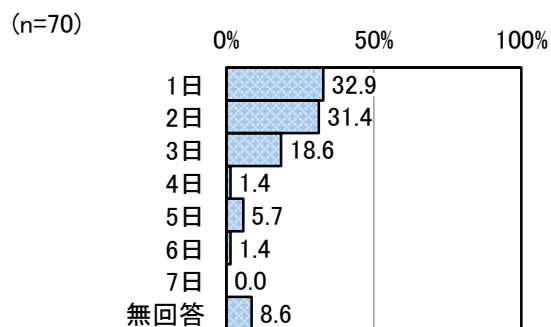
・ 放課後児童クラブ (学童保育)



・ ファミリー・サポート・センター



・ その他の過ごし方



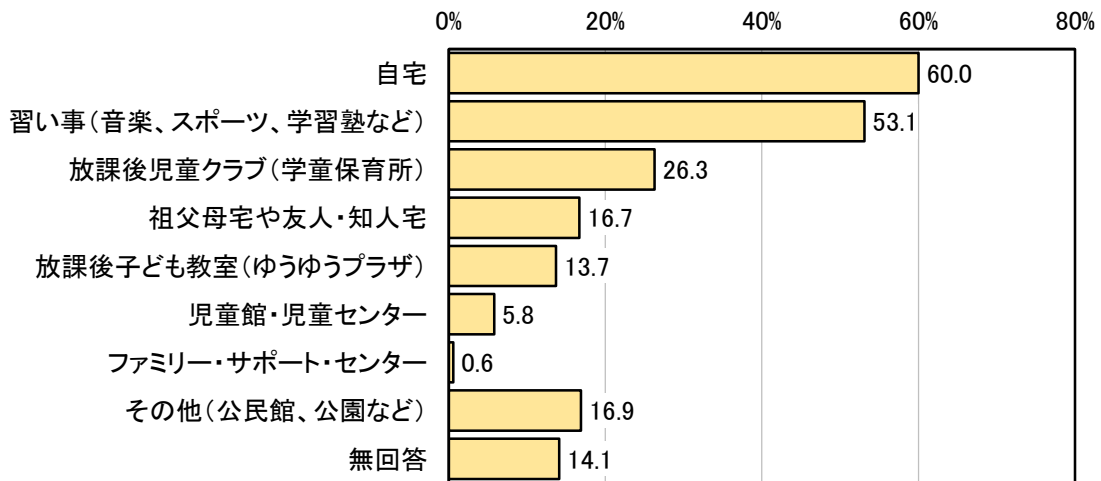
(2) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

問24 宛名のお子さまについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。今は未定という方も、現在お持ちのイメージでお答えください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

希望する高学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が 60.0%で最も多く、次いで「習い事(音楽、スポーツ、学習塾など)」が 53.1%、「放課後児童クラブ(学童保育所)」が 26.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 16.7%、「放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)」が 13.7%となっています。

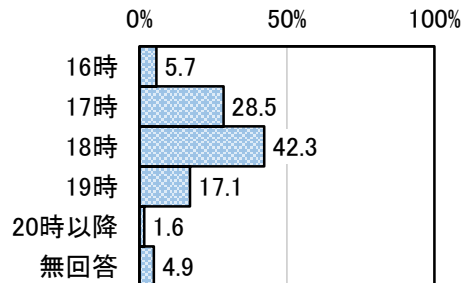
放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻は、「18時」が 42.3%で最も多くなっています。なお、1週あたりの利用日数は、「自宅」、「放課後児童クラブ(学童保育所)」では「5日」が多くなっていますが、「習い事」は「1日」が多くなっています。

(n=467)



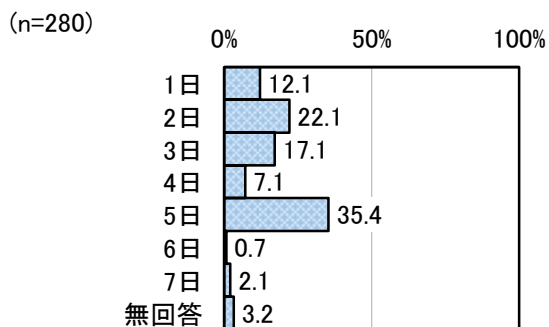
【放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻】

(n=123)

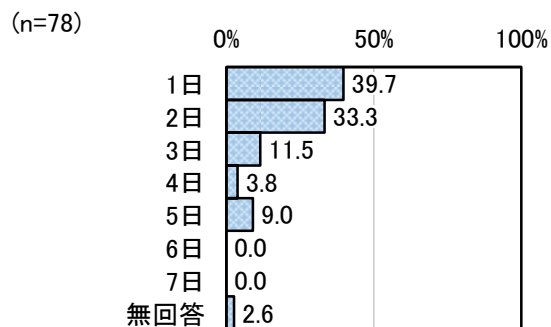


【1週あたりの利用日数】

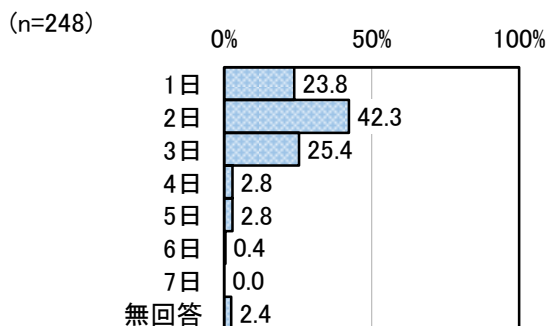
・ 自宅



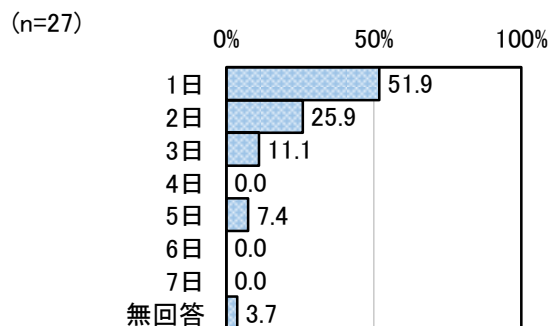
・ 祖父母宅や友人・知人宅



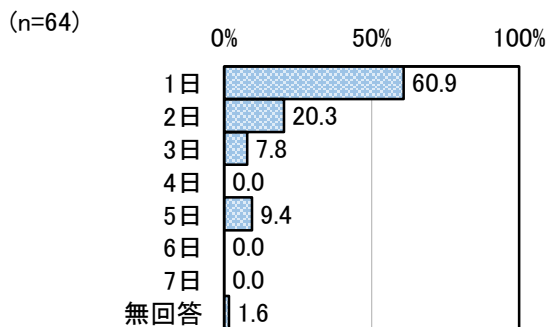
・ 習い事



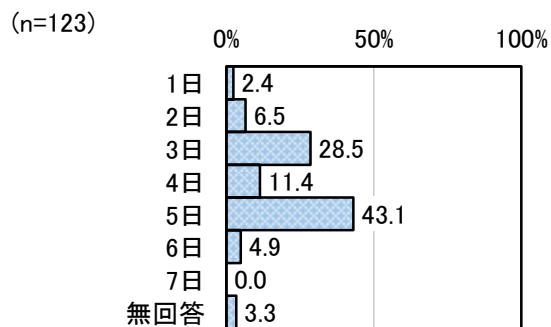
・ 児童センター



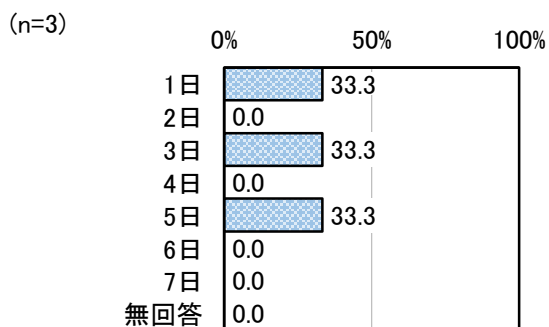
・ 放課後子ども教室



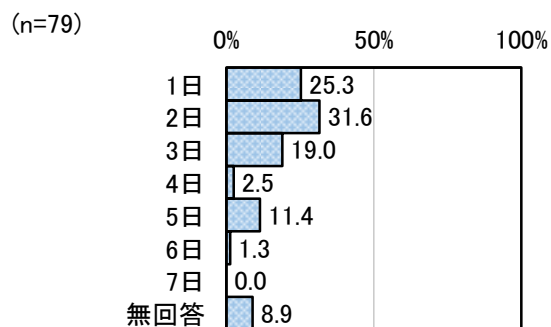
・ 放課後児童クラブ（学童保育）



・ ファミリー・サポート・センター



・ その他の過ごし方



(3) 土曜日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

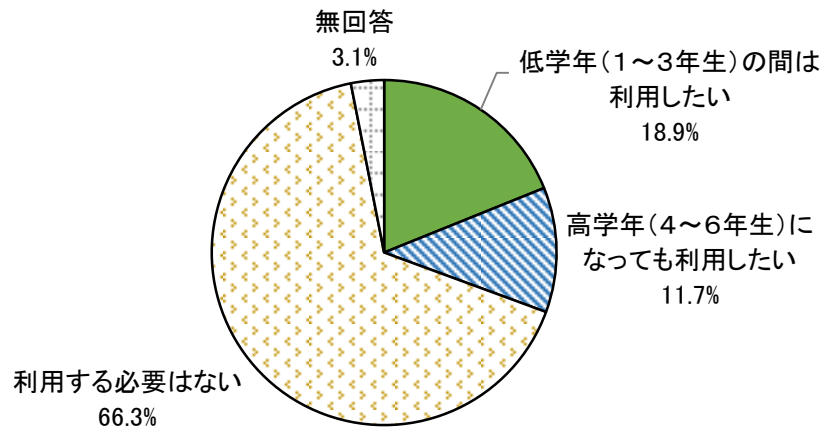
【問23または問24で「6. 放課後児童クラブ(学童保育所)」に○をつけた方のみ】

問25 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

土曜日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望は、「利用する必要はない」が66.3%で最も多く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が18.9%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が11.7%となっています。

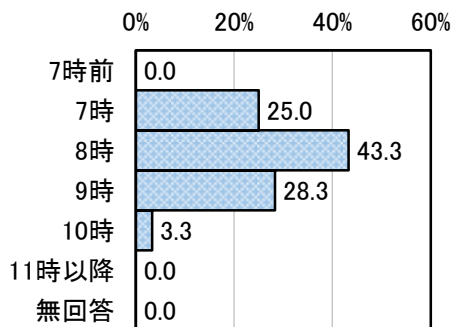
希望する利用開始時刻は「8時」が43.3%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が35.0%で最も多くなっています。

(n=196)



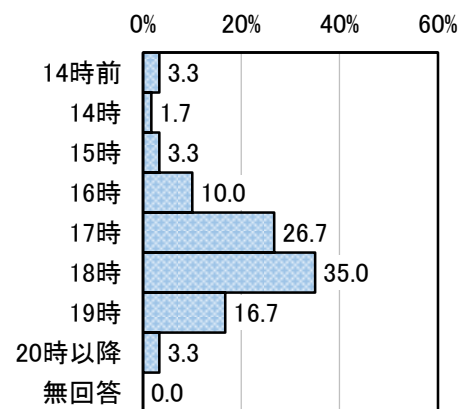
【利用開始時刻】

(n=60)



【利用終了時刻】

(n=60)



(4) 日曜日・祝日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

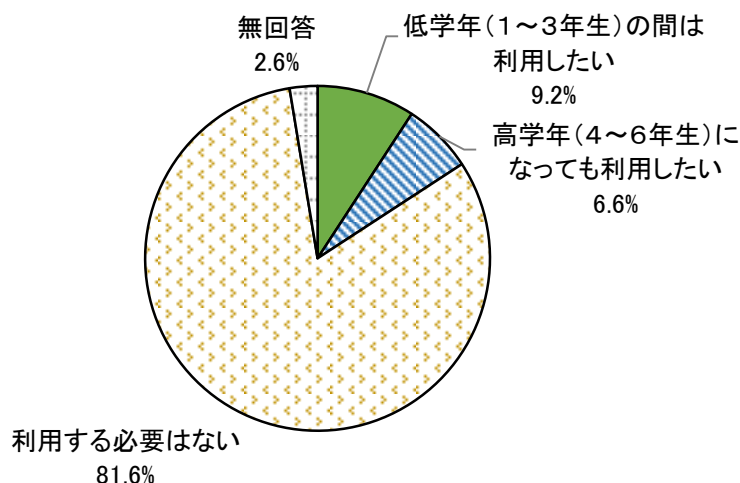
【問23または問24で「6. 放課後児童クラブ(学童保育所)」に○をつけた方のみ】

問25 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が81.6%で最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が9.2%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が6.6%となっています。

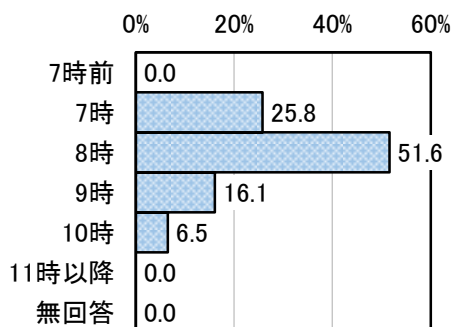
希望する利用開始時刻は「8時」が51.6%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が45.2%で最も多くなっています。

(n=196)



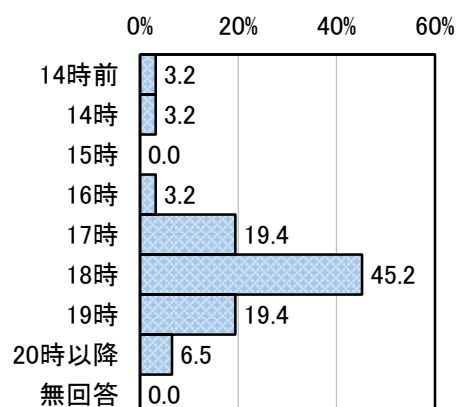
【利用開始時刻】

(n=31)



【利用終了時刻】

(n=31)



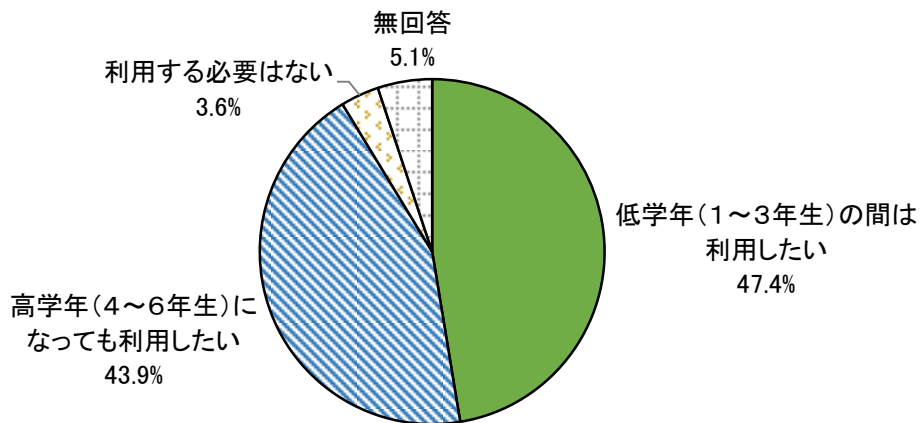
(5) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

問26 宛名のお子さまについて、お子さまの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(1つに○、数字を記入)

長期休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が47.4%で最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が43.9%、「利用する必要はない」が3.6%となっています。

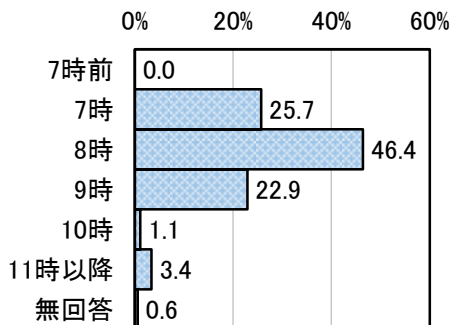
希望する利用開始時刻は「8時」が46.4%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が34.6%で最も多くなっています。

(n=196)



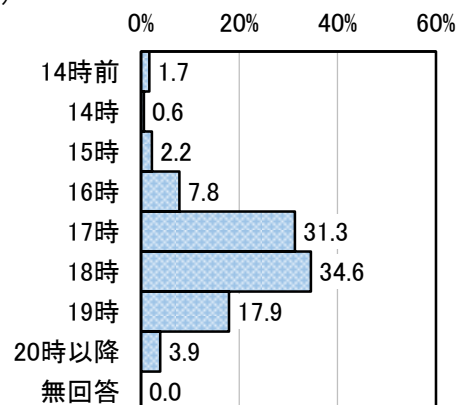
【利用開始時刻】

(n=179)



【利用終了時刻】

(n=179)



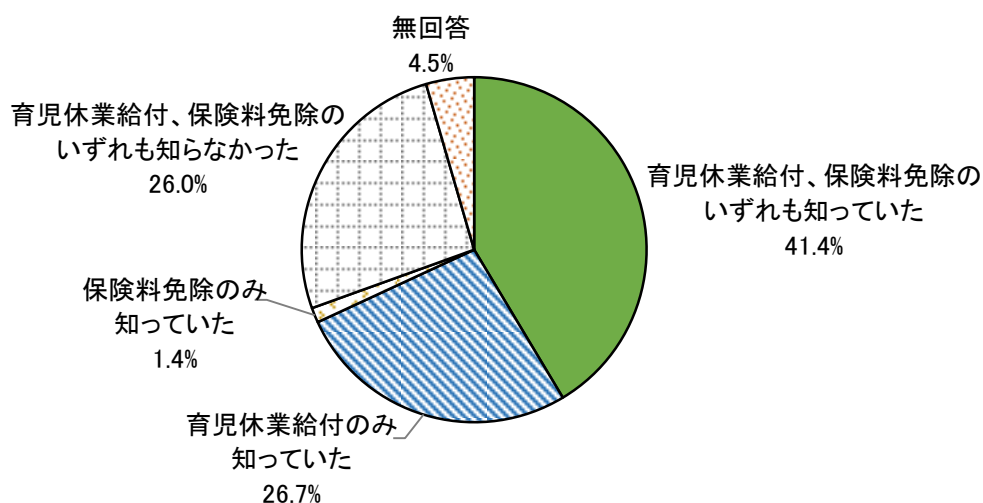
## 10 職場の両立支援制度について

### (1) 育児休業給付、保険料免除についての認知度

問27 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど、一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(1つに○)

育児休業給付、保険料免除についての認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が41.4%で最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が26.7%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が26.0%、「保険料免除のみ知っていた」が1.4%となっています。

(n=1,900)



## (2) 母親の育児休業の取得状況

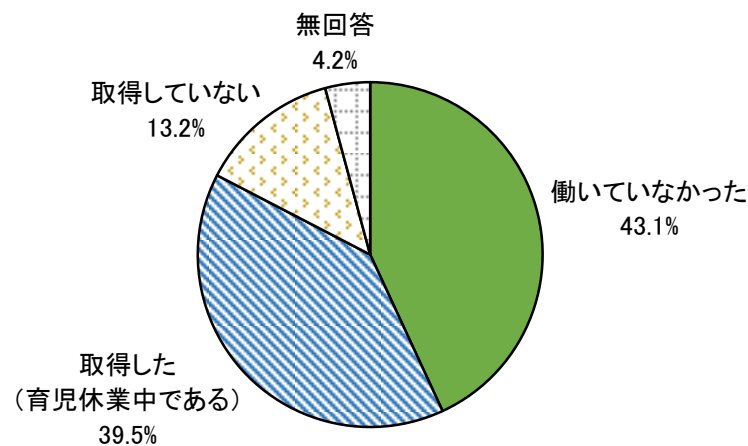
【問28～問28-9については、父母それぞれについてお答えください】

問28 宛名のお子さまが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。(父母それぞれ1つに〇)

母親の育児休業の取得状況は、「働いていなかった」が43.1%で最も多く、次いで「取得した(育児休業中である)」が39.5%、「取得していない」が13.2%となっています。

育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が44.4%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が15.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事に戻るのが難しそうだった」がともに9.2%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が6.4%となっています。

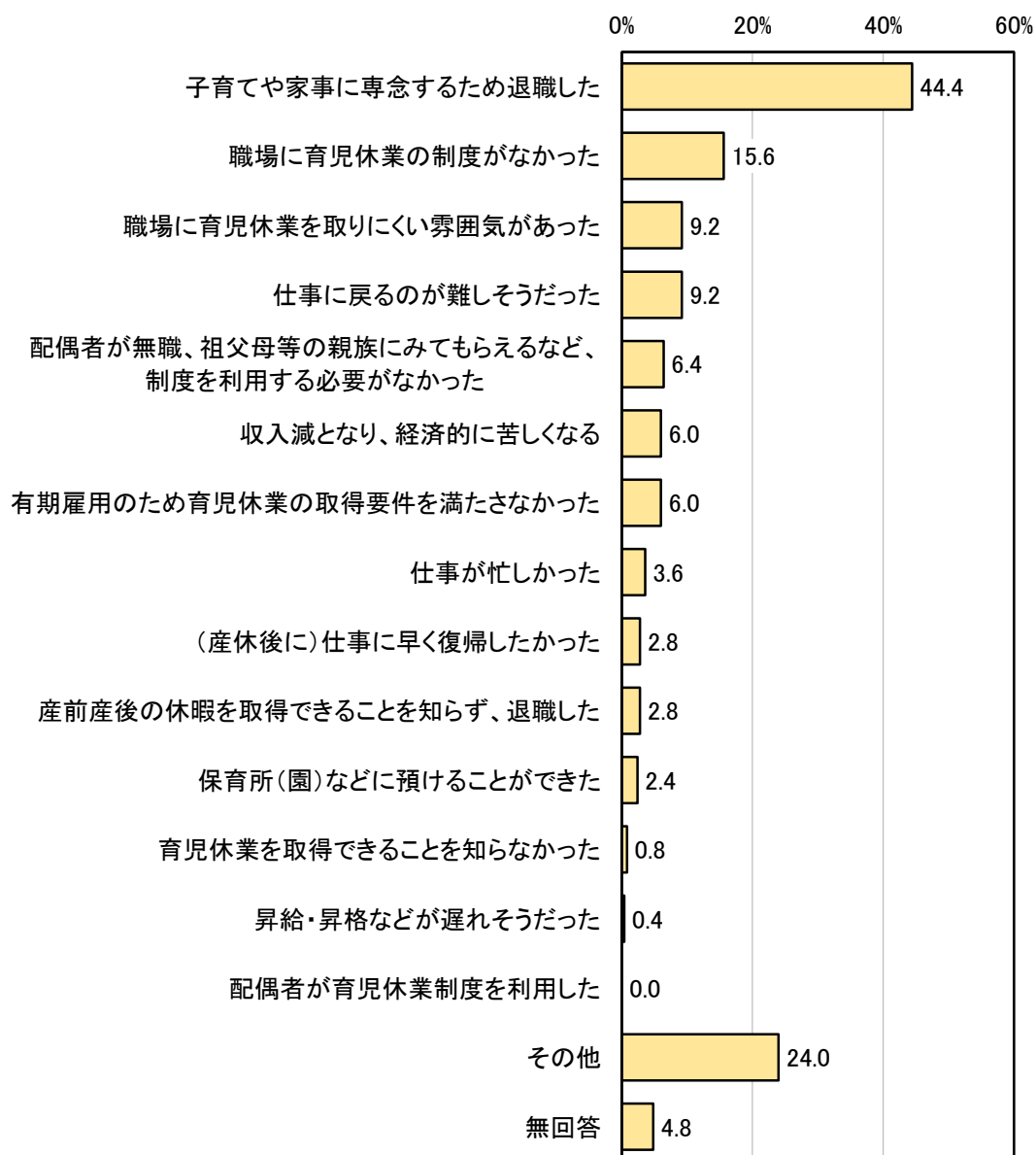
(n=1,900)





【母親が育児休業を取得していない理由】

(n=250)



### (3) 父親の育児休業の取得状況

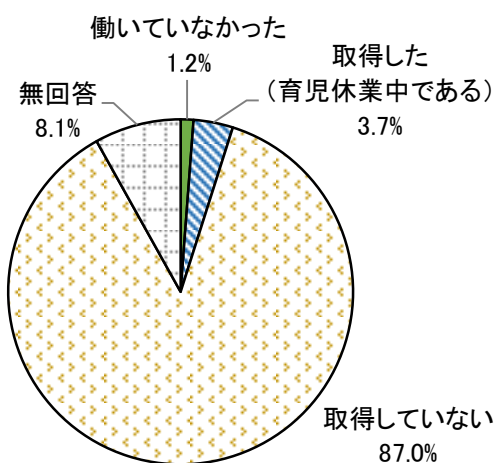
【問28～問28-9については、父母それぞれについてお答えください】

問28 宛名のお子さまが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。(父母それぞれ1つに○)

父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が87.0%、「取得した(育児休業中である)」が3.7%、「働いていなかった」が1.2%となっています。

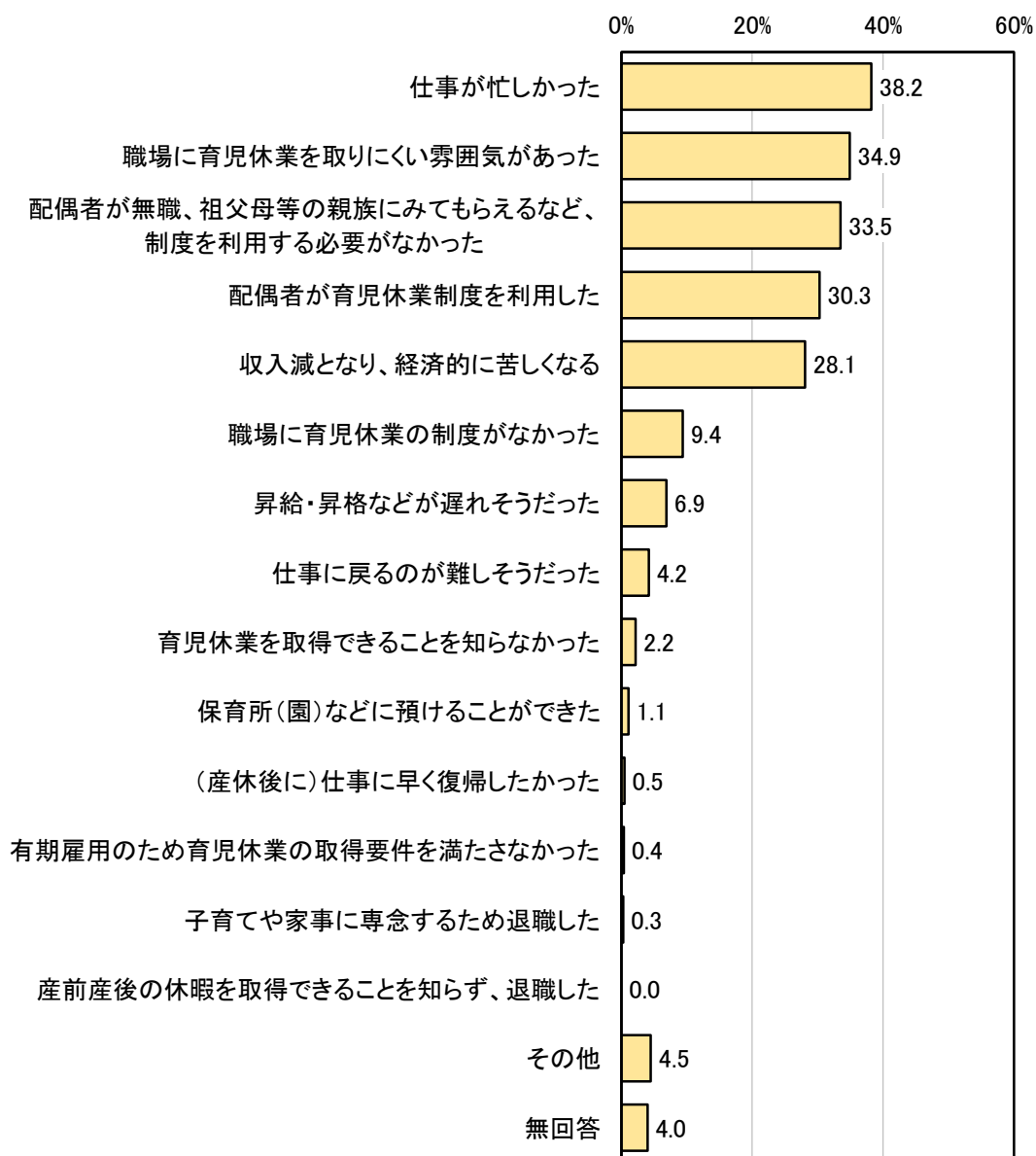
育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が38.2%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が34.9%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が33.5%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が30.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が28.1%となっています。

(n=1,900)



【父親が育児休業を取得していない理由】

(n=1,653)



(4) 育児休業取得後の状況

【問28で「2. 取得した(育児休業中である)」に○をつけた方のみ】

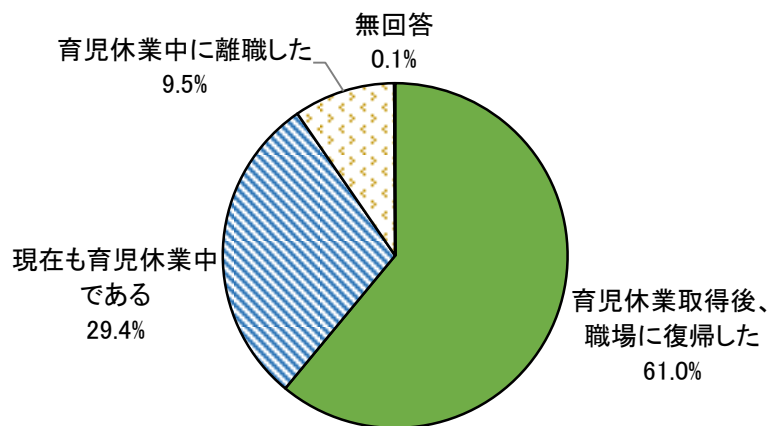
問28-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(父母それぞれ1つに○)

母親の育児休業取得後の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 61.0%で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 29.4%、「育児休業中に離職した」が 9.5%となっています。

また、父親の育児休業取得後の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 90.1%で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 4.2%となっています。

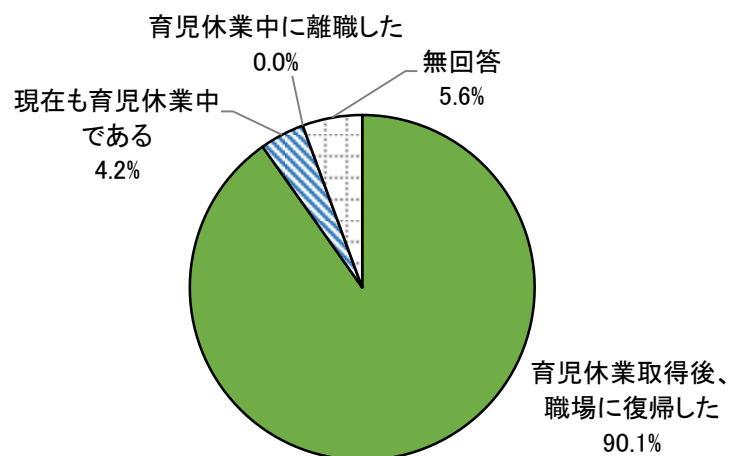
【母親の育児休業取得後の状況】

(n=751)



【父親の育児休業取得後の状況】

(n=71)



(5) 育児休業から職場に復帰したタイミング

【問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ】

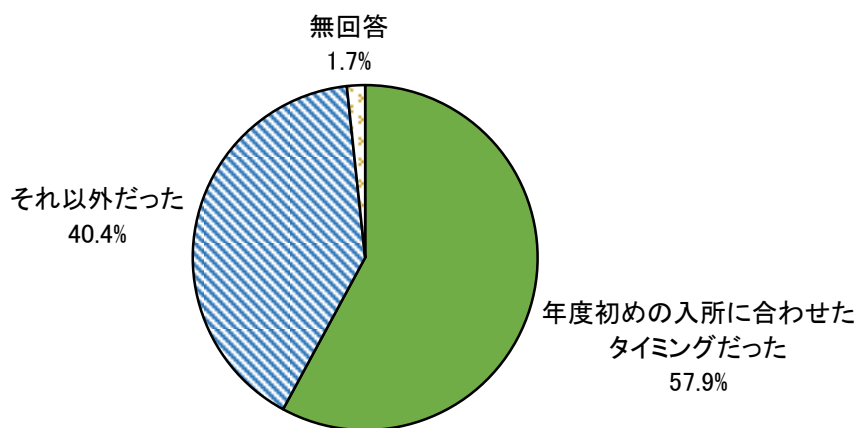
問28-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃に職場復帰、一時的に認可外保育所に入所した場合などは選択肢の「1」にあてはまります。年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。(父母それぞれ1つに○)

母親が育児休業から職場に復帰したタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が57.9%、「それ以外だった」が40.4%となっています。

一方、父親が育児休業から職場に復帰したタイミングは、「それ以外だった」が79.7%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が7.8%となっています。

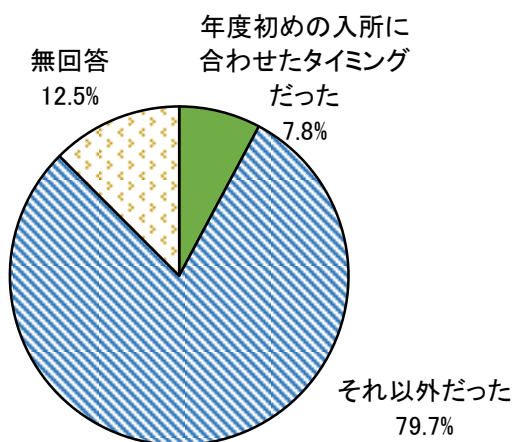
【母親の復帰時期】

(n=458)



【父親の復帰時期】

(n=64)



(6) 育児休業から職場に復帰する時期

【問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ】

問28-4 育児休業からは、「実際」にお子さまが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。  
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。  
(父母それぞれ数字を記入)

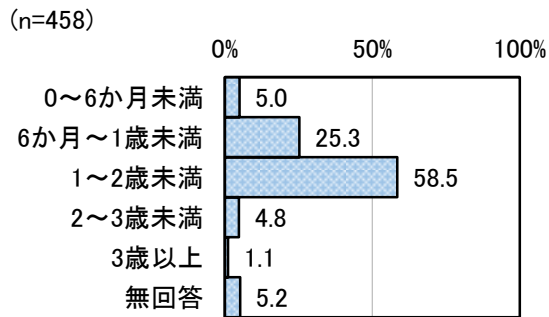
母親が職場に復帰した時期は、「1～2歳未満」が58.5%で最も多く、次いで「6か月～1歳未満」が25.3%となっています。

一方、母親が希望する職場への復帰時期は、「1～2歳未満」が62.9%で最も多く、次いで「2～3歳未満」が11.4%となっています。

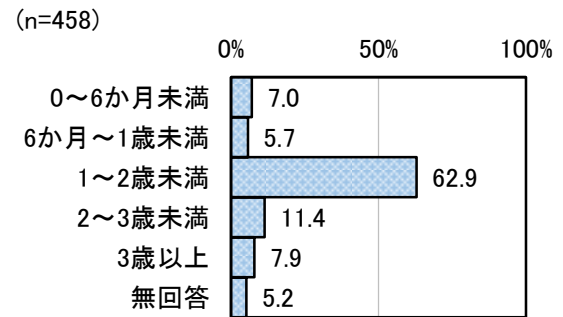
また、父親が職場に復帰した時期は、「0～6か月未満」が57.8%で最も多くなっています。

一方、父親が希望する職場への復帰時期は、「0～6か月未満」が37.5%で最も多く、次いで「1～2歳未満」が14.1%、「6か月～1歳未満」が9.4%となっています。

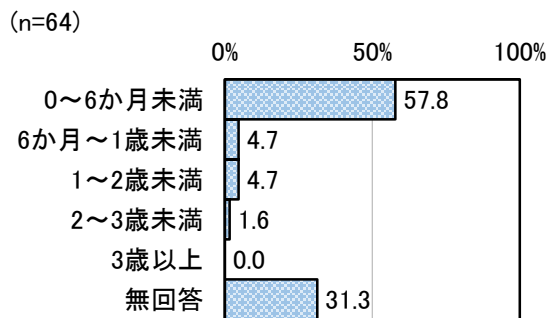
【母親の実際の復帰時期】



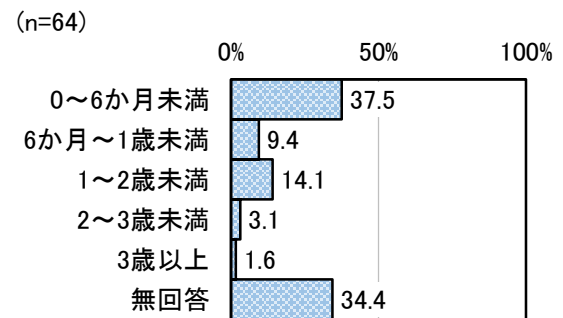
【母親の希望の復帰時期】



【父親の実際の復帰時期】



【父親の希望の復帰時期】



## (7) 3歳まで休暇を取得できる場合の職場に復帰する時期

【問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ】

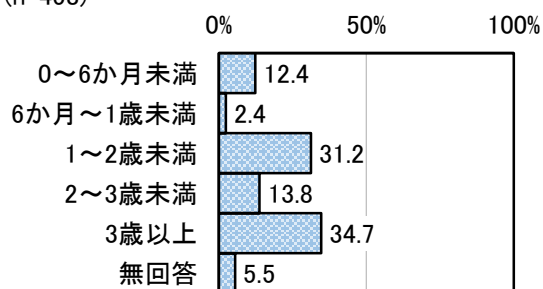
問28-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さまが何歳何か月のときまで取りたかったですか。(父母それぞれ数字を記入)

3歳まで休暇を取得できる場合、母親が希望する職場への復帰時期は、「3歳以上」が34.7%で最も多く、次いで「1～2歳未満」が31.2%、「2～3歳未満」が13.8%、「0～6か月未満」が12.4%となっています。

一方、父親が希望する職場への復帰時期は、「0～6か月未満」が23.4%で最も多く、次いで「1～2歳未満」が20.3%、「3歳以上」が9.4%、「2～3歳未満」が7.8%、「6か月～1歳未満」が6.3%となっています。

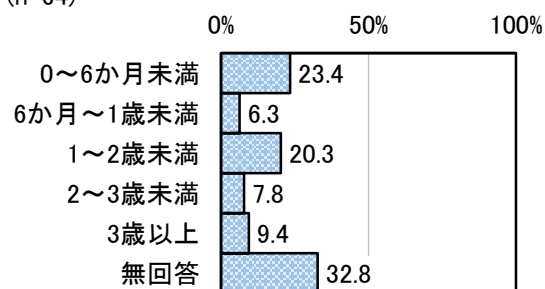
## 【母親の希望の復帰時期】

(n=458)



## 【父親の希望の復帰時期】

(n=64)



(8) 育児休業取得後、希望より早く復帰した理由

【問28-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ】

問28-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

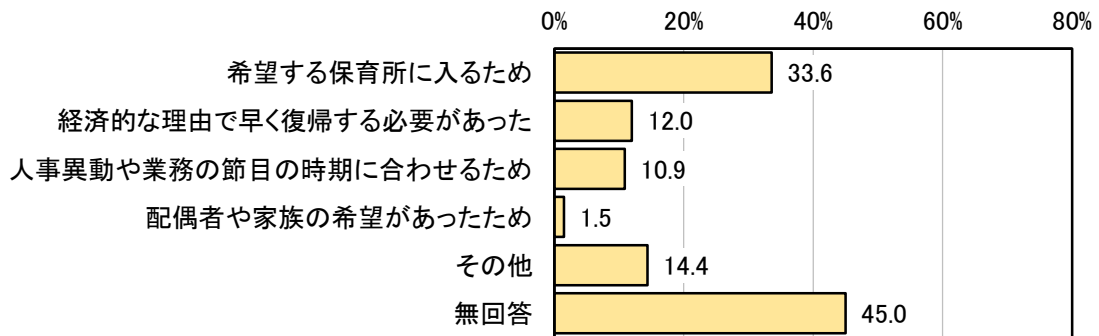
①希望より早く復帰した方(父母それぞれあてはまるものすべてに○)

母親が希望より早く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が 33.6%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が 12.0%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 10.9%となっています。

一方、父親が希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が 15.6%で最も多く、次いで「希望する保育所に入るため」が 7.8%となっています。

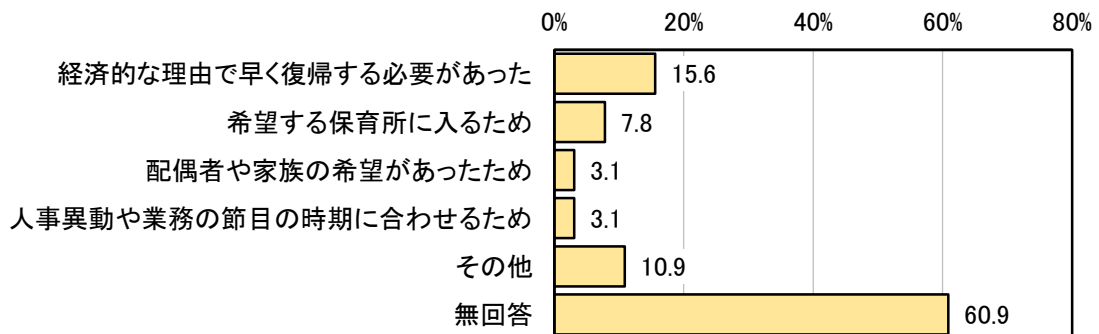
【母親が育児休業取得後、希望より早く復帰した理由】

(n=458)



【父親が育児休業取得後、希望より早く復帰した理由】

(n=64)





## (9) 育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由

【問28-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ】

問28-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

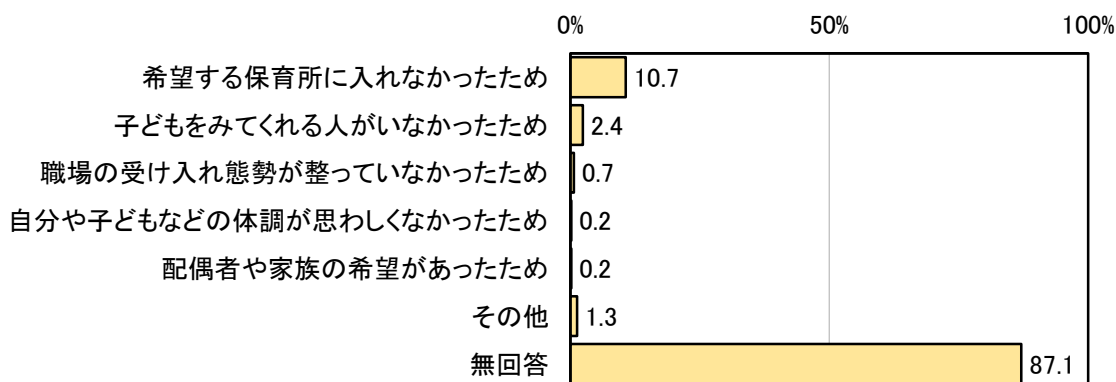
②希望より遅く復帰した方(父母それぞれあてはまるものすべてに○)

母親が希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が10.7%、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が2.4%となっています。

一方、父親が希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入れなかったため」、「子どもをみてくれる人がいなかったため」がともに1.6%となっています。

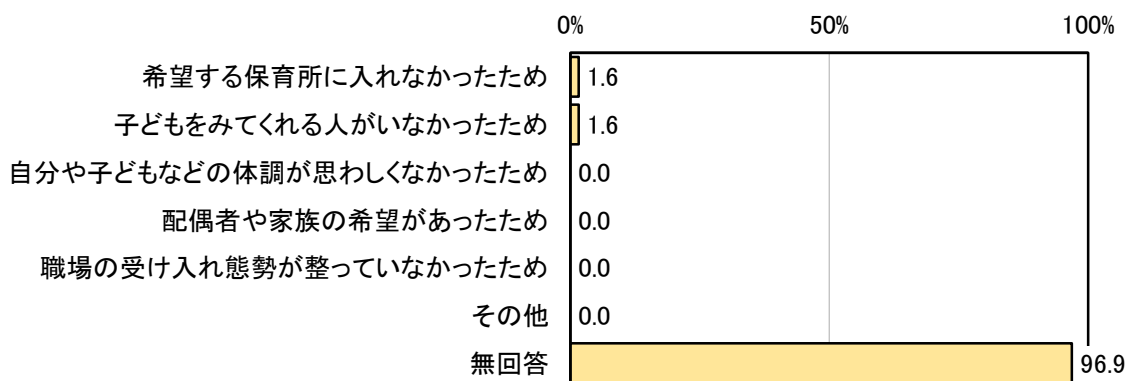
【母親が育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由】

(n=458)



【父親が育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由】

(n=64)



(10) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用

【問28-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ】

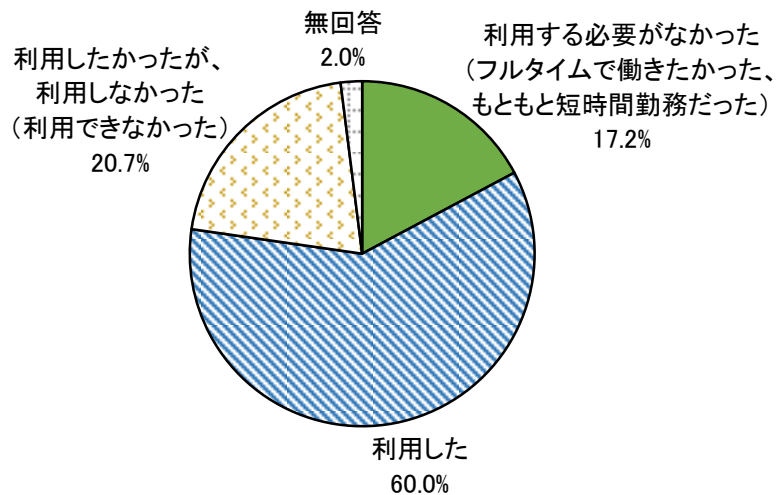
問28-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(父母それぞれ1つに○)

母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用は、「利用した」が60.0%で最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が20.7%、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が17.2%となっています。

一方、父親の職場復帰時の短時間勤務制度を利用は、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が60.9%で最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が20.3%となっています。

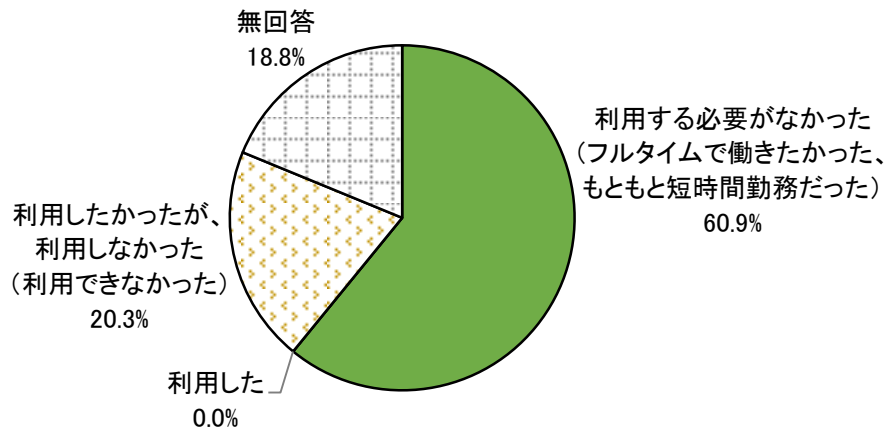
【母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用】

(n=458)



【父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用】

(n=64)



## (11) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

【問28-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方のみ】

問28-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由をお答えください。

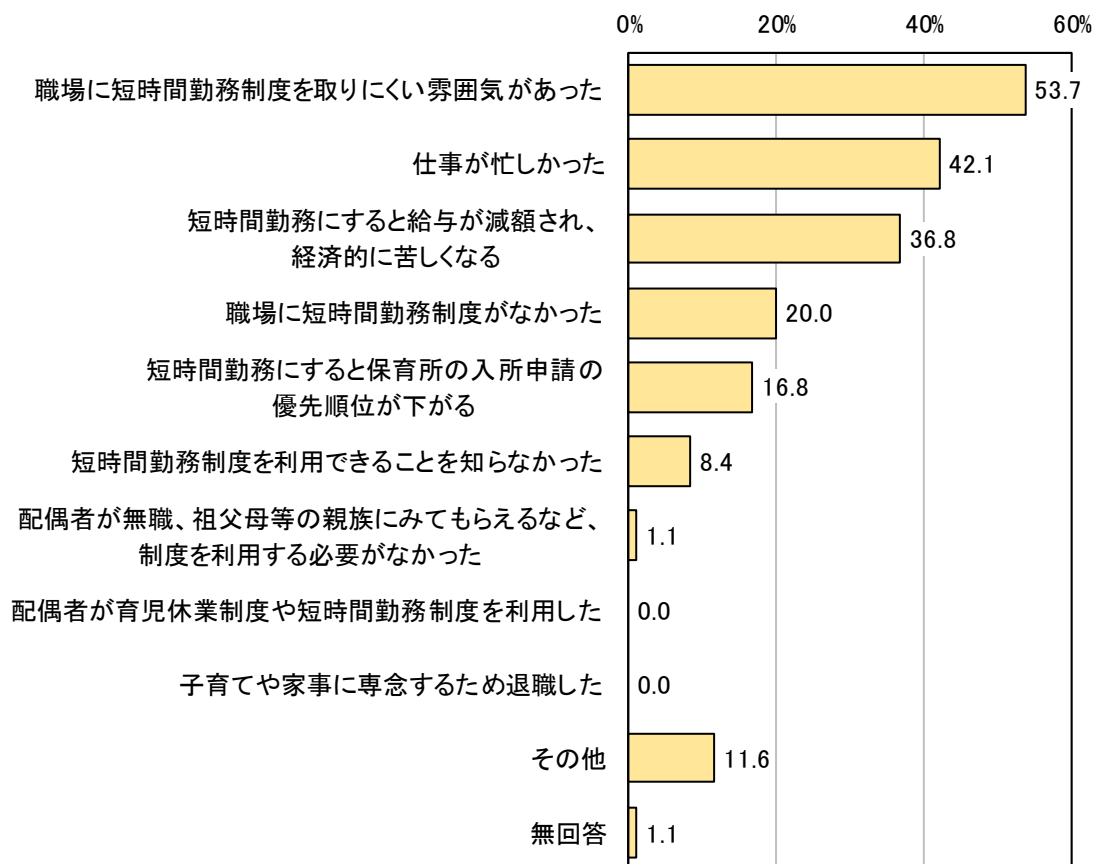
(父母それぞれあてはまるものすべてに○)

母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が53.7%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が42.1%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が36.8%、「職場に短時間勤務制度がなかった」が20.0%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が16.8%となっています。

一方、父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が53.8%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が46.2%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が30.8%、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」、「職場に短時間勤務制度がなかった」、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」がいずれも7.7%となっています。

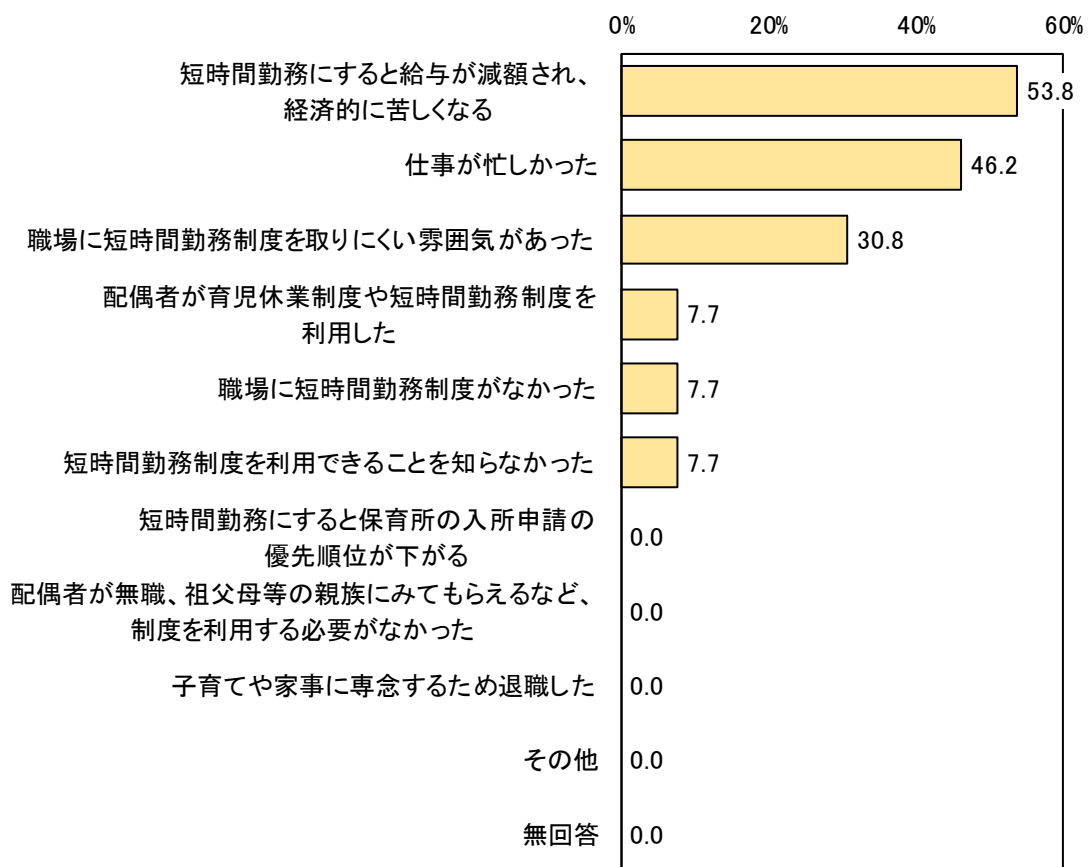
## 【母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由】

(n=95)



【父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由】

(n=13)



(12) 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の意向

【問28-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方のみ】

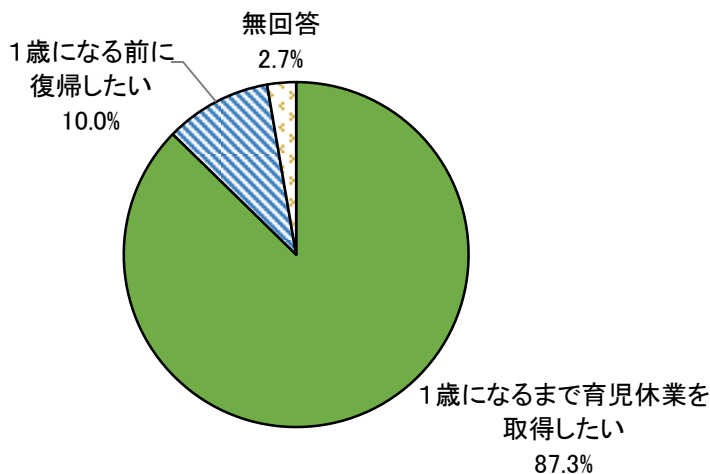
問28-9 宛名のお子さまが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。  
(父母それぞれ1つに○)

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の母親の意向は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が87.3%、「1歳になる前に復帰したい」が10.0%となっています。

一方、父親の意向は、「1歳になる前に復帰したい」が66.7%、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が33.3%となっています。

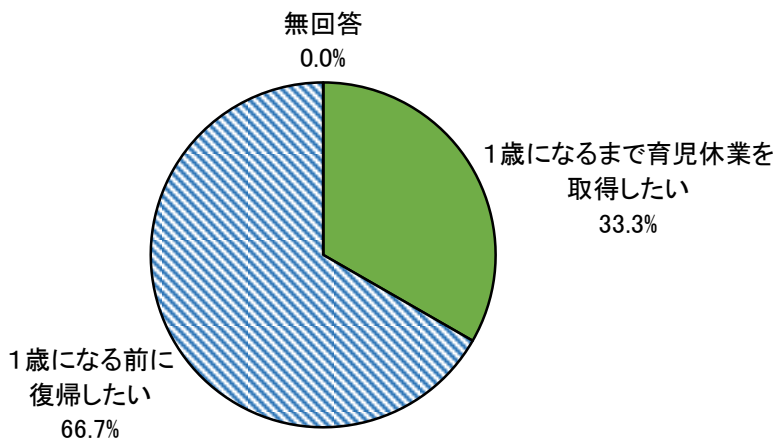
【子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の母親の意向】

(n=221)



【子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の父親の意向】

(n=3)



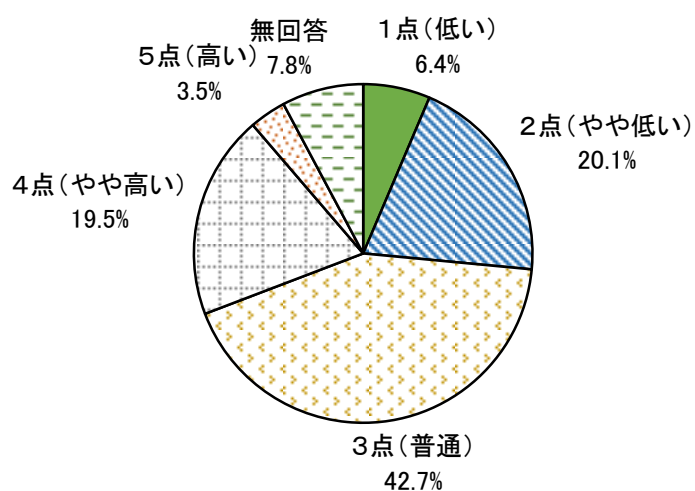
## 11 子育て支援施策全般について

### (1) 子育ての環境や支援への満足度

問29 久喜市における子育ての環境や支援への満足度について総合的に判断してください。(1つに○)

子育ての環境や支援への満足度は、「3点(普通)」が42.7%で最も多く、次いで「2点(やや低い)」が20.1%、「4点(やや高い)」が19.5%、「1点(低い)」が6.4%、「5点(高い)」が3.5%となっています。

(n=1,900)

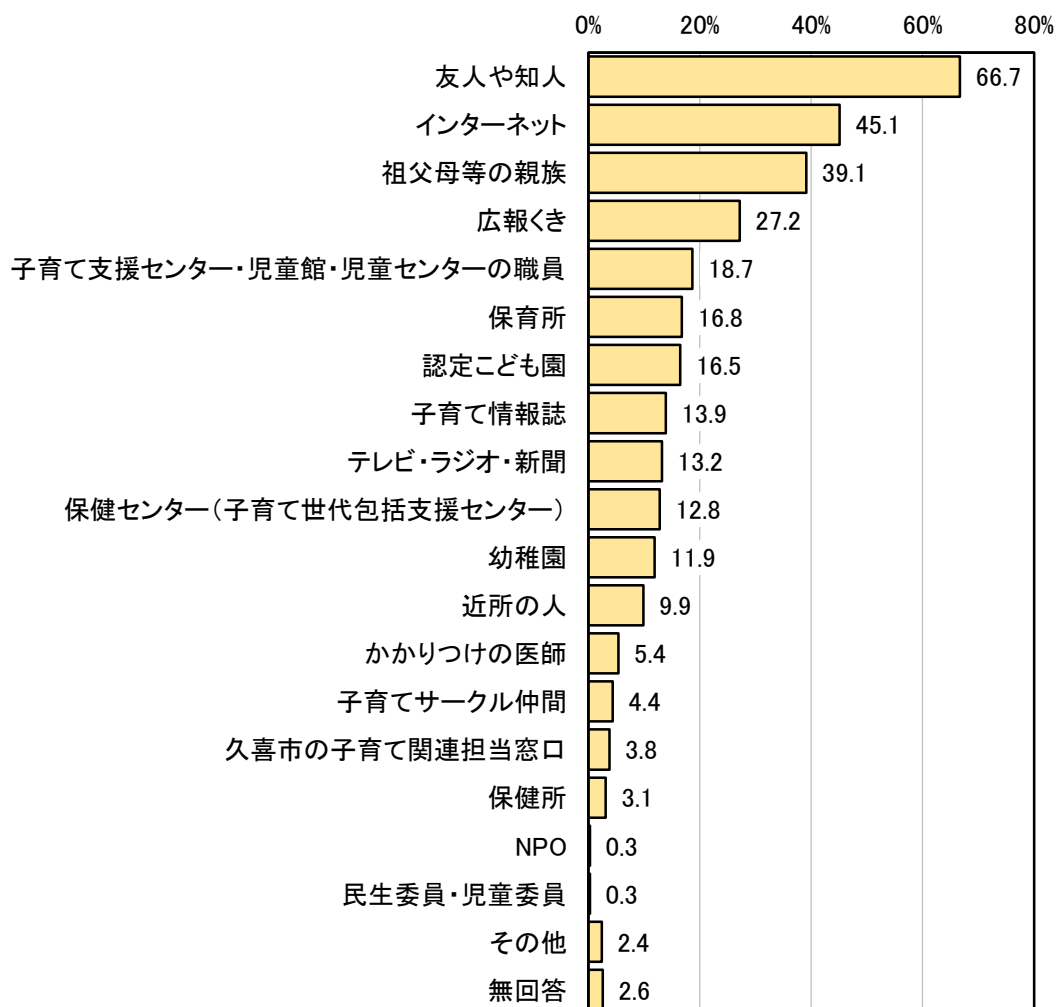


## (2) 子育てに関する情報の入手先

問30 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。(あてはまるもの3つまでに○)

子育てに関する情報の入手先は、「友人や知人」が66.7%で最も多く、次いで「インターネット」が45.1%、「祖父母等の親族」が39.1%、「広報くき」が27.2%、「子育て支援センター・児童館・児童センターの職員」が18.7%となっています。

(n=1,900)

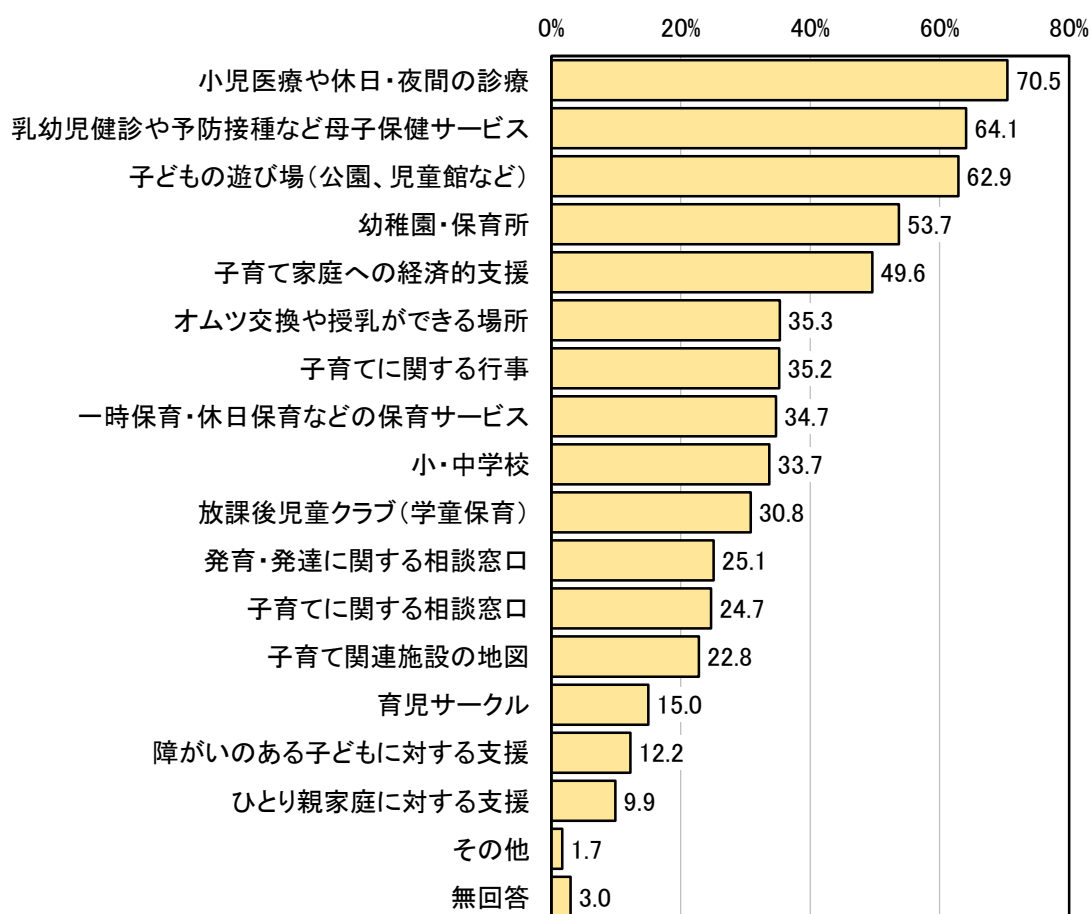


(3) 子育てに関する必要な情報

問31 子育てに関する情報について、どのような情報が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する必要な情報は、「小児医療や休日・夜間の診療」が70.5%で最も多く、次いで「乳幼児健診や予防接種など母子保健サービス」が64.1%、「子どもの遊び場(公園、児童館など)」が62.9%、「幼稚園・保育所」が53.7%、「子育て家庭への経済的支援」が49.6%となっています。

(n=1,900)





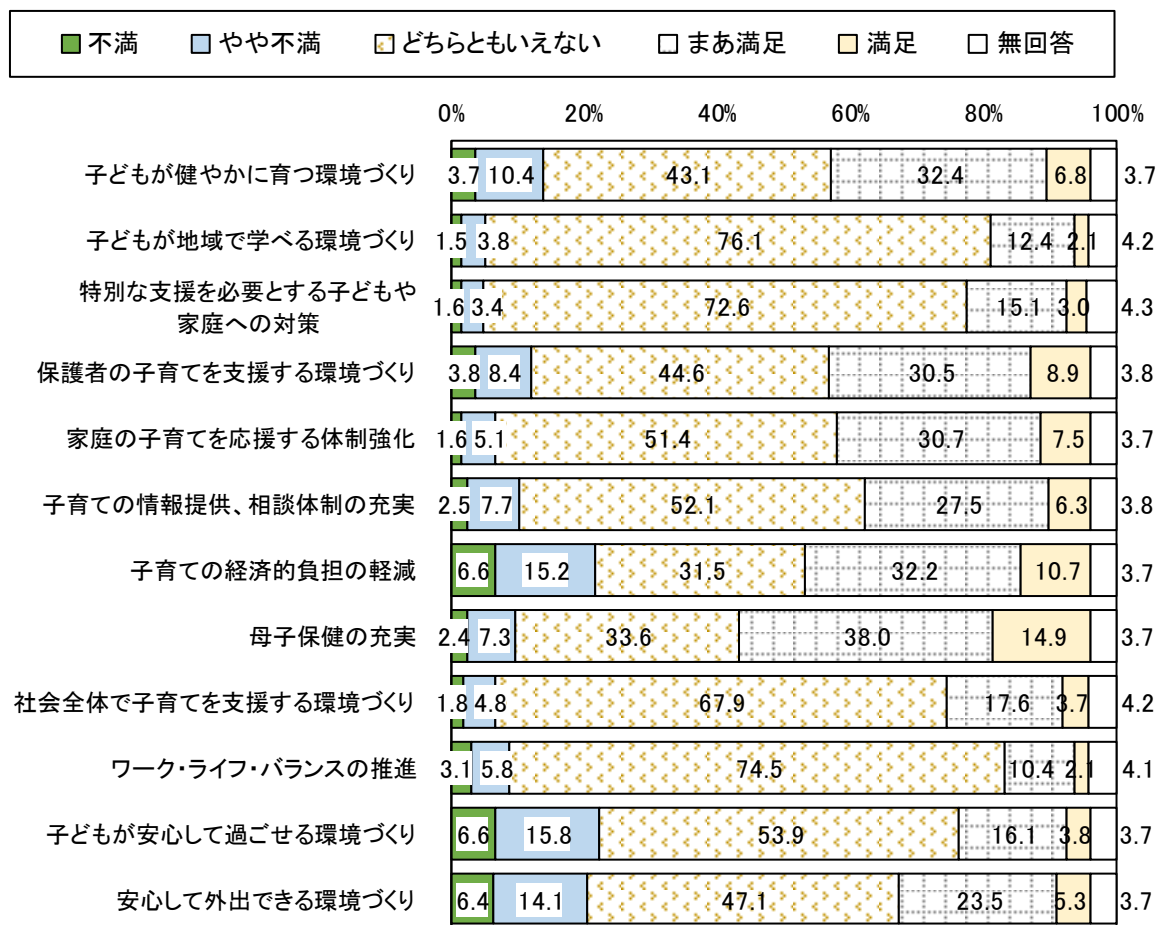
(4) 久喜市の子育て支援の取組に対する満足度

問32 久喜市の子育て支援の取組についてどのように思いますか。  
現在の満足度と今後の重要度をそれぞれお答えください。(それぞれ1つに○)

久喜市の子育て支援の取組についての満足度は、大別して、『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）が多い順に、「子育ての経済的負担の軽減」（21.8%）、「子どもが安心して過ごせる環境づくり」（22.4%）、「安心して外出できる環境づくり」（20.5%）、「子どもが健やかに育つ環境づくり」（14.1%）、「保護者の子育てを支援する環境づくり」（12.2%）となっています。

一方、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）が多い順では、「母子保健の充実」（52.9%）、「子育ての経済的負担の軽減」（42.9%）、「保護者の子育てを支援する環境づくり」（39.4%）、「子どもが健やかに育つ環境づくり」（39.2%）、「家庭の子育てを応援する体制強化」（38.2%）となっています。

(n=1,900)



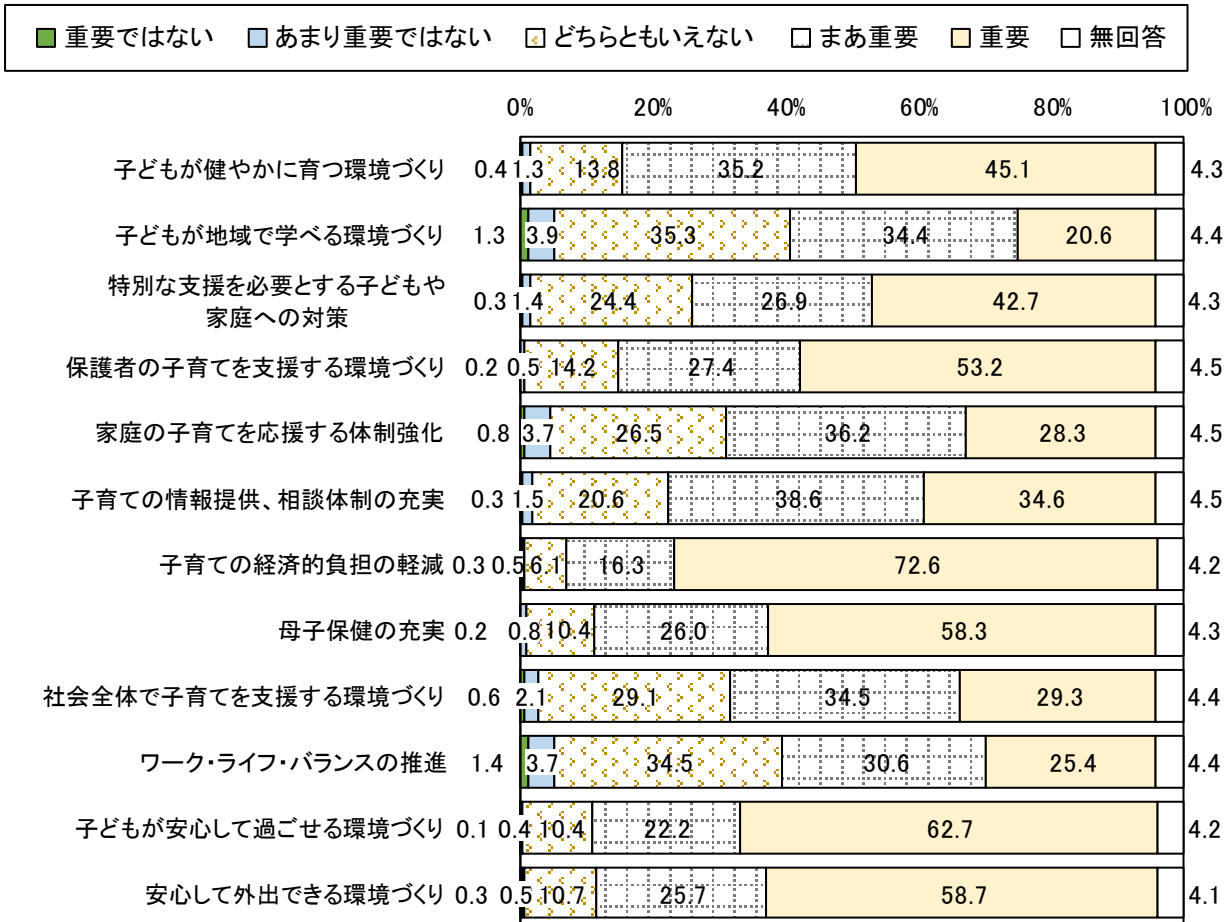
(5) 久喜市の子育て支援の取組に対する今後の重要度

問32 久喜市の子育て支援の取組についてどのように思いますか。  
現在の満足度と今後の重要度をそれぞれお答えください。(それぞれ1つに○)

久喜市の子育て支援の取組に対する今後の重要度は、大別して、『重要ではない』（「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計）が多い順に、「子どもが地域で学べる環境づくり」(5.2%)、「ワーク・ライフ・バランスの推進」(5.1%)、「家庭の子育てを応援する体制強化」(4.5%)、「社会全体で子育てを支援する環境づくり」(2.7%)、「子育ての情報提供、相談体制の充実」(1.8%)となっています。

一方、『重要である』（「重要」と「まあ重要」の合計）が多い順では、「子育ての経済的負担の軽減」(88.9%)、「子どもが安心して過ごせる環境づくり」(84.9%)、「安心して外出できる環境づくり」(84.4%)、「母子保健の充実」(84.3%)、「保護者の子育てを支援する環境づくり」(80.6%)となっています。

(n=1,900)

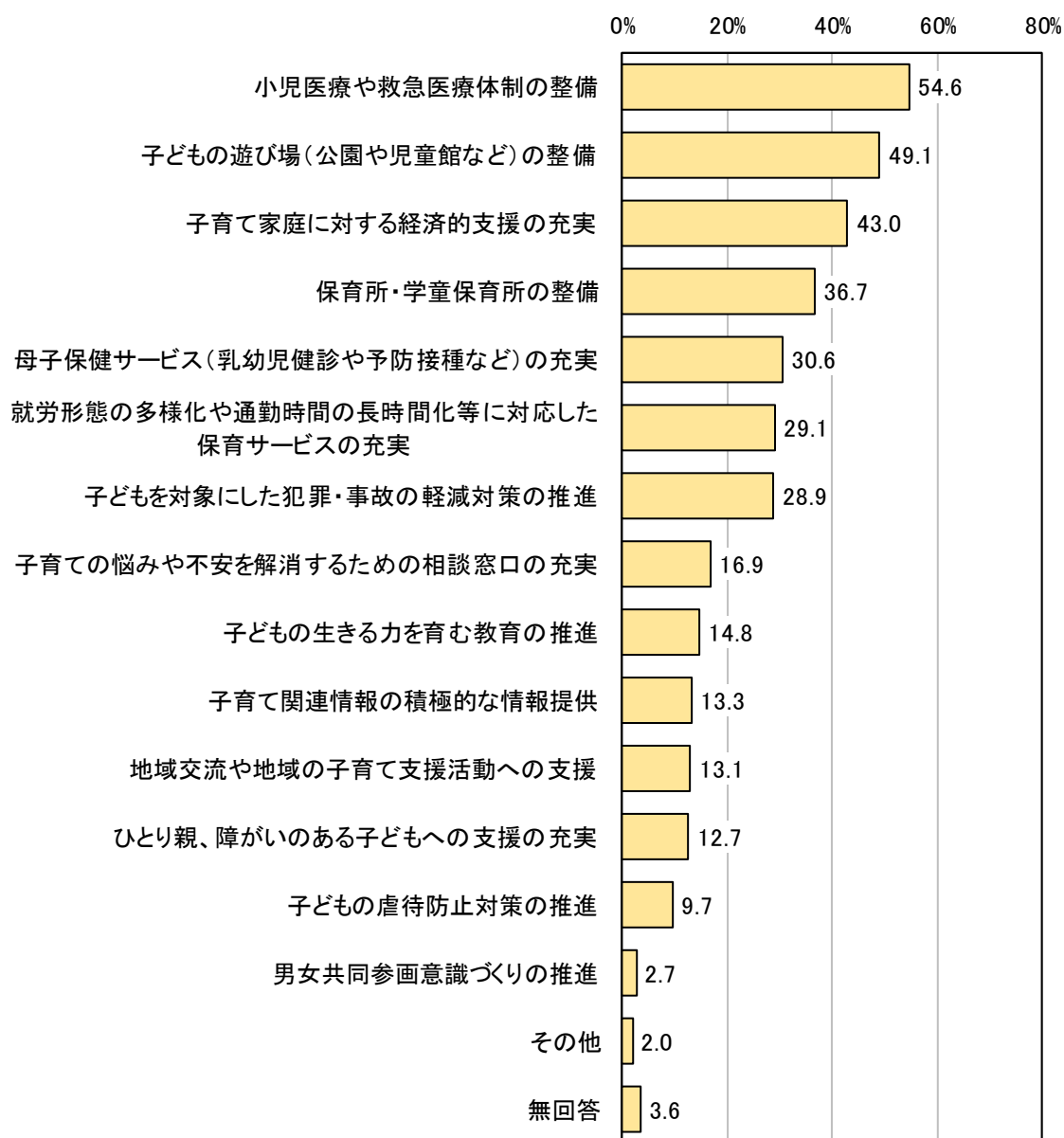


## (6) 今後充実していくべきと思うもの

問33 今後、久喜市の子育て環境を良くしていくために、ぜひ充実していくべきだと思うものはありますか。  
(あてはまるもの3つまでに○)

今後、子育て環境を良くするために充実していくべきものは、「小児医療や救急医療体制の整備」が54.6%で最も多く、次いで「子どもの遊び場（公園や児童館など）の整備」が49.1%、「子育て家庭に対する経済的支援の充実」が43.0%、「保育所・学童保育所の整備」が36.7%、「母子保健サービス（乳幼児健診や予防接種など）の充実」が30.6%となっています。

(n=1,900)

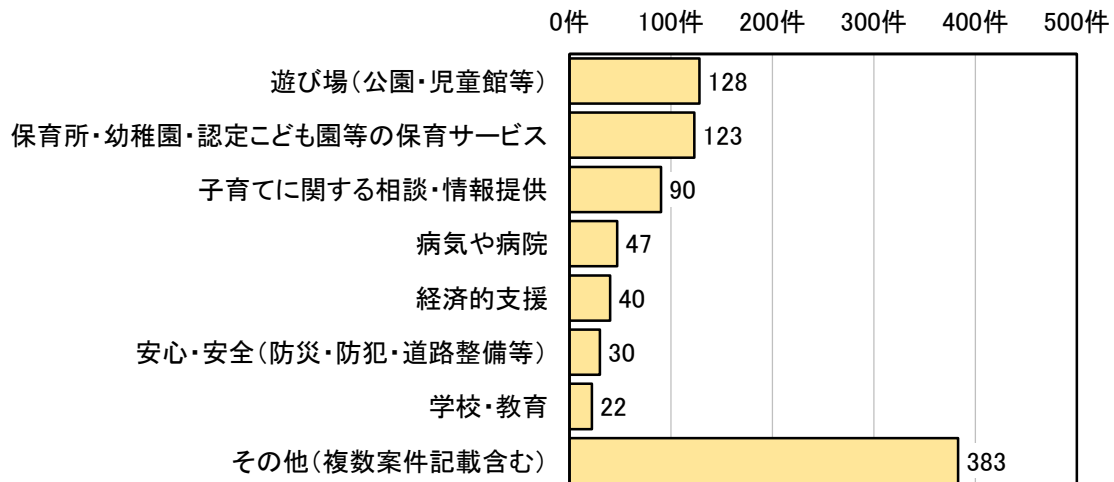


(7) 自由記述

問34 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見を、ご自由にご記入ください。

自由記述として、863件の記述がありました。最も件数の多かった記述は「遊び場」で128件、次いで「保育サービス」が123件、「相談・情報提供」が90件などとなっています。

(n=863)



■主な記述内容

記述区分
<p><b>遊び場（公園・児童館等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地に住んでいますが、公園がほとんどなく、遊び場が少ない。公園は毎日でも行きたいくらい日常的に利用するものなので、整備して頂けるととてもありがたい。</li> <li>・園庭開放等はとても充実していて行きやすいが、雨の日や寒い日など外に出られない時に、自由に利用出来る室内の施設（広い空間に大型遊具や体を動かせる）を作っただけだったら嬉しい。</li> <li>・鷺宮地区は子育て支援センターが多く、楽しいイベントなど行っているのとてもありがたいです。土日、祝日も開放してくれるところが近くにあればうれしいです。</li> <li>・遊具が充実した公園を作ってもらいたいです。</li> <li>・久喜市の子育て支援の取組は、良いと思う反面、児童館や支援センター、図書館を充実してほしい。</li> <li>・安心して遊べる場所が少ないように思う。</li> </ul>
<p><b>保育サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童問題を解決し、子育てしやすいまちにしてほしい。</li> <li>・現在、保育所を本当に必要として利用している人と、子育てが苦手で保育所を利用している人がいる。兄弟で保育所が別ということも多くあり、通っている側、保育を実際に行っている側、両面からの意見を多く取り入れてもらえるとうれしい。</li> </ul>

記述区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の環境を個々の園に任せるのではなく、統一してほしい。空調の管理を統一し、夏はエアコンを必ずつけるなどしてほしい。</li> <li>・ 土曜日等の保育サービス（長時間）の充実を希望。平日の延長保育をもう少し長く（20時や21時まで）対応して頂きたいです。</li> <li>・ 都内まで電車通勤をしており、久喜駅周辺の保育所でないと感じる状況です。久喜駅郊外でも素晴らしい保育所があるようなので、他の自治体が行っている送迎保育ステーション等をご検討いただけないでしょうか。</li> </ul>
<p>相談・情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園や保育園などの情報を充実してほしい。</li> <li>・ 支援センターや保健センターの行事などはチラシや広報よりもインターネットやSNSなどで気軽にいつでも見られるように周知して欲しい。</li> <li>・ どんな制度やサービスがあるのかあまり知られていないように思う。情報を発信しているとは思いますが、それが必要としている家庭へ届いているか確認することも大切なのでは。</li> <li>・ 子育て支援センターの存在はとてありがたく、特にすまいるでのママ友サークル推進は非常に良い取組だと思います。</li> <li>・ 子育て支援などの情報を集約したサイトがあるとよいと考えます。（別窓で開いて、子育て情報や赤ちゃんの駅のある場所MAPが見られたりするとよい）</li> <li>・ 子育ての相談窓口を設置していただくことも大切だと思いますが、安心して相談できる専門性の高い方が窓口にいると安心して話せます。</li> </ul>
<p>病気や病院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休日や夜間などに診てくれる病院を増やしてほしい。</li> <li>・ 病児保育を行っている場所がもっと増えると助かります。</li> <li>・ 小児医療の整備が不十分だと感じています。小児医療の整備の充実を強く願っています。</li> <li>・ 子どもをみてる病院がほとんどない。困った時にすぐに頼れる所がないのはとても不安。</li> </ul>
<p>経済的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的に余裕がないので、児童手当や子どもの医療費が無料なのはとても助かります。これからも全ての子どもが最低限の生活ができ、健康に過ごせるようご支援よろしく願いいたします。</li> <li>・ 子どものインフルエンザの予防接種の助成を望みます。乳児～小学生は2回接種で子どもが多いほど、負担も大きいです。</li> <li>・ いつも子ども達のことをよく見て頂いている素敵な保育園や学童があることをとても感謝しています。</li> <li>・ 最近、子どもをもつ人が減ってきているので、2人目からも出産祝い金などがあると、子どもを持つと考える人が増えると思う。</li> </ul>
<p>安心・安全（防災・防犯・道路整備等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜間道が暗いのがとても心配です。せめて通学路にあたる道には街灯の設置を希望します。</li> <li>・ 小中学生の通学時間帯の交通整備が必要。通学時間は通行止めにするとか、一方通行にするとかなど、住宅街は早急に対策するべきです。</li> </ul>

記述区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと一緒に安心して歩ける道の整備をお願いします。狭い道、歩道のない道、側溝のふたのない道が多く、散歩しづらいです。</li> <li>・学校まで遠いため通学時の犯罪が怖い。防犯パトロールの方が、一番遠い家の子の所まで送ってもらえば安心なのですが。特に下校時の防犯を考えてもらいたい。</li> <li>・受動喫煙をなくしてほしい。施設などでも分煙が進んでいる様に思えても、全員が通る出入り口付近に喫煙所があったら意味がない。</li> <li>・小学生がヘルメットを着用せずに自転車に乗っているのが心配。交通量の多い道路もあり心配になる。学校や地域で自転車走行時のヘルメット着用を推進する必要があると思う。</li> </ul>
<p>学校・教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の規模の格差が大きく、学校教育の環境格差が心配です。できることなら規模がある程度揃えられるといいです。学区をもう一度見直し、学校の規模に差がなくなることを願っています。</li> <li>・小学校、中学校の学区の見直しや自由に学校を選べるようにする。犯罪や事故防止のためにも、スクールバスを導入してほしい。</li> <li>・母親も働いている人が多い中、小学校のPTAの行事とやるが多すぎると思います。学校と親の関わり方も時代に併せて改善して貰えると子育てしやすいのかと思います。</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんの駅がもっとほしい。出かけても授乳する所が少なくて困る。</li> <li>・父親が育児参加できるよう、経済的支援や職場の環境づくりを、市が積極的に関わりを持って欲しい。</li> <li>・子育て中でも安心して仕事ができれば経済的にも余裕ができ、子育てとの両立ができると思います。もう少し、仕事に就きやすくするための環境が整っていれば良いと思います。</li> <li>・久喜の方々は本当に優しい方が多く、子どもを見ると話しかけてくれるお年寄りの方が沢山いらっしゃいます。そういう中で子どもは優しい心を育み成長していくと思います。地域の方ともっと触れ合いたいと思います。交流の場を作ってくださいよう、お願いします。</li> <li>・障害児の支援を充実させていただきたいです。</li> <li>・アンケート項目が多すぎる。(いい加減になってしまい意味がなくなってしまうのでは)</li> </ul>

## 第4章 小学生保護者





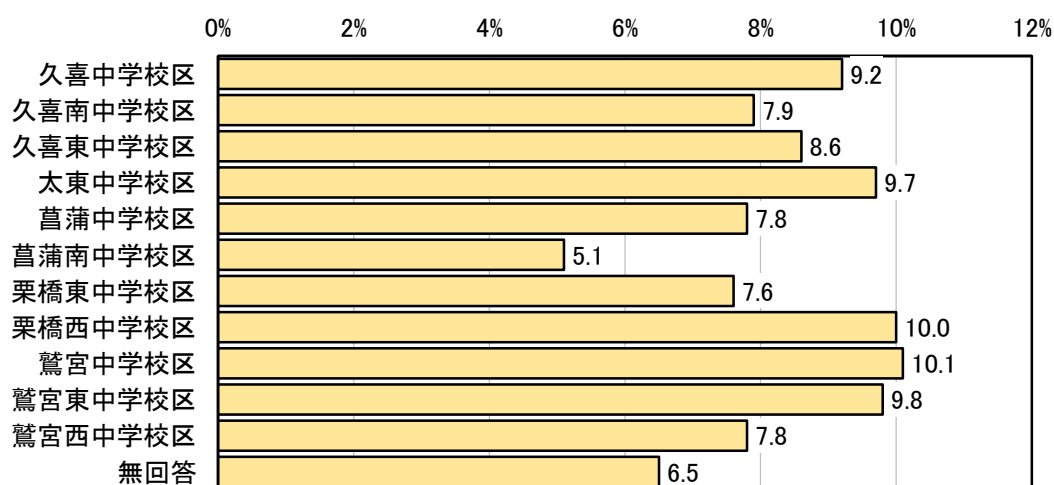
## 1 お子様とご家族のことについて

### (1) 居住地域

問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。(1つに○)

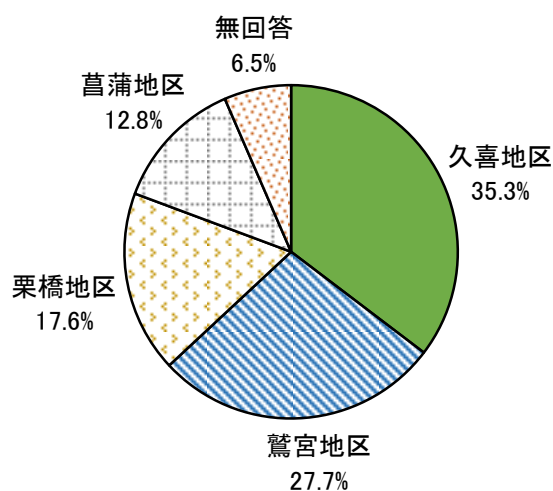
居住地域は、「鷺宮中学校区」が10.1%で最も多く、次いで「栗橋西中学校区」が10.0%、「鷺宮東中学校区」が9.8%、「太東中学校区」が9.7%、「久喜中学校区」が9.2%となっています。

(n=631)



居住地域を4区域で大別すると、「久喜地区」が35.3%で最も多く、次いで「鷺宮地区」が27.7%、「栗橋地区」が17.6%、「菖蒲地区」が12.8%となっています。

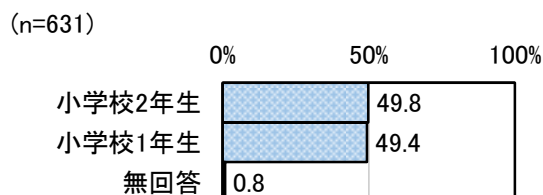
(n=631)



(2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。(数字を記入)

子どもの年齢は、「小学校2年生」が49.8%、「小学校1年生」が49.4%となっています。

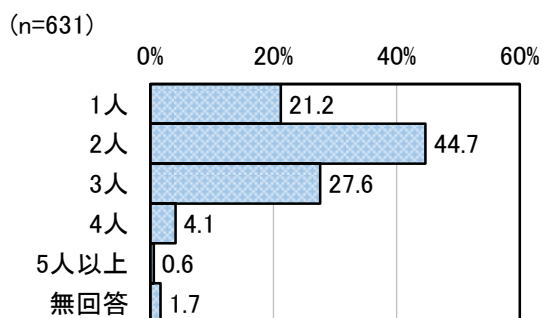


(3) 子どもの人数

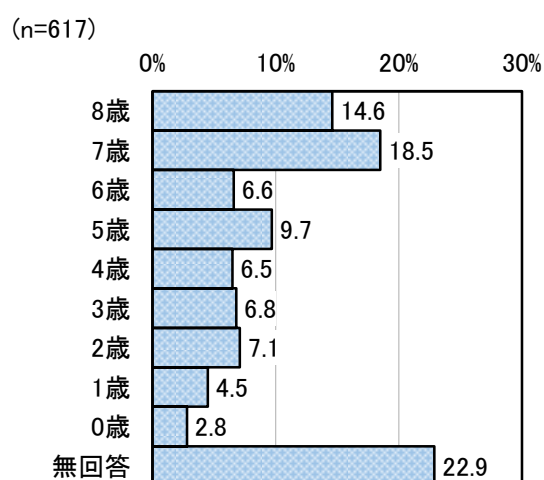
問3 宛名のお子さまのきょうだいは(宛名のお子さまを含め)何人いらっしゃいますか。  
2人以上のお子さまがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。(数字を記入)

子どもの人数は、「2人」が44.7%で最も多く、次いで「3人」が27.6%、「1人」が21.2%となっています。また、末子の年齢は、「7歳」が18.5%で最も多く、次いで「8歳」が14.6%、「5歳」が9.7%となっています。

【きょうだいの数】



【末子の年齢】

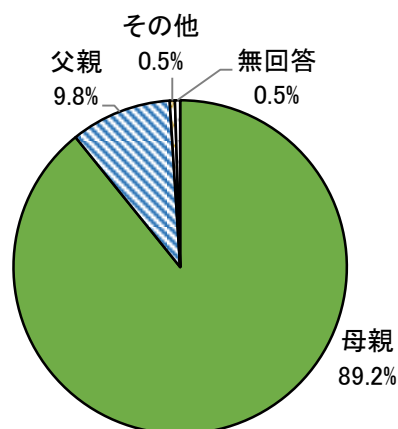


## (4) 調査票回答者

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さまからみた関係でお答えください。  
(1つに○)

調査票回答者は、「母親」が89.2%、「父親」が9.8%となっています。

(n=631)

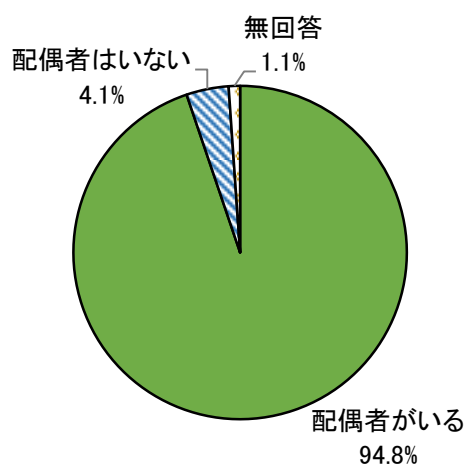


## (5) 調査票回答者の配偶関係

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

調査票回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が94.8%、「配偶者はいない」が4.1%となっています。

(n=631)

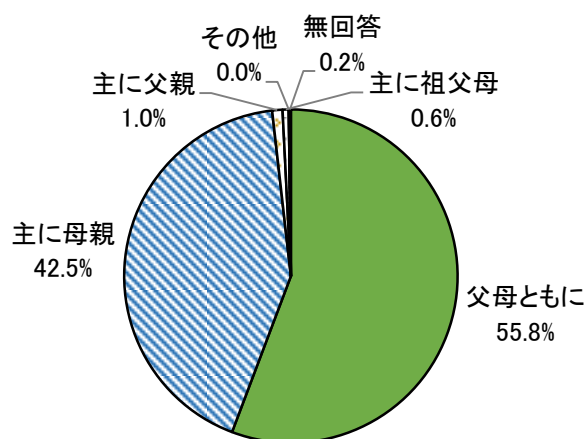


(6) 主に子育てをしている人

問6 宛名のお子さまの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。  
お子さまからみた関係でお答えください。(1つに○)

主に子育てをしている人は、「父母ともに」が55.8%で最も多く、次いで「主に母親」が42.5%となっています。

(n=631)



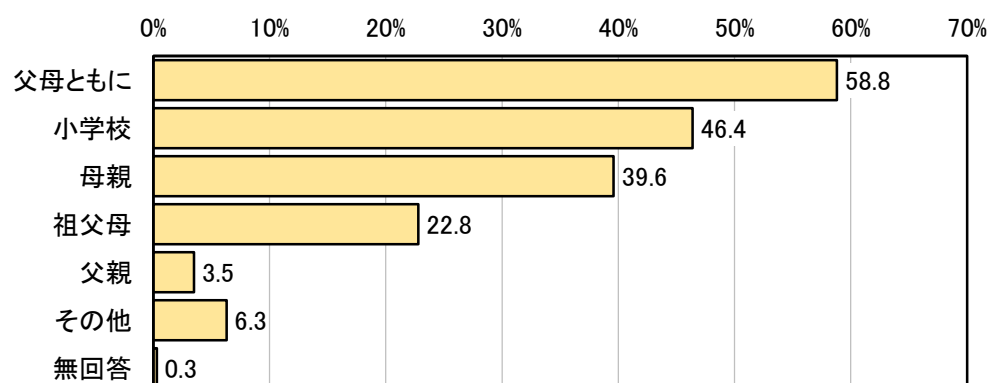
## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

問7 宛名のお子さまの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設を含む)ですか。お子さまからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が58.8%で最も多く、次いで「小学校」が46.4%、「母親」が39.6%、「祖父母」が22.8%となっています。

(n=631)



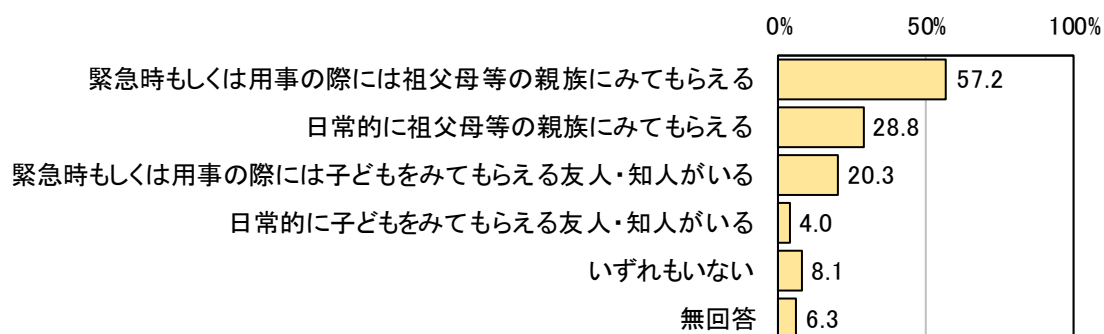
### (2) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無

問8 日頃、宛名のお子さまをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもをみてもらえる親族・友人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.2%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が28.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が20.3%となっています。

また、「いずれもない」は8.1%となっています。

(n=631)



(3) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

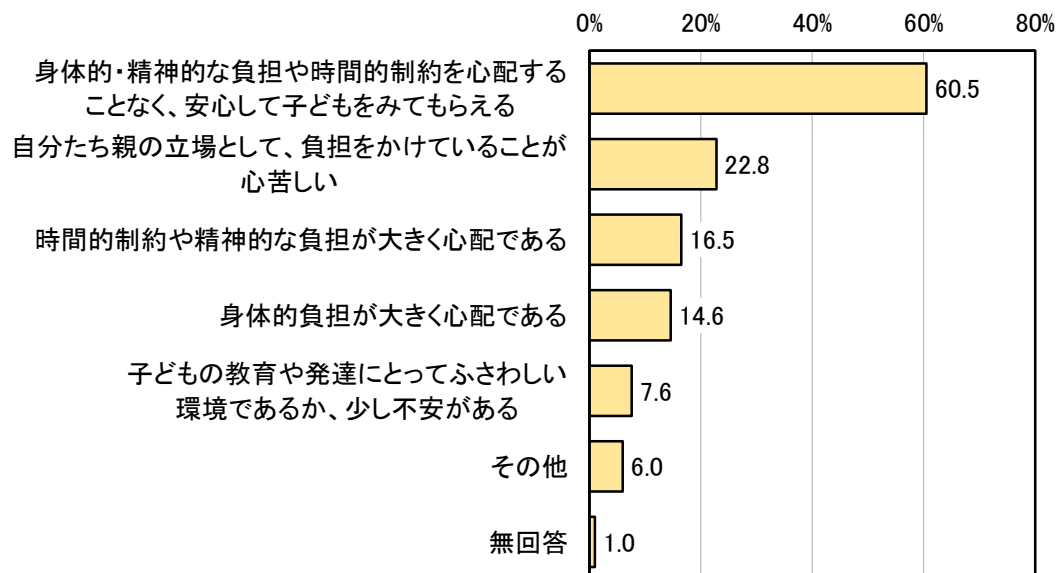
【問8で「1」、「2」(祖父母等の親族にみてもらえる)に○をつけた方のみ】

問8-1 祖父母等の親族にお子さまをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が60.5%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が22.8%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が16.5%、「身体的負担が大きく心配である」が14.6%となっています。

(n=514)



## (4) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

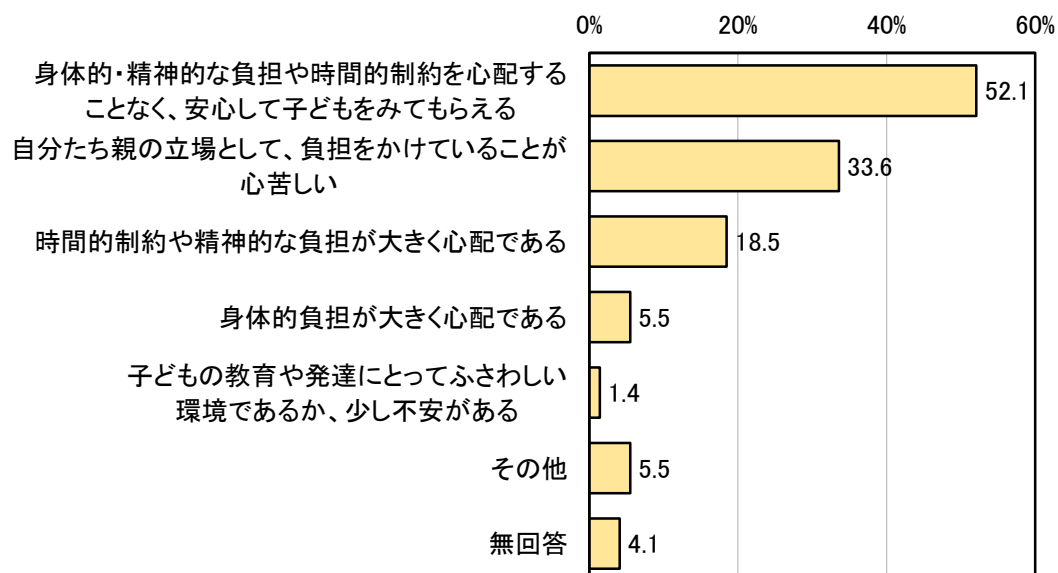
【問8で「3」、「4」(友人・知人がいる)に○をつけた方のみ】

問8-2 友人・知人にお子さまをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が52.1%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が33.6%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が18.5%となっています。

(n=146)

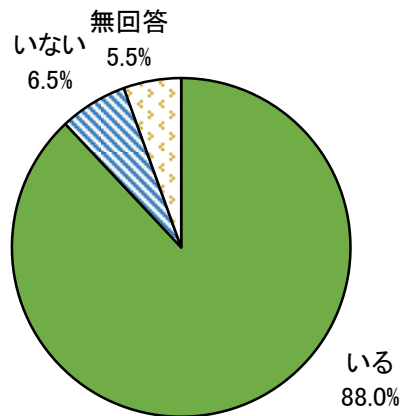


(5) 気軽に相談できる人・場所の有無

問9 宛名のお子さまの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。(1つに○)

気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる」が88.0%、「いない」が6.5%となっています。

(n=631)



(6) 気軽に相談できる人・場所

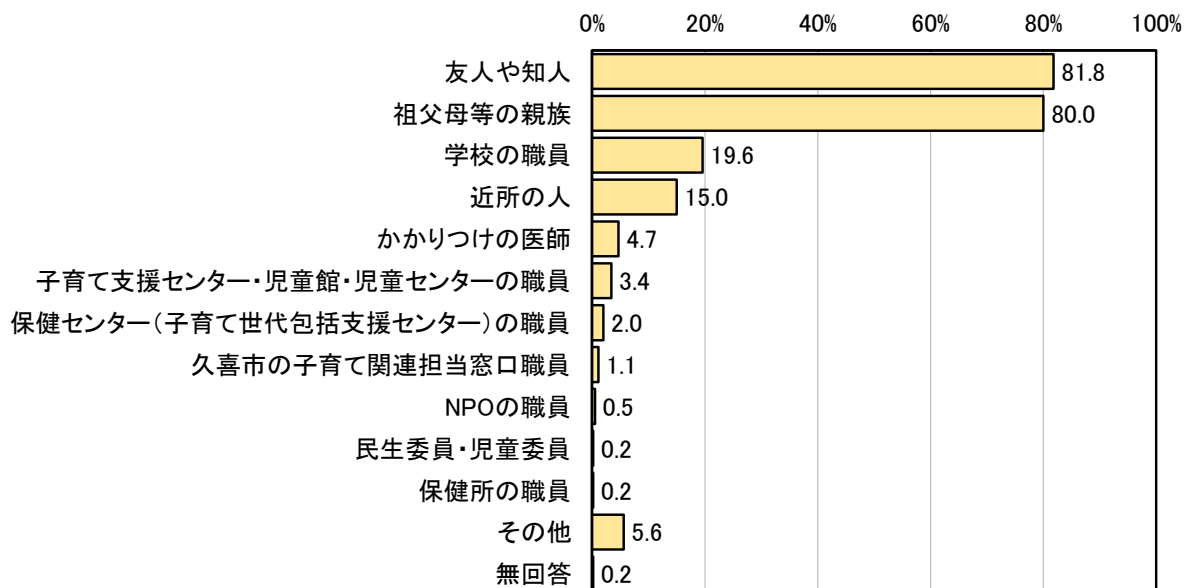
【問9で「1. いる」に○をつけた方のみ】

問9-1 お子さまの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる方は、誰ですか。

(あてはまるものすべてに○)

気軽に相談できる人・場所は、「友人や知人」が81.8%、「祖父母等の親族」が80.0%、「学校の職員」が19.6%、「近所の人」が15.0%、「かかりつけの医師」が4.7%となっています。

(n=555)



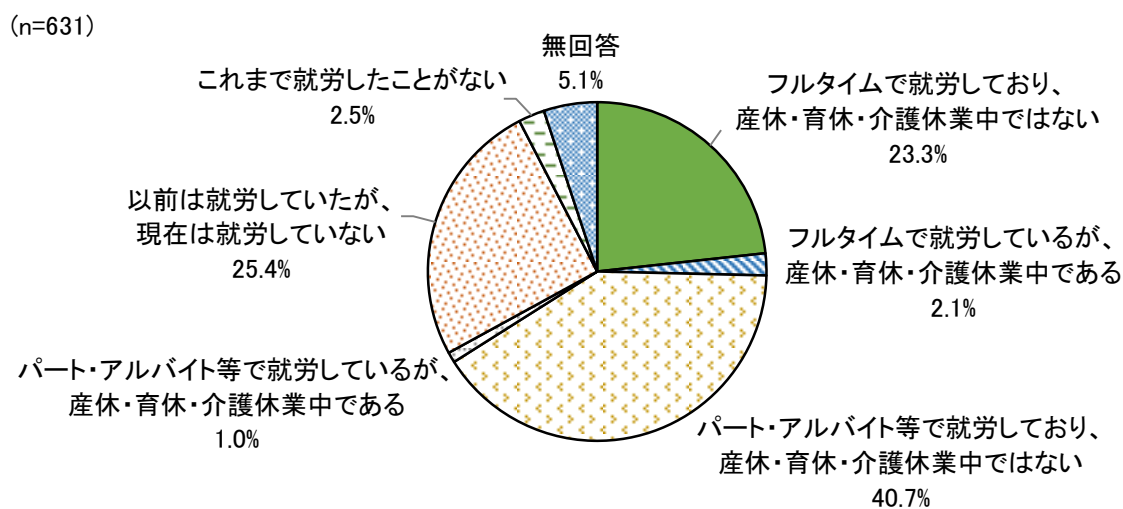


### 3 保護者の就労状況について

#### (1) 母親の就労状況

問10 宛名のお子さまの母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(1つに○)  
【父子家庭の場合は記入不要】

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が40.7%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が25.4%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.3%、「これまで就労したことがない」が2.5%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が2.1%となっています。



(2) 就労している母親の就労日数・就労時間

【問10で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ】

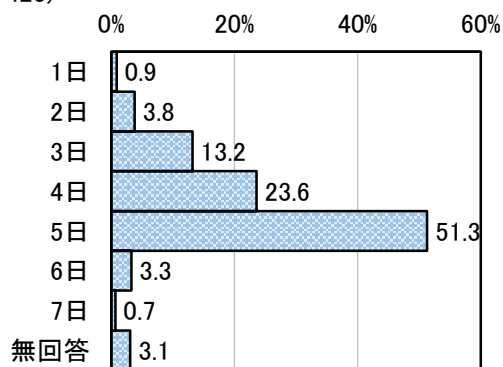
問10-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、時刻が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(数字を記入)

就労している母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が51.3%で最も多く、次いで「4日」が23.6%、「3日」が13.2%、「2日」が3.8%、「6日」が3.3%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が21.7%で最も多く、次いで「5時間」が21.0%、「5時間未満」が18.2%、「6時間」が13.7%、「7時間」が9.5%となっています。

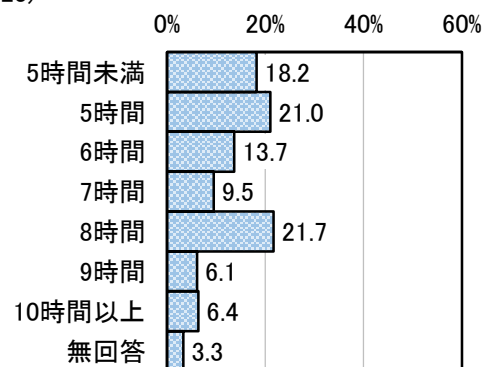
【1週あたりの就労日数】

(n=423)



【1日あたりの就労時間】

(n=423)



(3) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻

【問10で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ】

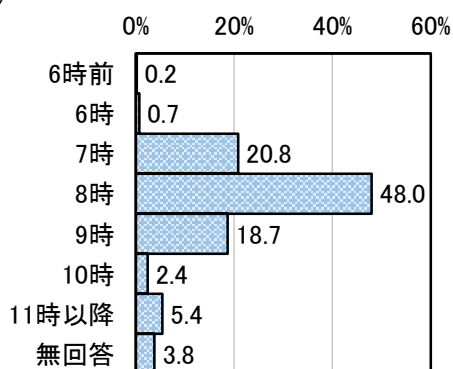
問10-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、時刻が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(数字を記入)

就労している母親の家を出る時刻は、「8時」が48.0%で最も多く、次いで「7時」が20.8%、「9時」が18.7%となっています。

また、帰宅時刻は、「15時前」が21.7%で最も多く、次いで「18時」が19.6%、「15時」が17.5%、「19時」が13.7%となっています。

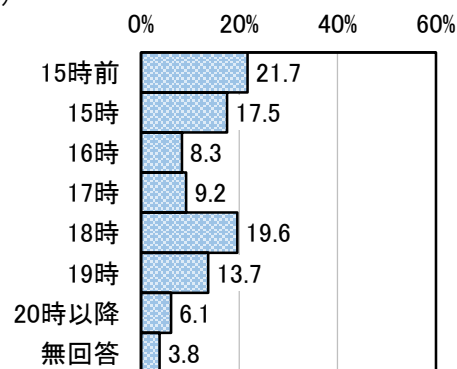
【家を出る時刻】

(n=423)



【帰宅時刻】

(n=423)



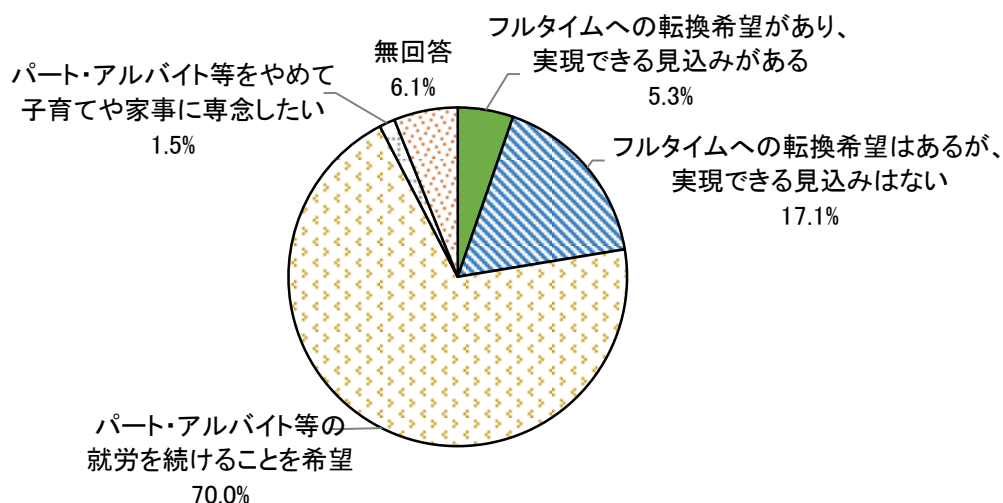
(4) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

【問10で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ】

問10-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が70.0%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が17.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.3%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が1.5%となっています。

(n=263)



(5) 就労していない母親の就労希望

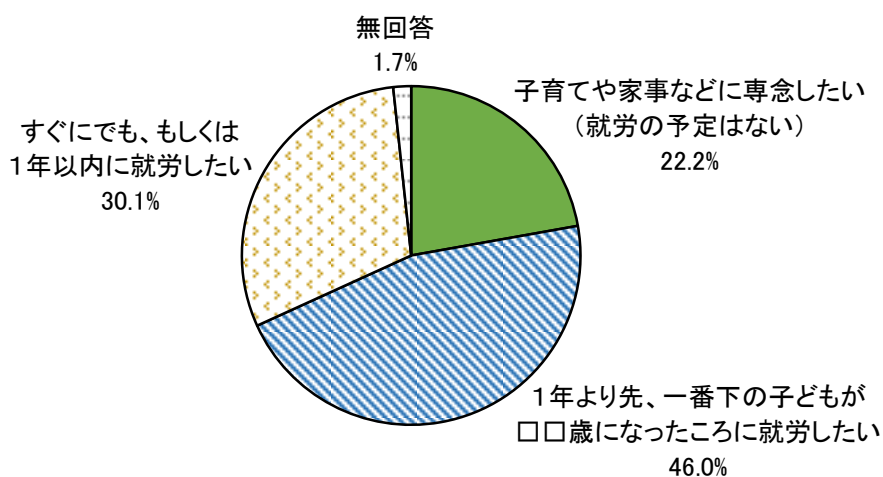
【問10で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ】

問10-3 就労したいという希望はありますか。(番号と記号それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が46.0%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が30.1%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が22.2%となっています。

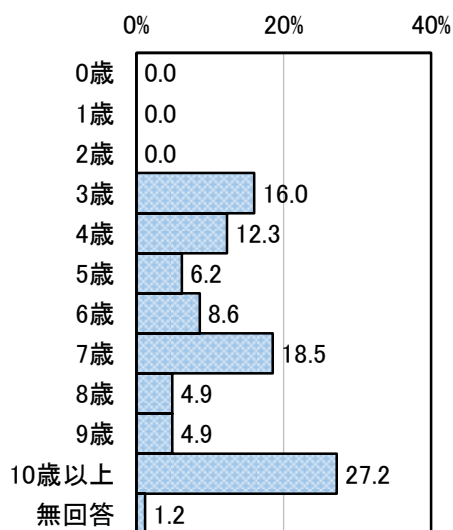
なお、母親の就労希望時の下の子どもの年齢は、「10歳以上」が27.2%で最も多く、次いで「7歳」が18.5%、「3歳」が16.0%、「4歳」が12.3%となっています。

(n=176)



【母親の就労希望時の下の子どもの年齢】

(n=81)



## 第4章 小学生保護者

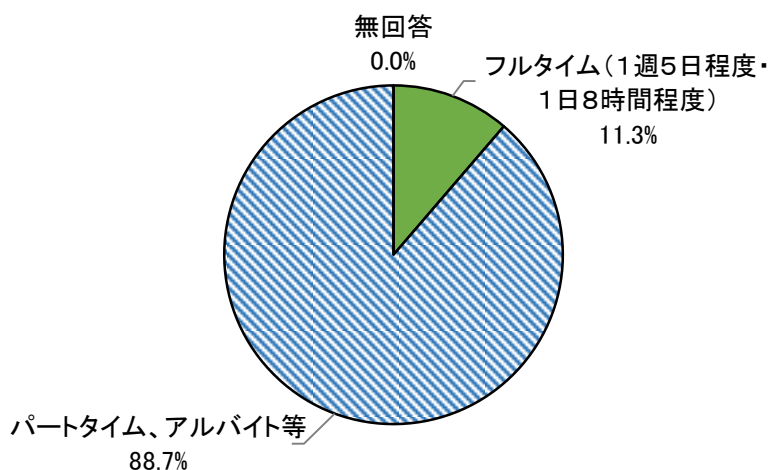
1年以内に就労したい母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が88.7%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」が11.3%となっています。

パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週当たりの就労日数は、「3日」が53.2%で最も多く、次いで「4日」が23.4%、「5日」が14.9%、「2日」が6.4%となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「4時間」が44.7%で最も多く、次いで「5時間」が34.0%となっています。

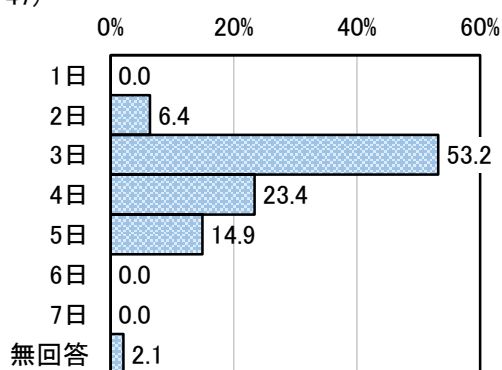
### 【希望する就労形態】

(n=53)



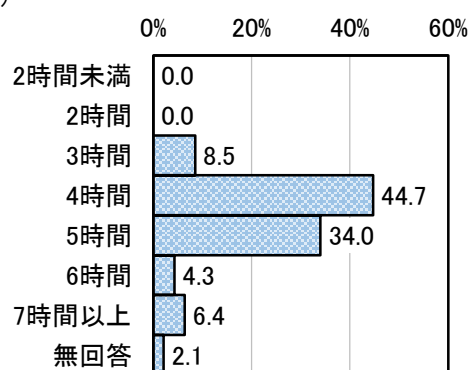
### 【希望する1週あたりの就労日数】

(n=47)



### 【希望する1日あたりの就労時間】

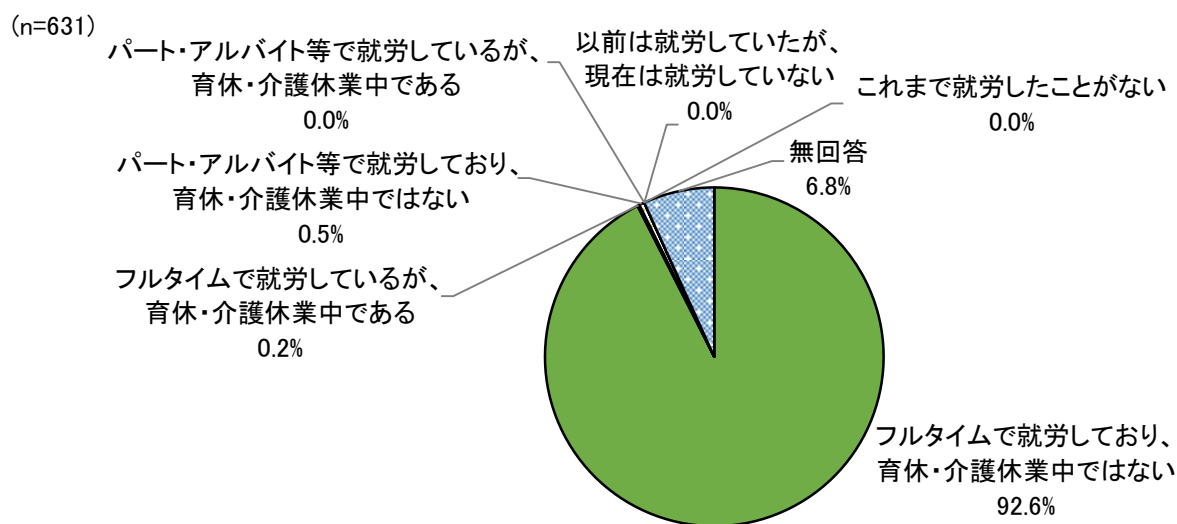
(n=47)



(6) 父親の就労状況

問11 宛名のお子さまの父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(1つに○)  
 【母子家庭の場合は記入不要】

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 92.6%を占めています。



(7) 就労している父親の就労日数・就労時間

【問11で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ】

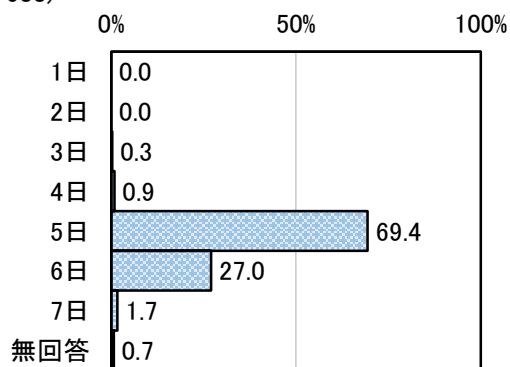
問11-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、時刻が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(数字を記入)

就労している父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が69.4%で最も多く、次いで「6日」が27.0%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が28.4%で最も多く、次いで「10時間」が23.3%、「12時間以上」が20.7%となっています。

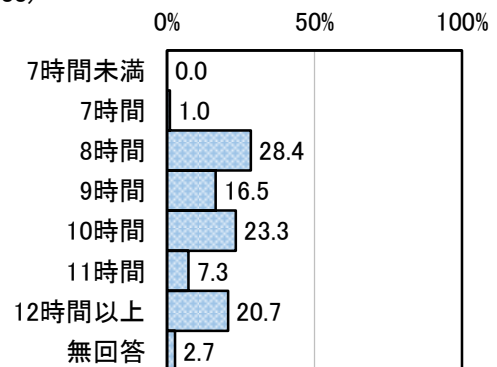
【1週あたりの就労日数】

(n=588)



【1日あたりの就労時間】

(n=588)





(8) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻

【問11で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ】

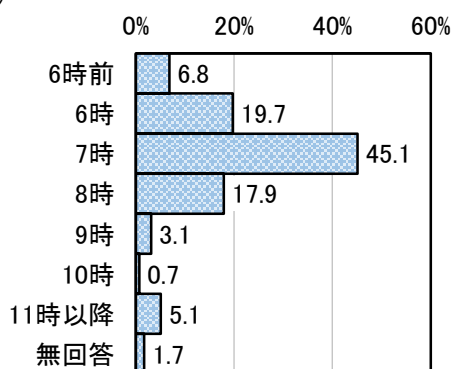
問11-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間、時刻が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(数字を記入)

就労している父親の家を出る時刻は、「7時」が45.1%で最も多く、次いで「6時」が19.7%、「8時」が17.9%となっています。

また、帰宅時刻は、「22時以降」が28.4%で最も多く、次いで「21時」が18.0%、「20時」が17.9%、「19時」が16.8%となっています。

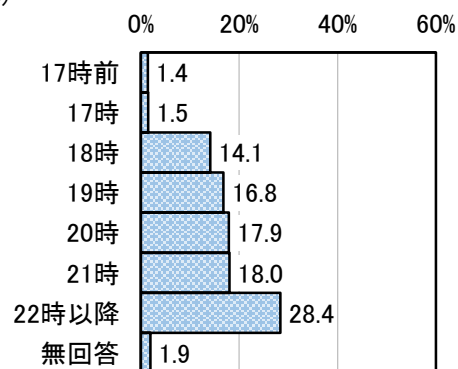
【家を出る時刻】

(n=588)



【帰宅時刻】

(n=588)

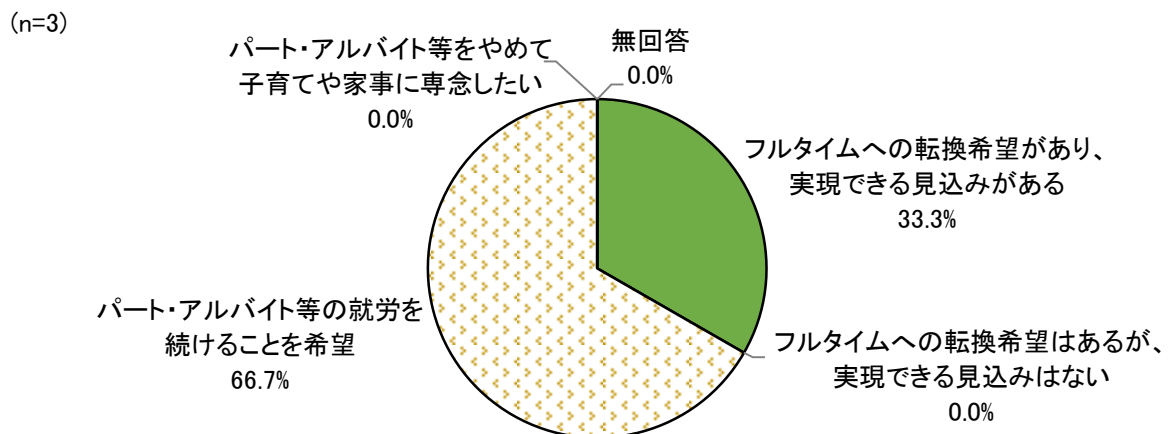


(9) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

【問11で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ】

問11-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が66.7%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が33.3%となっています。



(10) 就労していない父親の就労希望

【問11で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ】

問11-3 就労したいという希望はありますか。(番号と記号それぞれ1つに○、数字を記入)

(該当者なし)

## 4 放課後の過ごし方について

### (1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方

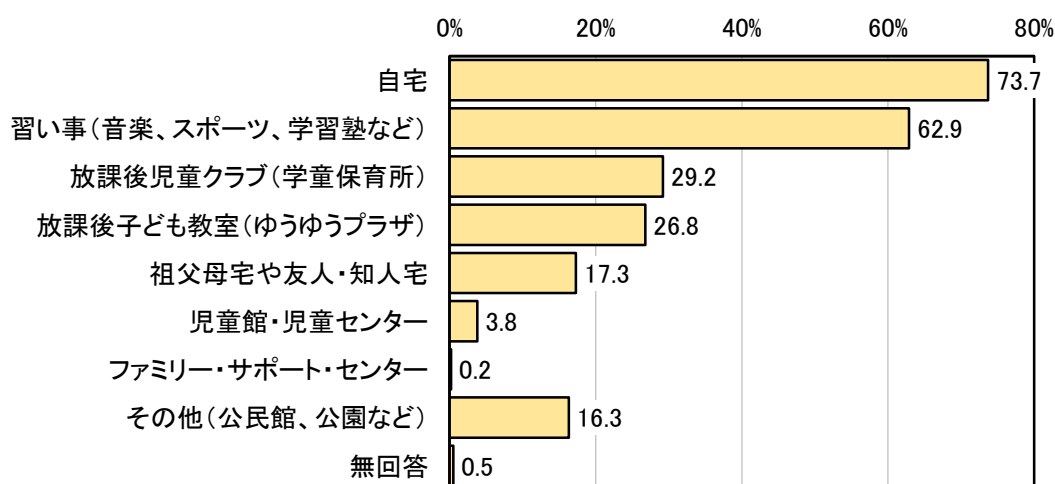
問12 宛名のお子さまについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。または、過ごさせたいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

希望する低学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が73.7%で最も多く、次いで「習い事(音楽、スポーツ、学習塾など)」が62.9%、「放課後児童クラブ(学童保育所)」が29.2%、「放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)」が26.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が17.3%となっています。

放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻は、「18時」が50.0%で最も多くなっています。

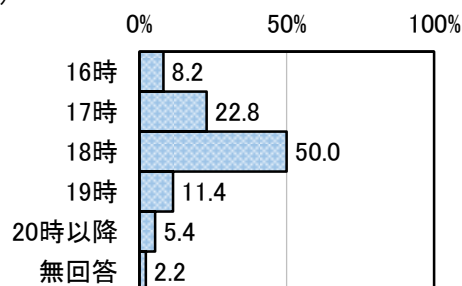
なお、1週あたりの利用日数は、「自宅」、「放課後児童クラブ(学童保育所)」では「5日」が多くなっていますが、その他は「1日」～「2日」が多くなっています。

(n=631)



### 【放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻】

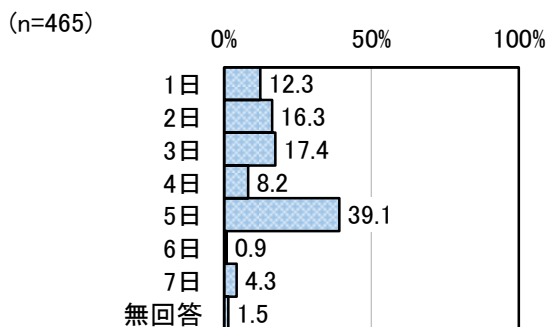
(n=184)



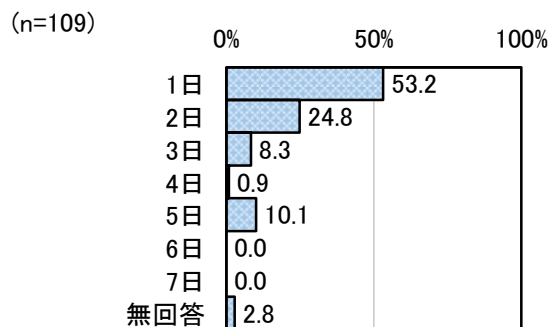
第4章 小学生保護者

【1週あたりの利用日数】

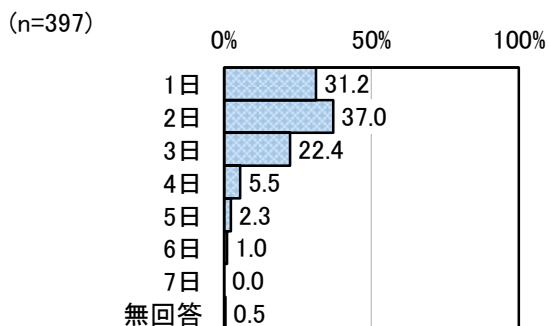
・ 自宅



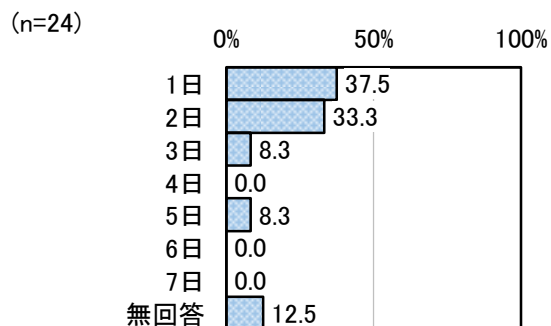
・ 祖父母宅や友人・知人宅



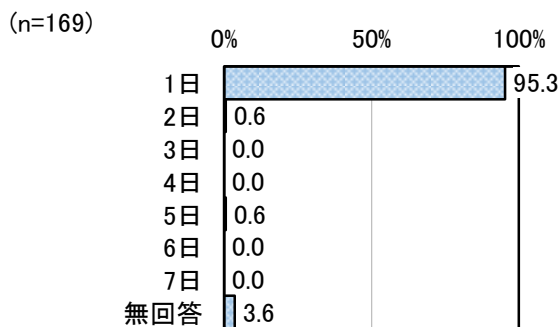
・ 習い事



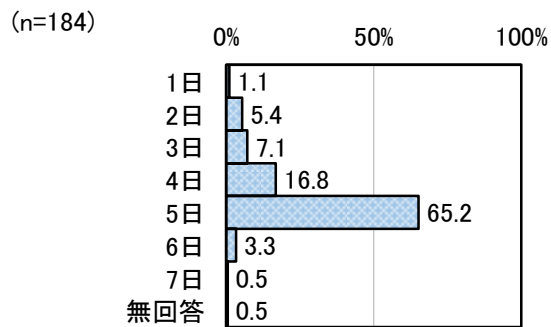
・ 児童館・児童センター



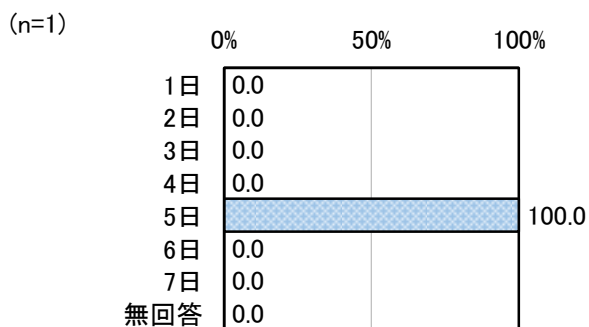
・ 放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）



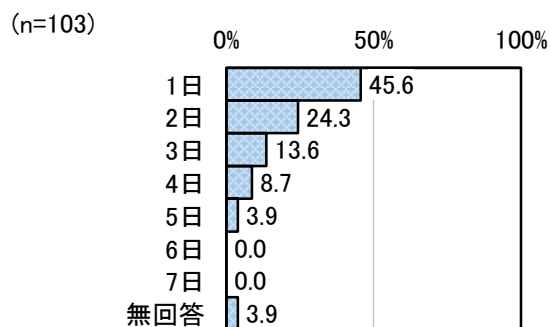
・ 放課後児童クラブ（学童保育所）



・ ファミリー・サポート・センター



・ その他の過ごし方



## (2) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

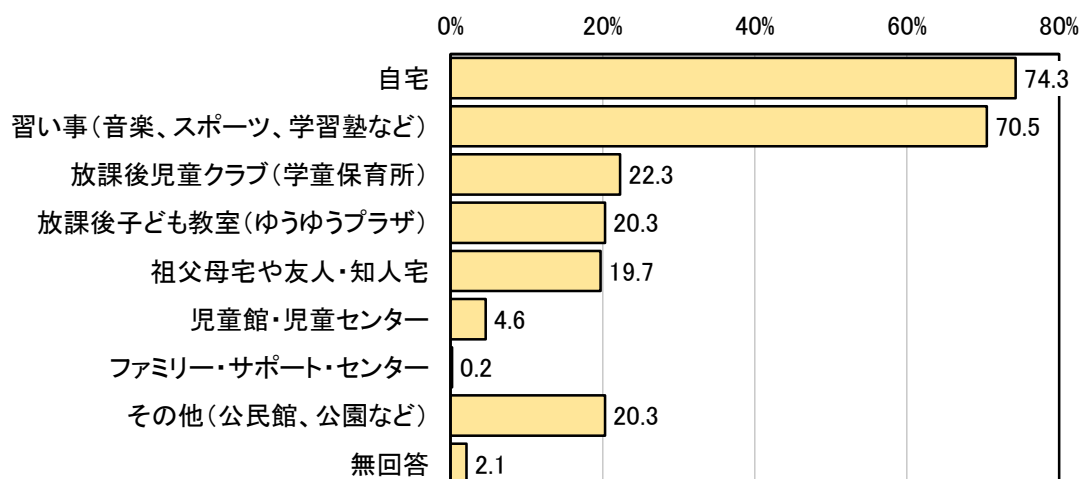
問13 宛名のお子さまについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。今は未定という方も、現在お持ちのイメージでお答えください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

希望する高学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が74.3%で最も多く、次いで「習い事(音楽、スポーツ、学習塾など)」が70.5%、「放課後児童クラブ(学童保育所)」が22.3%、「放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)」が20.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が19.7%となっています。

放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻は、「18時」が47.5%で最も多くなっています。

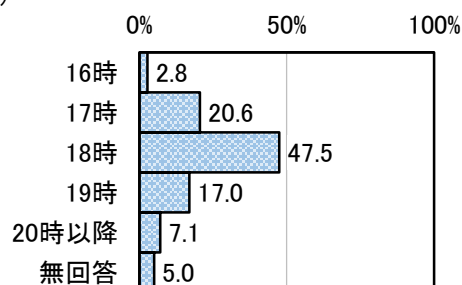
なお、1週あたりの利用日数は、「自宅」、「放課後児童クラブ(学童保育所)」では「5日」が多くなっていますが、その他は「1日」～「2日」が多くなっています。

(n=631)



### 【放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻】

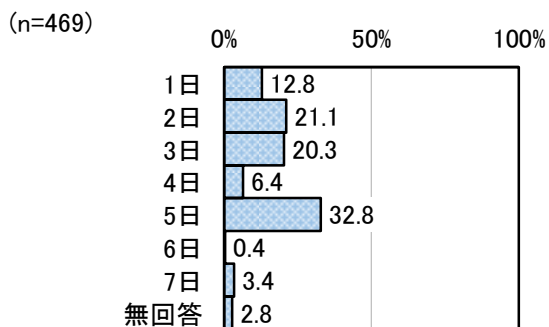
(n=141)



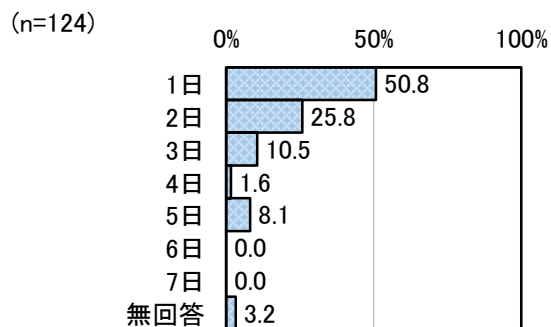
第4章 小学生保護者

【1週あたりの利用日数】

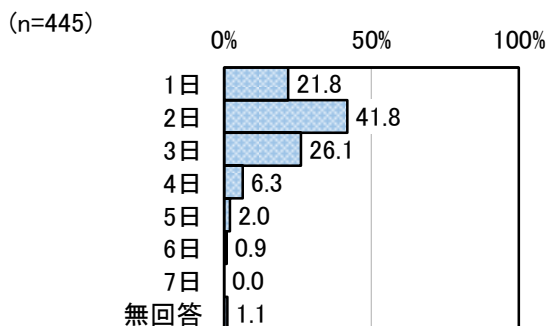
・ 自宅



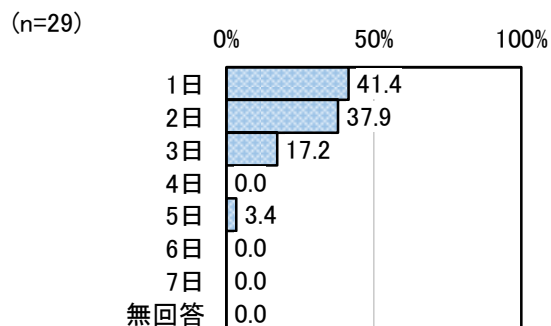
・ 祖父母宅や友人・知人宅



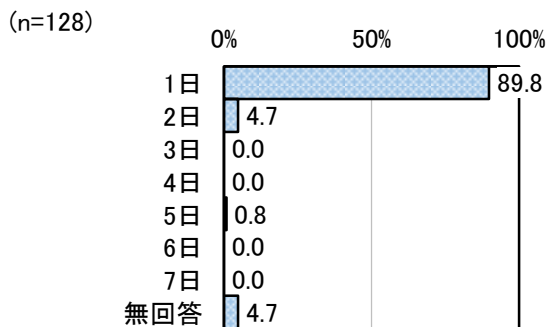
・ 習い事



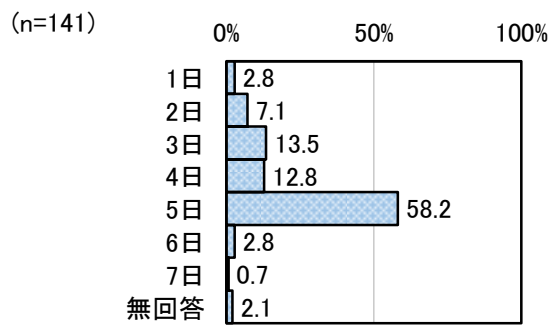
・ 児童館・児童センター



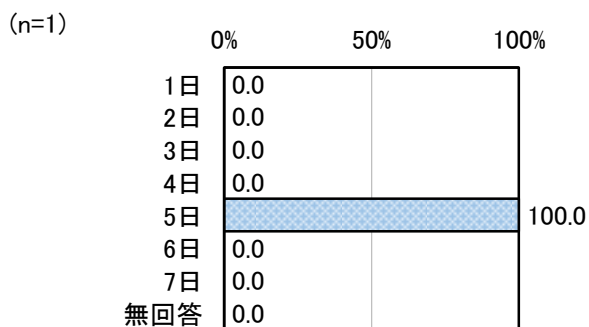
・ 放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）



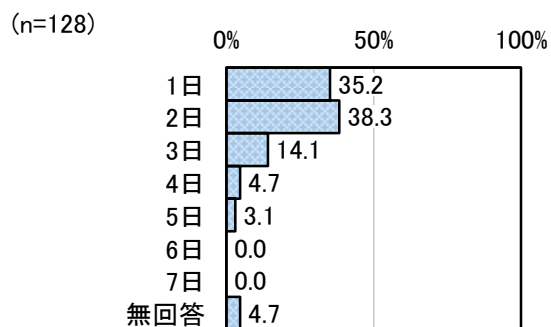
・ 放課後児童クラブ（学童保育）



・ ファミリー・サポート・センター



・ その他の過ごし方



### (3) 土曜日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

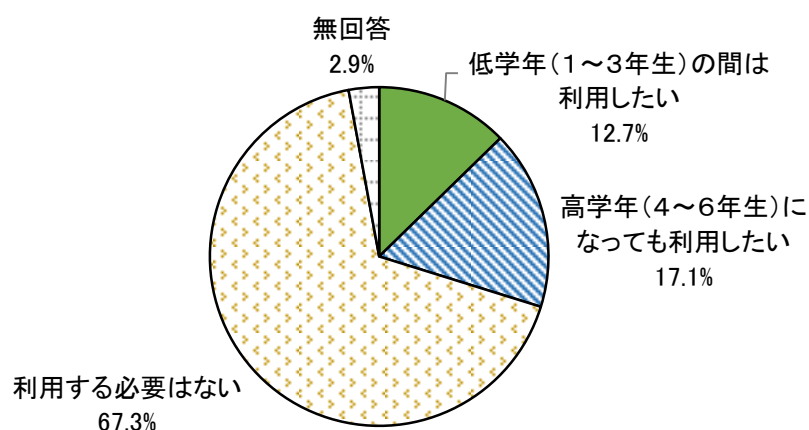
【問12または問13で「6. 放課後児童クラブ(学童保育所)」に○をつけた方のみ】

問14 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

土曜日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望は、「利用する必要はない」が67.3%で最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が17.1%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が12.7%となっています。

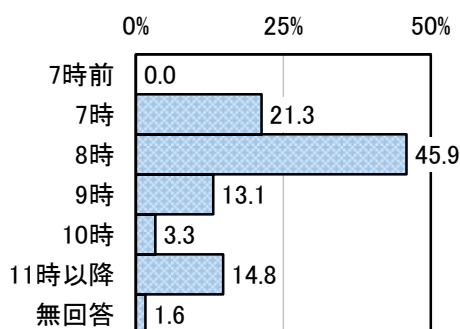
希望する利用開始時刻は「8時」が45.9%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が42.6%で最も多くなっています。

(n=205)



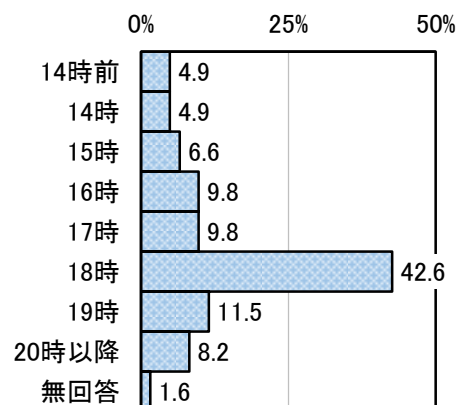
【利用開始時刻】

(n=61)



【利用終了時刻】

(n=61)



(4) 日曜日・祝日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

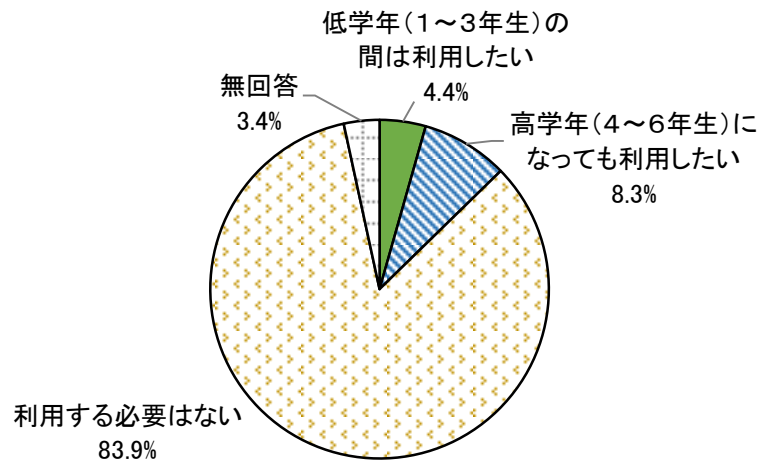
【問12または問13で「6. 放課後児童クラブ(学童保育所)」に○をつけた方のみ】

問14 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が83.9%で最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が8.3%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が4.4%となっています。

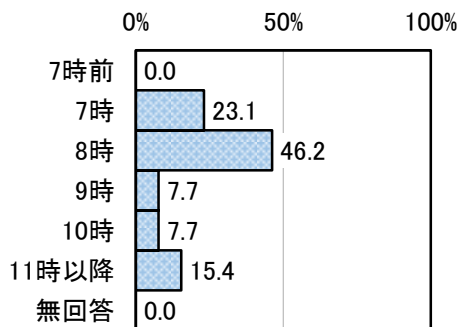
希望する利用開始時刻は「8時」が46.2%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が50.0%で最も多くなっています。

(n=205)



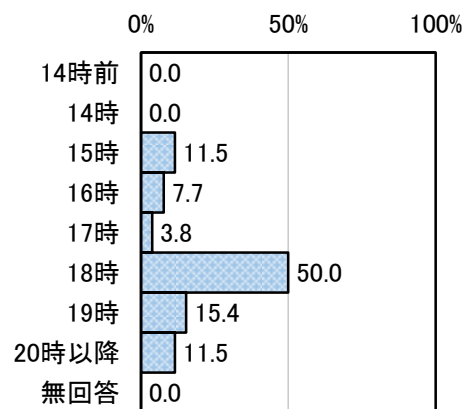
【利用開始時刻】

(n=26)



【利用終了時刻】

(n=26)





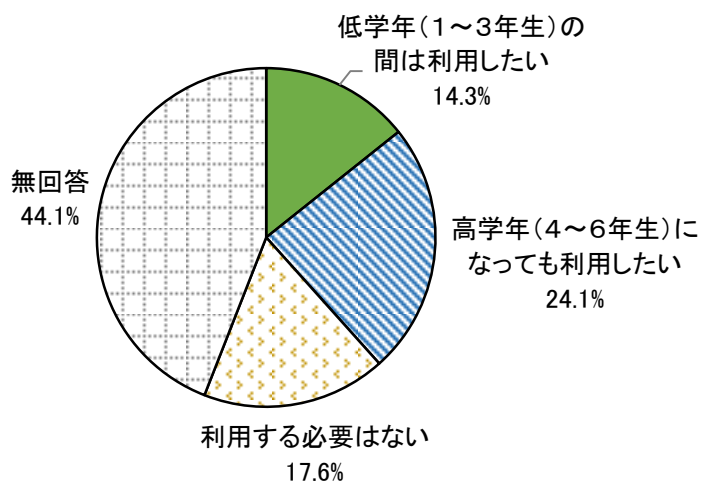
(5) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

問15 宛名のお子さまについて、お子さまの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(1つに○、数字を記入)

長期休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望は、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が24.1%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が17.6%、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が14.3%となっています。

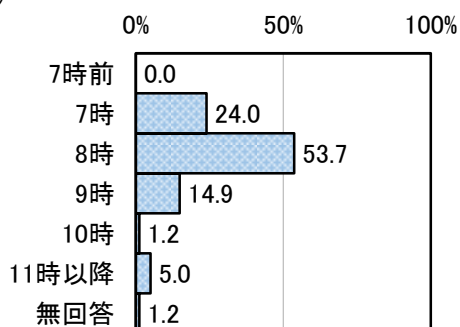
希望する利用開始時刻は「8時」が53.7%で最も多く、利用終了時刻は「18時」が43.0%で最も多くなっています。

(n=631)



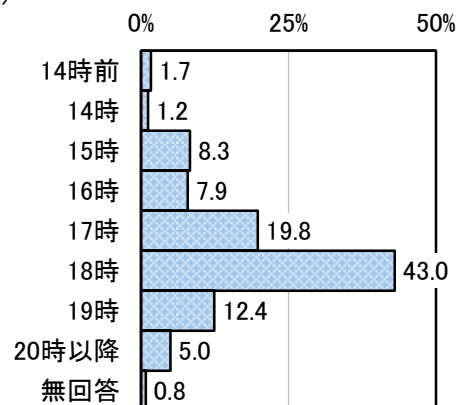
【利用開始時刻】

(n=242)



【利用終了時刻】

(n=242)



## 5 地域の子育て支援事業の利用状況について

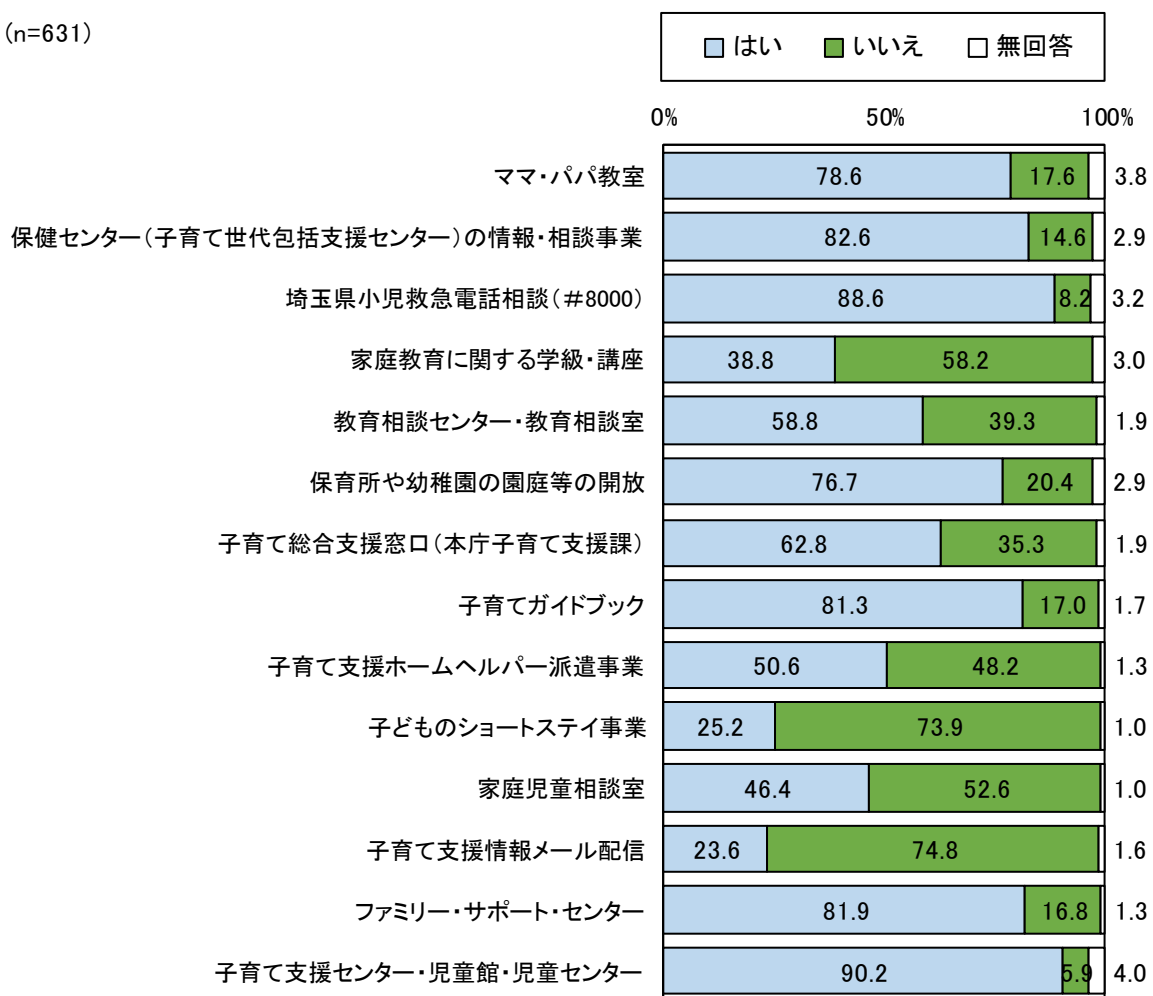
### (1) 各種事業の認知度

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。  
(事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の認知度（知っているもの）について、「はい」が多い順に、「子育て支援センター・児童館・児童センター」（90.2%）、「埼玉県小児救急電話相談（#8000）」（88.6%）、「保健センター（子育て世代包括支援センター）の情報・相談事業」（82.6%）、「ファミリー・サポート・センター」（81.9%）、「子育てガイドブック」（81.3%）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「子育て支援情報メール配信」（74.8%）、「子どものショートステイ事業」（73.9%）、「家庭教育に関する学級・講座」（58.2%）、「家庭児童相談室」（52.6%）、「子育て支援ホームヘルパー派遣事業」（48.2%）となっています。

(n=631)



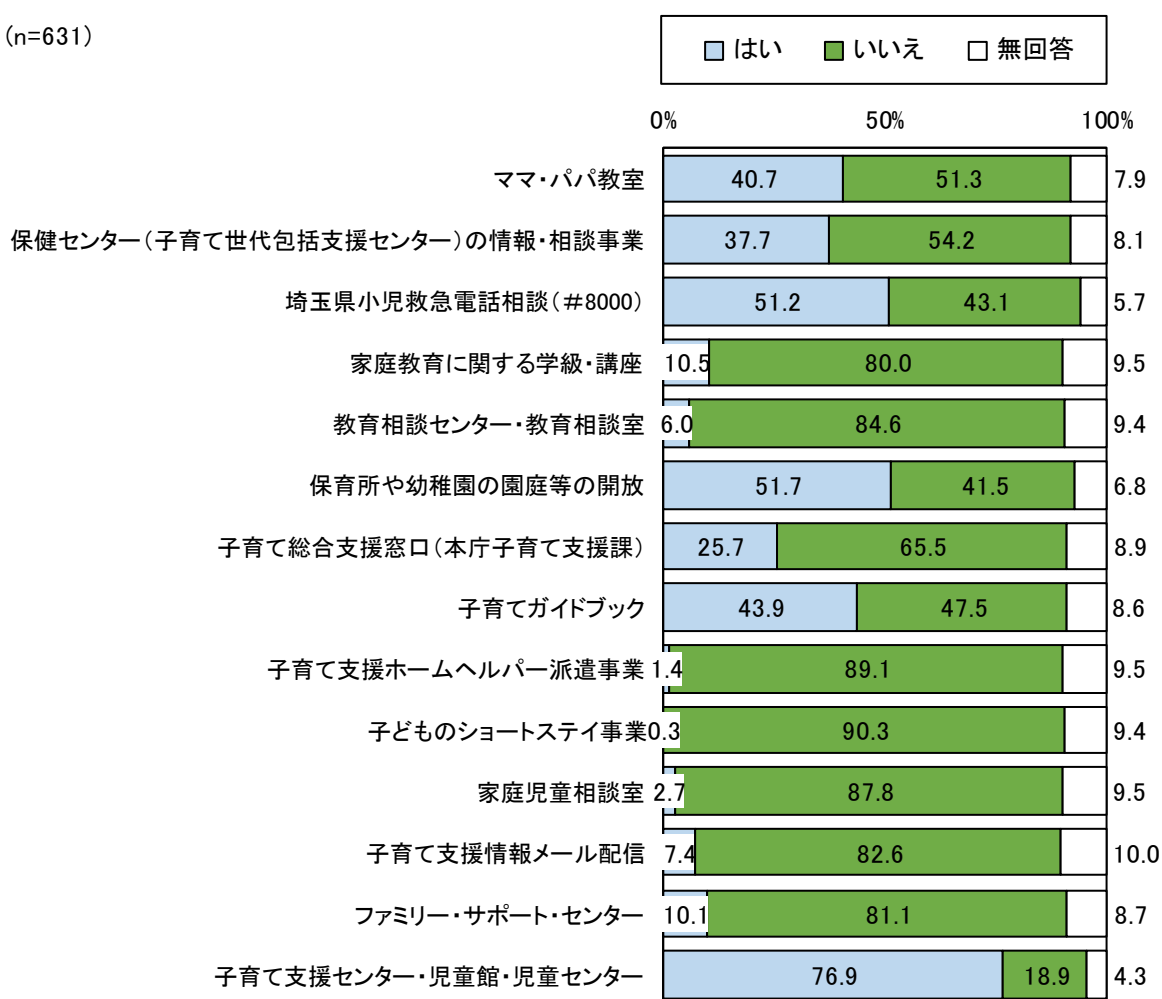
(2) 各種事業の利用状況

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。(事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の利用状況（これまでに利用したことがあるもの）について、「はい」が多い順に、「子育て支援センター・児童館・児童センター」（76.9%）、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」（51.7%）、「埼玉県小児救急電話相談（#8000）」（51.2%）、「子育てガイドブック」（43.9%）、「ママ・パパ教室」（40.7%）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「子どものショートステイ事業」（90.3%）、「子育て支援ホームヘルパー派遣事業」（89.1%）、「家庭児童相談室」（87.8%）、「教育相談センター・教育相談室」（84.6%）、「子育て支援情報メール配信」（82.6%）となっています。

(n=631)



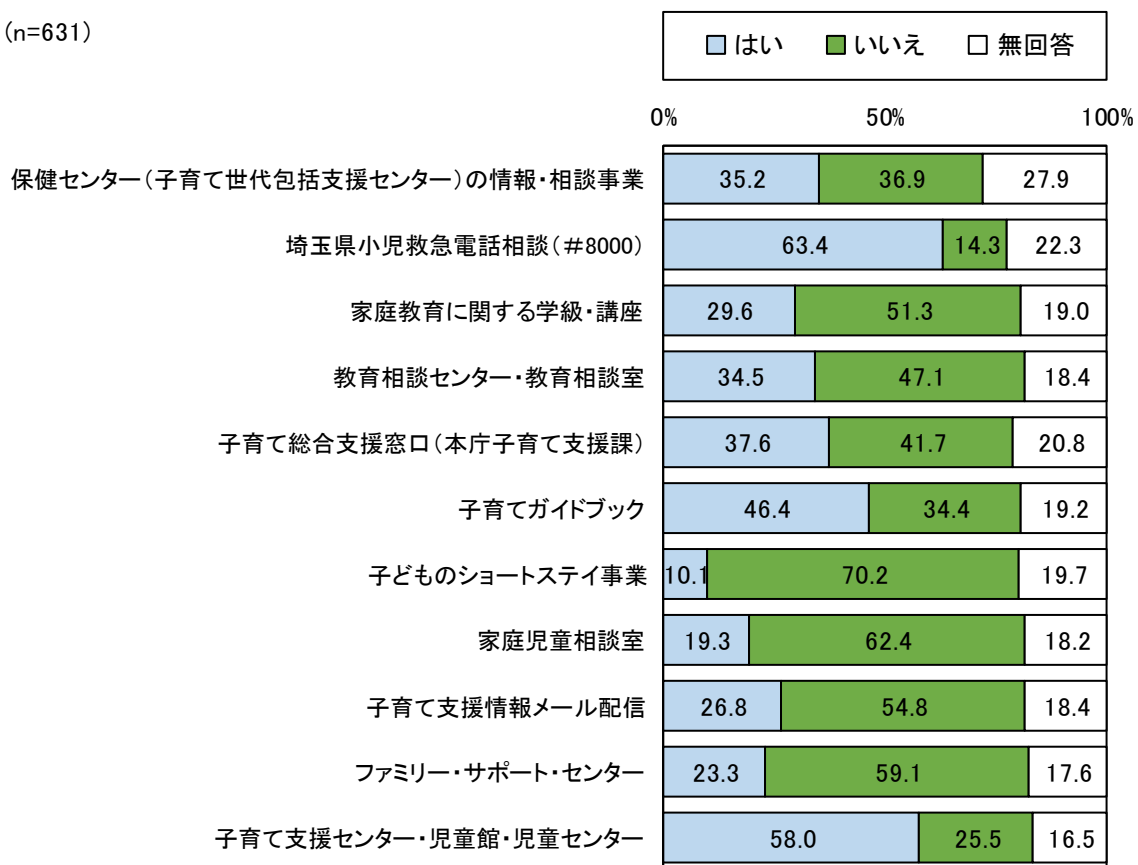
(3) 各種事業の利用意向

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。  
(事業ごとにA~Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の利用意向（今後、利用したいと思うものを）について、「はい」が多い順に、「埼玉県小児救急電話相談（#8000）」（63.4%）、「子育て支援センター・児童館・児童センター」（58.0%）、「子育てガイドブック」（46.4%）、「子育て総合支援窓口（本庁子育て支援課）」（37.6%）、「ママ・パパ教室」（35.2%）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「子どものショートステイ事業」（70.2%）、「家庭児童相談室」（62.4%）、「ファミリー・サポート・センター」（59.1%）、「子育て支援情報メール配信」（54.8%）、「家庭教育に関する学級・講座」（51.3%）となっています。

(n=631)



(4) 子育て支援センター・児童館・児童センターへの要望

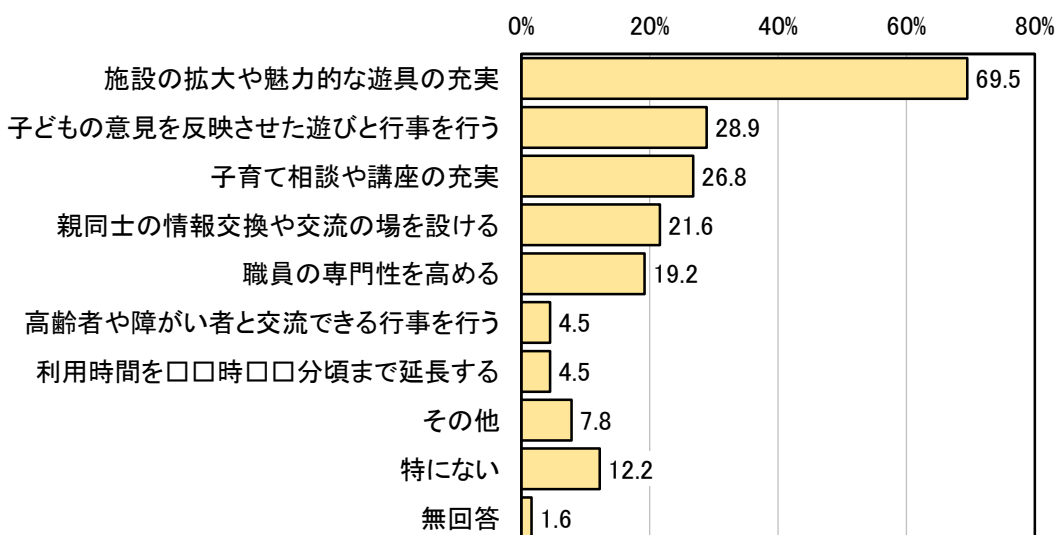
【問16「14. 子育て支援センター・児童館・児童センター」の「B 利用したことがある」で「はい」に○をつけた方のみ】

問16-1 子育て支援センター・児童館・児童センターへの要望をお答えください。(○は3つまで)

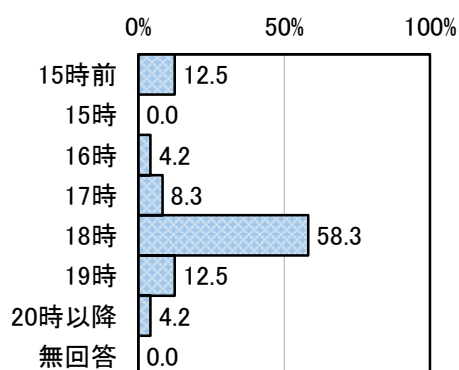
子育て支援センター・児童館・児童センターへの要望は、「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が69.5%で最も多く、次いで「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」が28.9%、「子育て相談や講座の充実」が26.8%、「親同士の情報交換や交流の場を設ける」が21.6%、「職員の専門性を高める」が19.2%となっています。

なお、利用時間の延長希望については、「18時」が58.3%で最も多くなっています。

(n=485)



【利用時間の延長希望】



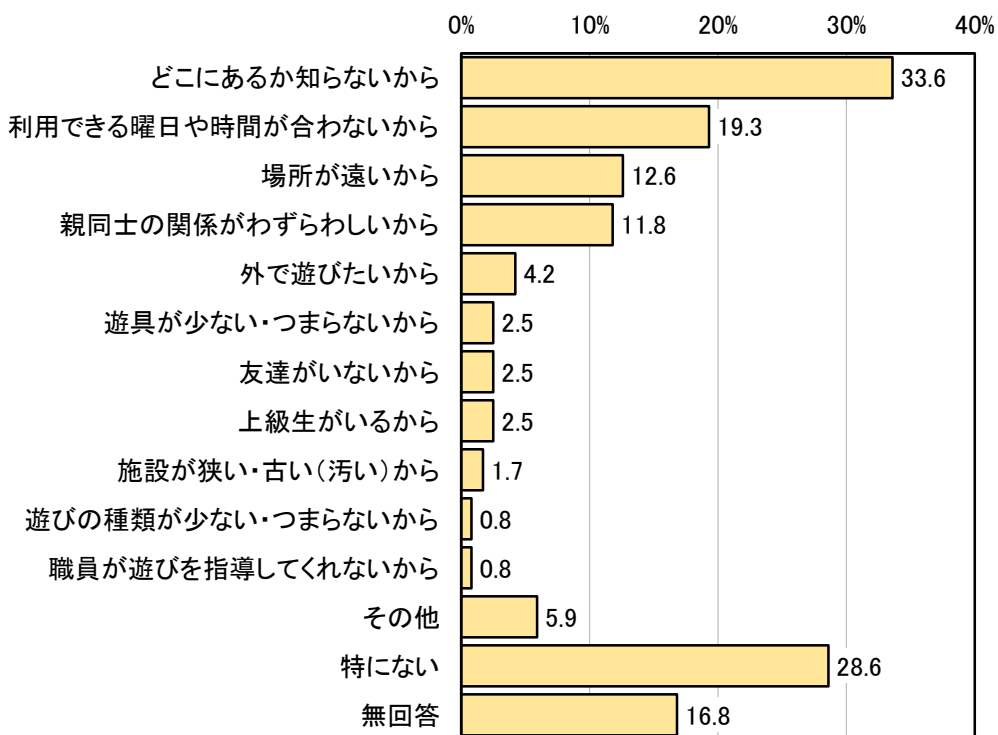
(5) 子育て支援センター・児童館・児童センターを利用していない理由

【問16「14. 子育て支援センター・児童館・児童センター」の「B 利用したことがある」で「いいえ」に○をつけた方のみ】

問16-2 子育て支援センター・児童館・児童センターを利用していない理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

子育て支援センター・児童館・児童センターを利用していない理由は、「どこにあるか知らないから」が33.6%で最も多く、次いで「利用できる曜日や時間が合わないから」が19.3%、「場所が遠いから」が12.6%、「親同士の関係がわずらわしいから」が11.8%となっています。

(n=119)



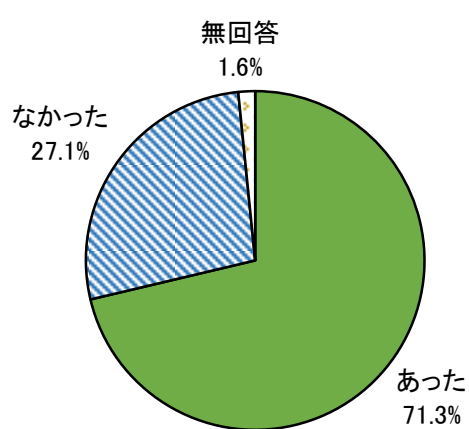
## 6 お子様の病気の際の対応について【平日の教育・保育事業の利用者のみ】

### (1) 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

問17 この1年間に、宛名のお子さまが病気やけがで学校等を休まなければならなかったことはありますか。(1つに○)

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が71.3%、「なかった」が27.1%となっています。

(n=631)



(2) 事業が利用できなかった場合の対処方法

【問17で「1. あった」に○をつけた方のみ】

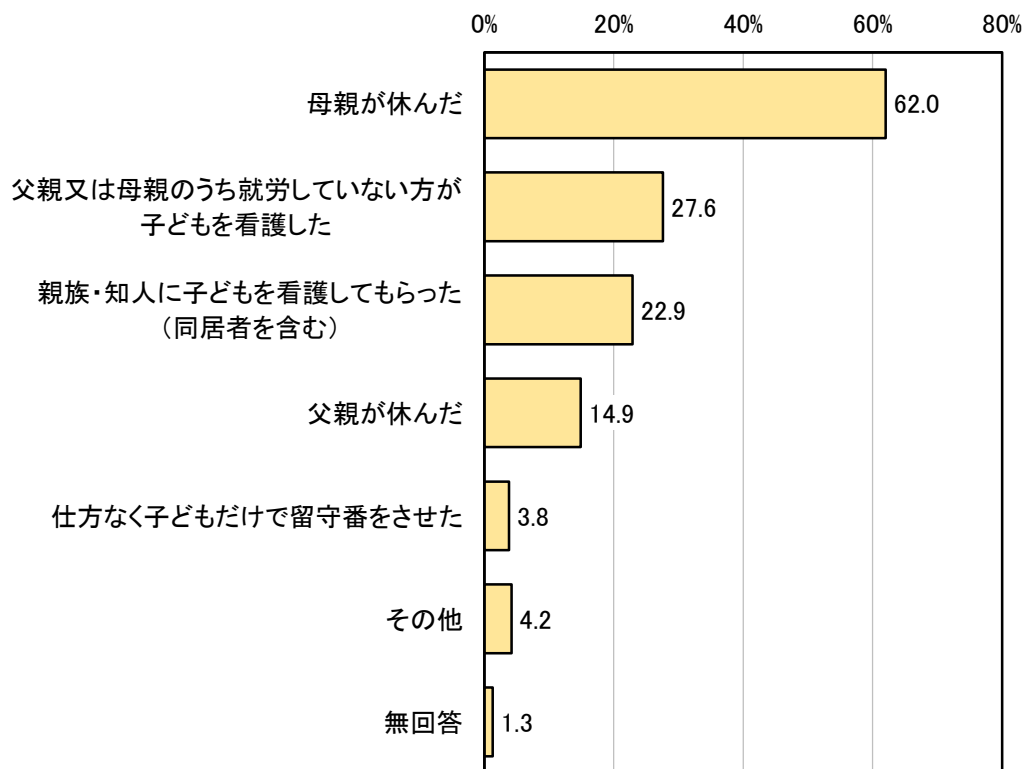
問17-1 宛名のお子さまが病気やけがで学校等を休まなければならなかった場合に、この1年間に  
行った対処方法をお答えください。

(あてはまるものすべてに○、数字を記入、半日程度の対応の場合は1日でカウント)

事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が62.0%で最も多く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看護した」が27.6%、「親族・知人に子どもを看護してもらった(同居者を含む)」が22.9%、「父親が休んだ」が14.9%となっています。

また、1年間の対処日数は、いずれも「1～5日」が最も多くなっています。

(n=450)

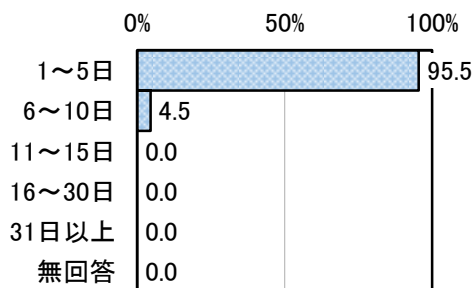




【1年間の対処日数】

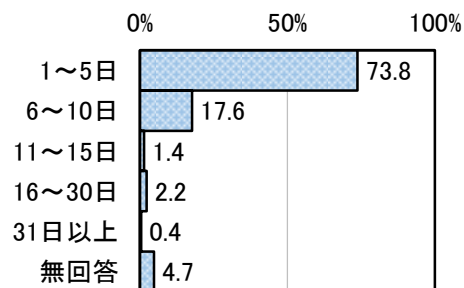
・父親が休んだ

(n=67)



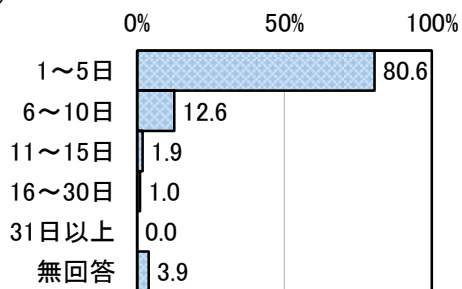
・母親が休んだ

(n=279)



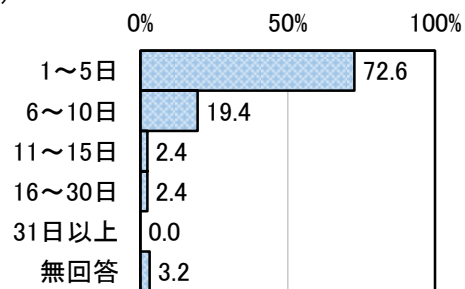
・親族・知人にみてもらった

(n=103)



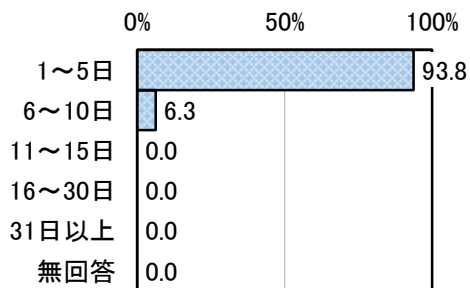
・父母のうち就労していない方が子どもをみた

(n=124)



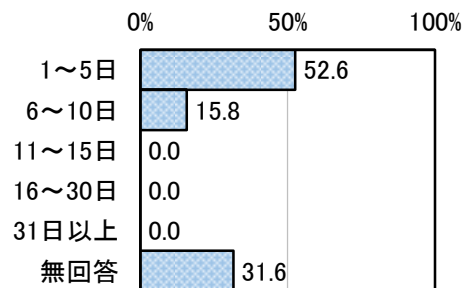
・子どもだけで留守番をさせた

(n=16)



・その他の対処

(n=19)

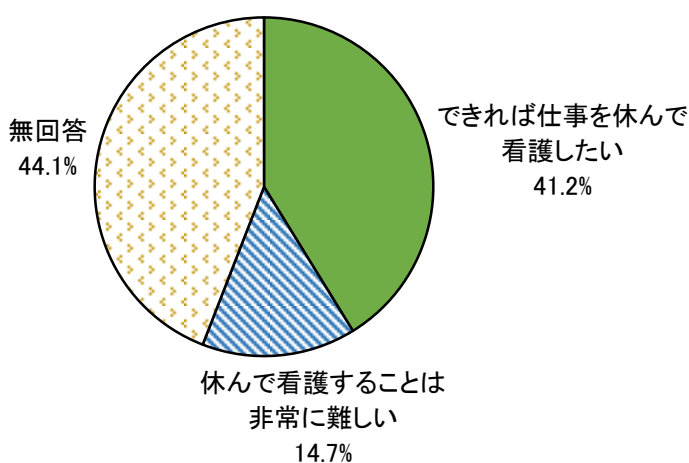


(3) 父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったか

【問17-1で「3. 親族・知人に子どもを看護してもらった」～「6. その他」に○をつけた方のみ】  
 問17-2 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。  
 (1つに○、問17-1の「3」から「6」の日数のうち仕事を休んで看護したかった日数を数字で記入)

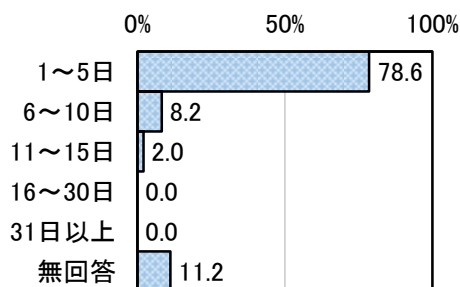
父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったかどうかは、「できれば仕事を休んで看護したい」が41.2%、「休んで看護することは非常に難しい」が14.7%となっています。仕事を休んで看たい1年間の日数は、「1～5日」が78.6%で最も多くなっています。

(n=238)



【1年間の日数】

(n=98)



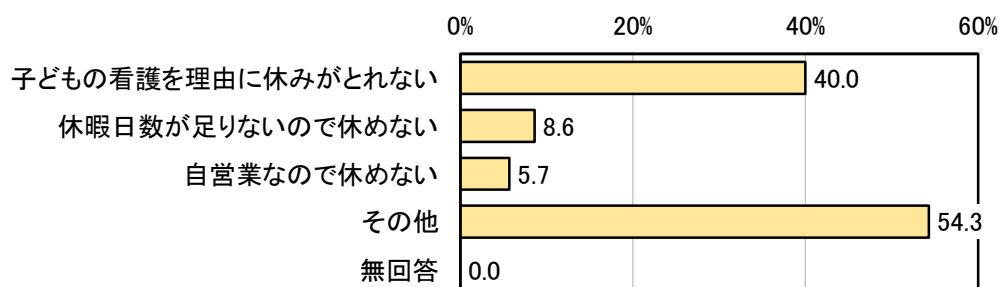
## (4) 休んで看護することが難しい理由

【問17-2で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方のみ】

問17-3 そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

休んで看護することが難しい理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が40.0%で最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が8.6%、「自営業なので休めない」が5.7%となっています。

(n=35)



《参考》その他

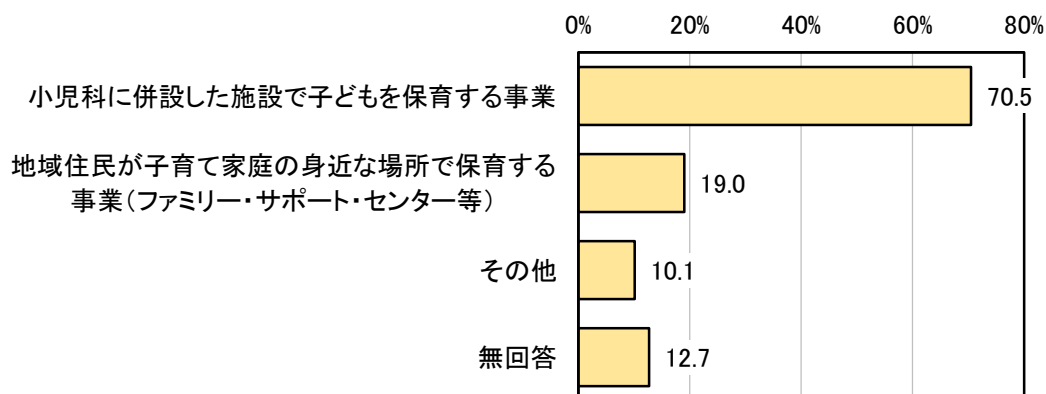
人手が足りない・急には休めない（4件）、業務に支障が出る（3件）、休む必要がない（2件）  
職場に迷惑がかかる・代わりがきかない・自分だけ休めない・収入が減ってしまう（1件）など

## (5) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問18 宛名のお子さまが病気やけがで学校等を休まなければならない時に、お子さまを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が70.5%を占めています。

(n=631)



## 7 一時預かり等の利用について

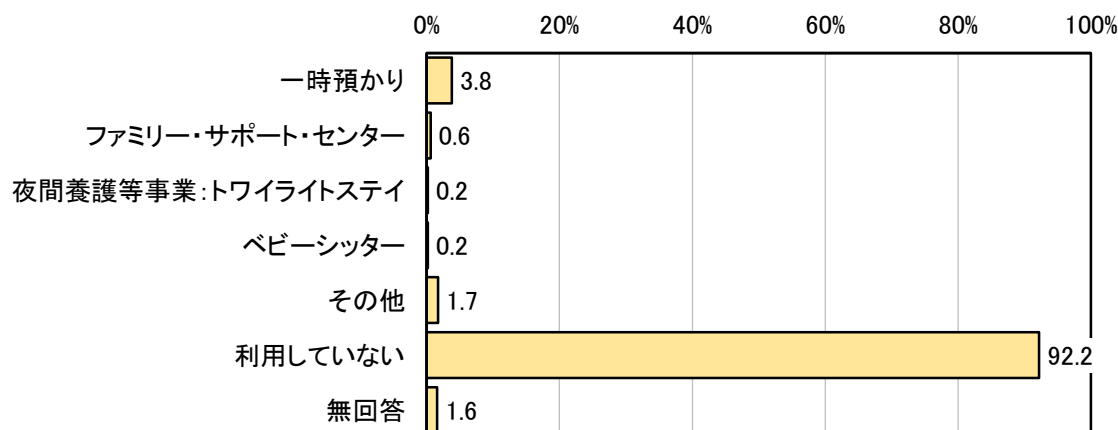
### (1) 利用している不定期の教育・保育の事業

問19 宛名のお子さまについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で「不定期」に利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

利用している不定期の教育・保育の事業は、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」が3.8%で最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」が0.6%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）」、「ベビーシッター」がともに0.2%となっています。

1年間の利用日数は、「一時預かり」では「1～5日」が最も多くなっています。

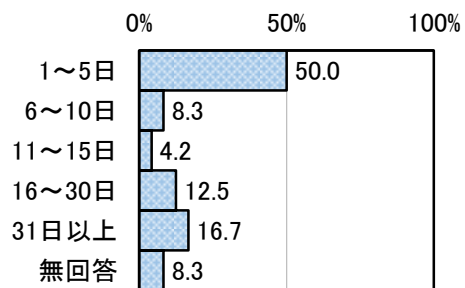
(n=631)



【1年間の利用日数】

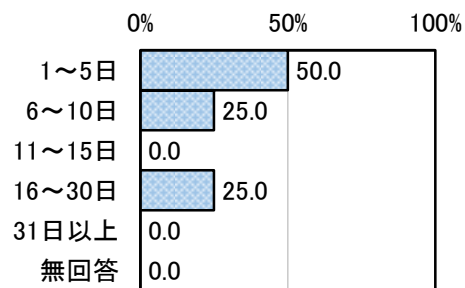
・一時預かり保育

(n=24)



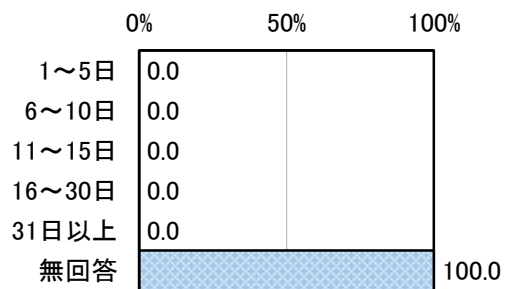
・ファミリー・サポート・センター

(n=4)



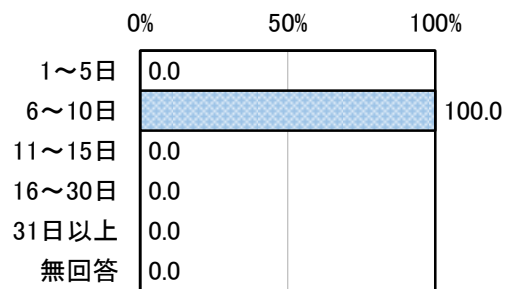
・夜間養護等事業（トワイライトステイ）

(n=1)



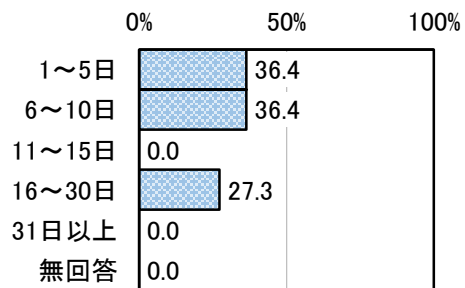
・ベビーシッター

(n=1)



・その他の事業

(n=11)



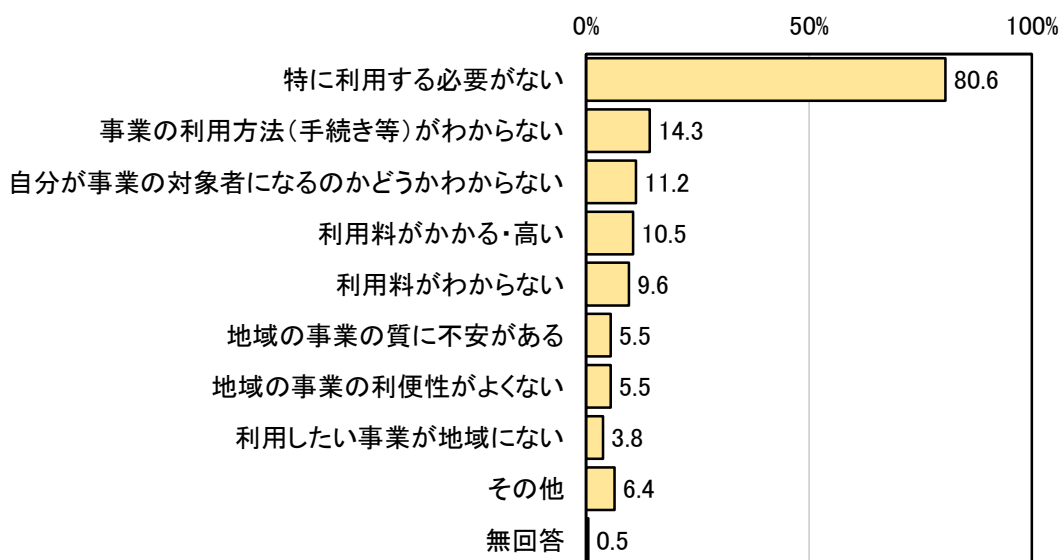
(2) 不定期の教育・保育の事業を利用していない理由

【問19で「6. 利用していない」に○をつけた方のみ】

問19-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

不定期の教育・保育の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が80.6%で最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が14.3%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」が11.2%、「利用料がかかる・高い」が10.5%となっています。

(n=582)



## (3) 私用等の目的での事業の利用希望

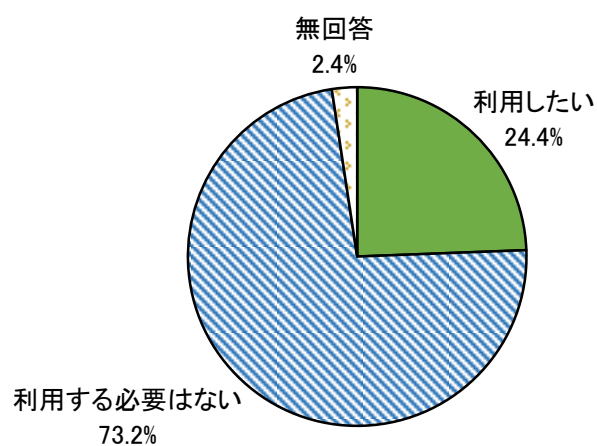
問20 宛名のお子さまについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

私用等の目的での事業の利用希望は、「利用する必要はない」が73.2%、「利用したい」が24.4%となっています。

利用したい場合の1年間の合計日数は、「不定期の就労」では「6～10日」、他の目的では「1～5日」が最も多くなっています。

事業の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が59.1%で最も多く、次いで「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が42.2%、「不定期の就労」が29.2%となっています。

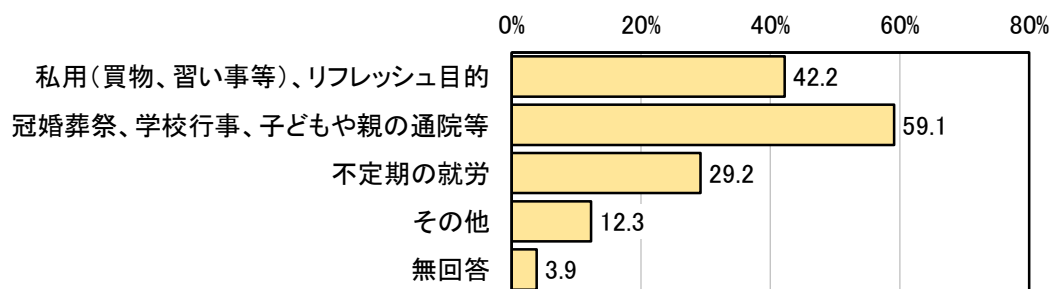
(n=631)



第4章 小学生保護者

【事業の利用目的】

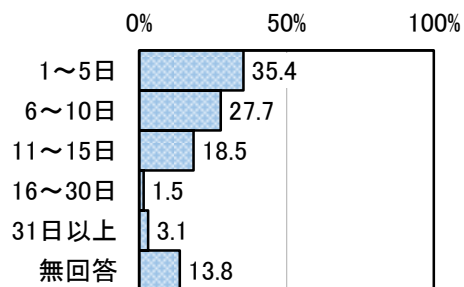
(n=154)



【1年間に必要な日数】

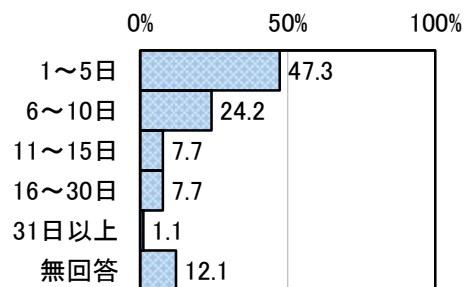
・私用、リフレッシュ目的

(n=65)



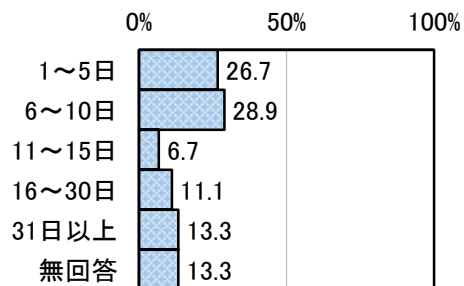
・冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

(n=91)



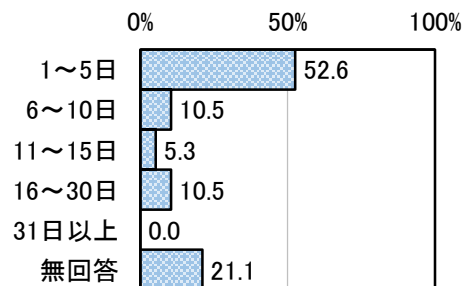
・不定期の就労

(n=45)



・その他の目的

(n=19)





## (4) 私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態

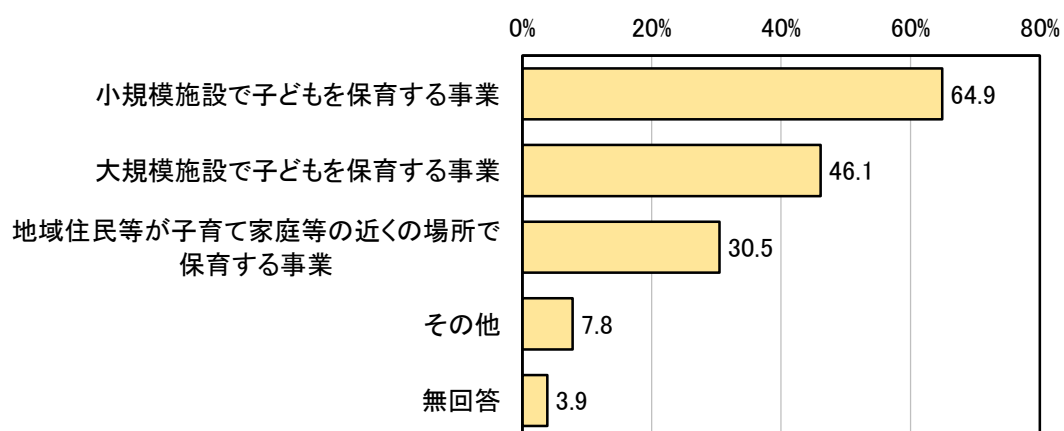
【問20で「1. 利用したい」に○をつけた方のみ】

問20-1 問20の目的でお子さまを預ける場合、望ましいと思われる事業形態は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

私等の目的で利用する事業の望ましい事業形態は、「小規模施設で子どもを保育する事業」が64.9%で最も多く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業」が46.1%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が30.5%となっています。

(n=154)



(5) 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと

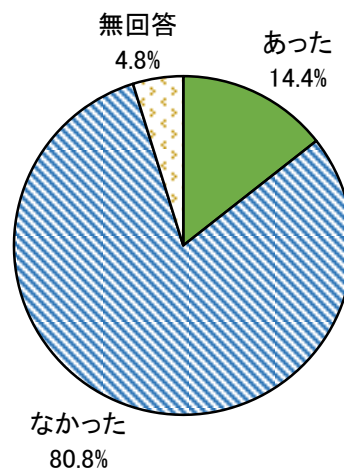
問21 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さまを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと(預け先が見つからなかった場合も含みます)はありましたか。あった場合は、この1年間の対応を選択し、それぞれの日数もご記入ください。  
(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったことは、「なかった」が80.8%、「あった」が14.4%となっています。

対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が91.2%を占めています。

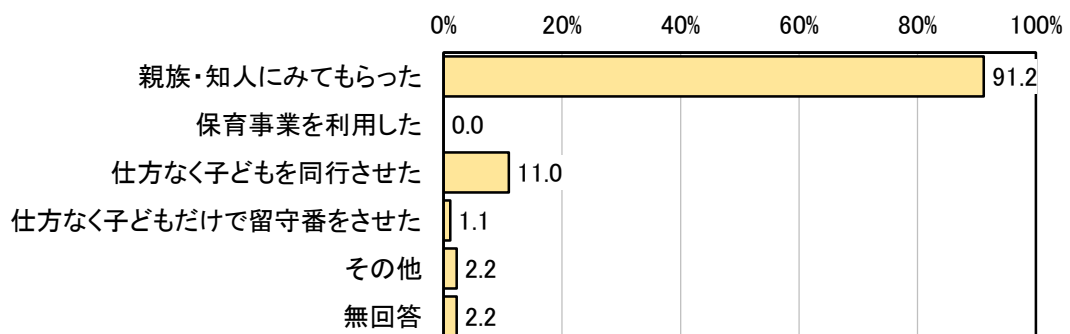
1年間の対処泊数は、いずれも「1～5日」が最も多くなっています。

(n=631)



【対処方法】

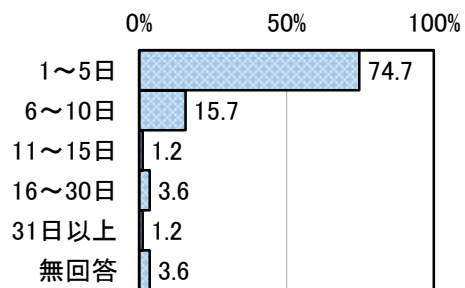
(n=91)



【1年間の対処泊数】

・親族・知人にみてもらった

(n=83)

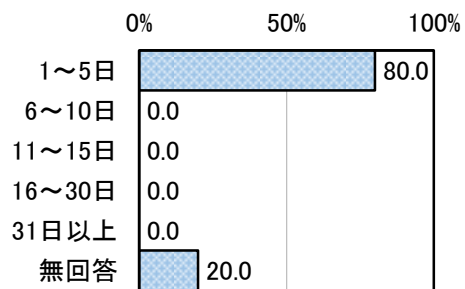


・その他の保育事業を利用した

(該当者なし)

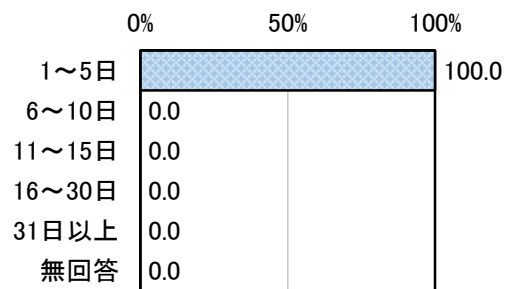
・子どもを同行させた

(n=10)



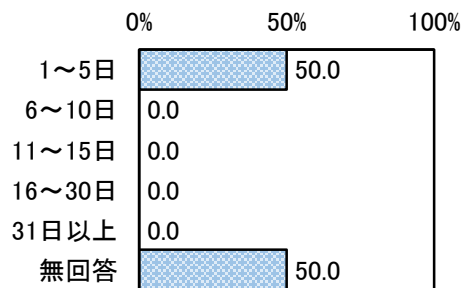
・子どもだけで留守番をさせた

(n=1)



・その他の対処

(n=2)



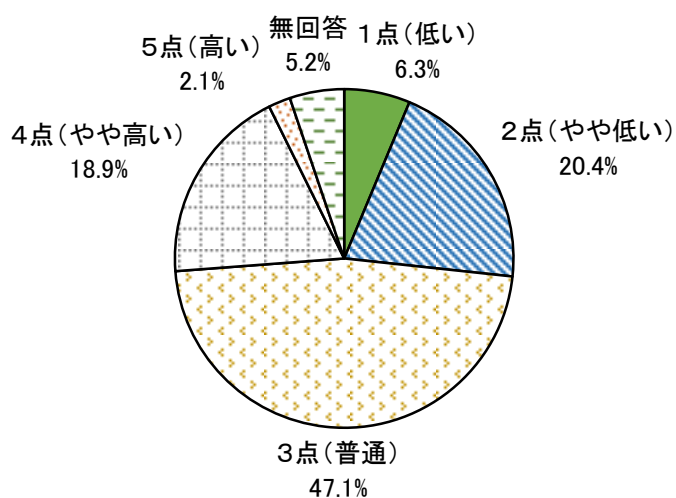
## 8 子育て支援施策について

### (1) 子育ての環境や支援への満足度

問22 久喜市における子育ての環境や支援への満足度について総合的に判断してください。(1つに○)

子育ての環境や支援への満足度は、「3点(普通)」が47.1%で最も多く、次いで「2点(やや低い)」が20.4%、「4点(やや高い)」が18.9%、「1点(低い)」が6.3%、「5点(高い)」が2.1%となっています。

(n=631)

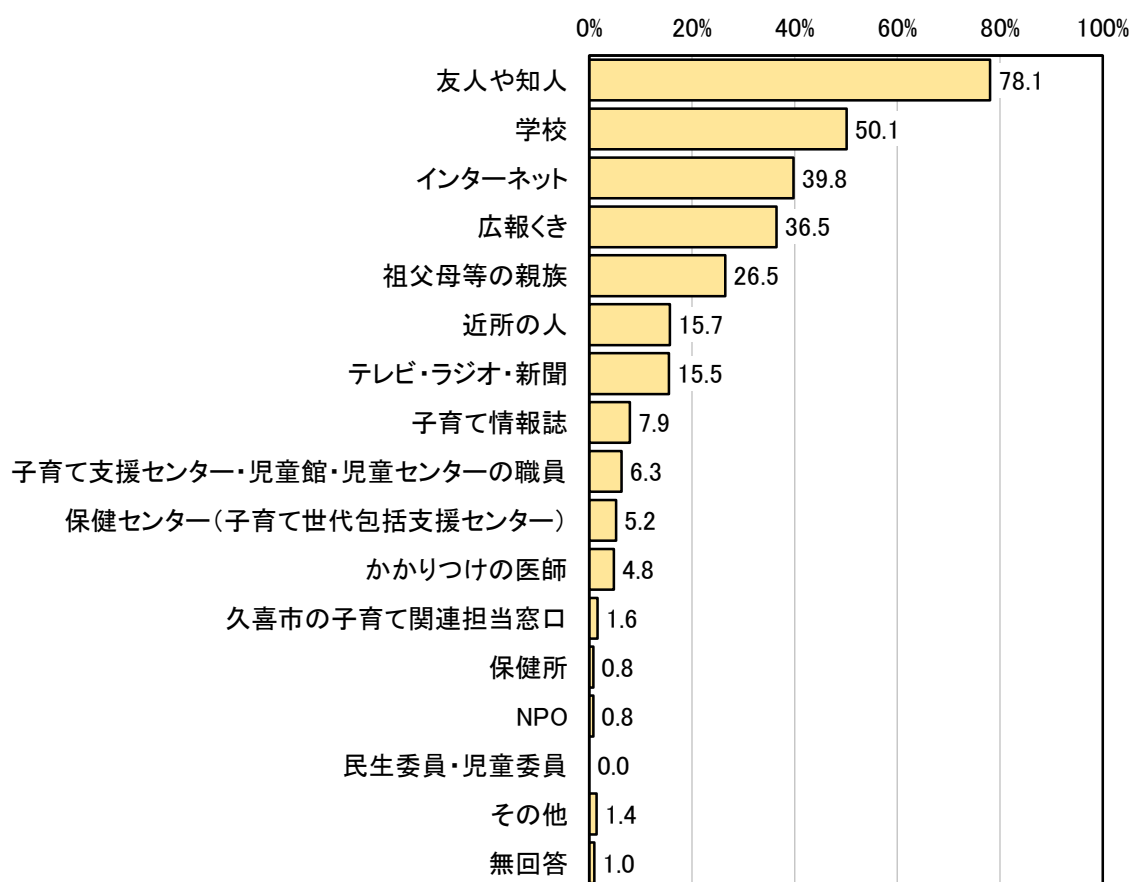


## (2) 子育てに関する情報の入手先

問23 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。(あてはまるもの3つまでに○)

子育てに関する情報の入手先は、「友人や知人」が78.1%で最も多く、次いで「学校」が50.1%、「インターネット」が39.8%、「広報くき」が36.5%、「祖父母等の親族」が26.5%となっています。

(n=631)

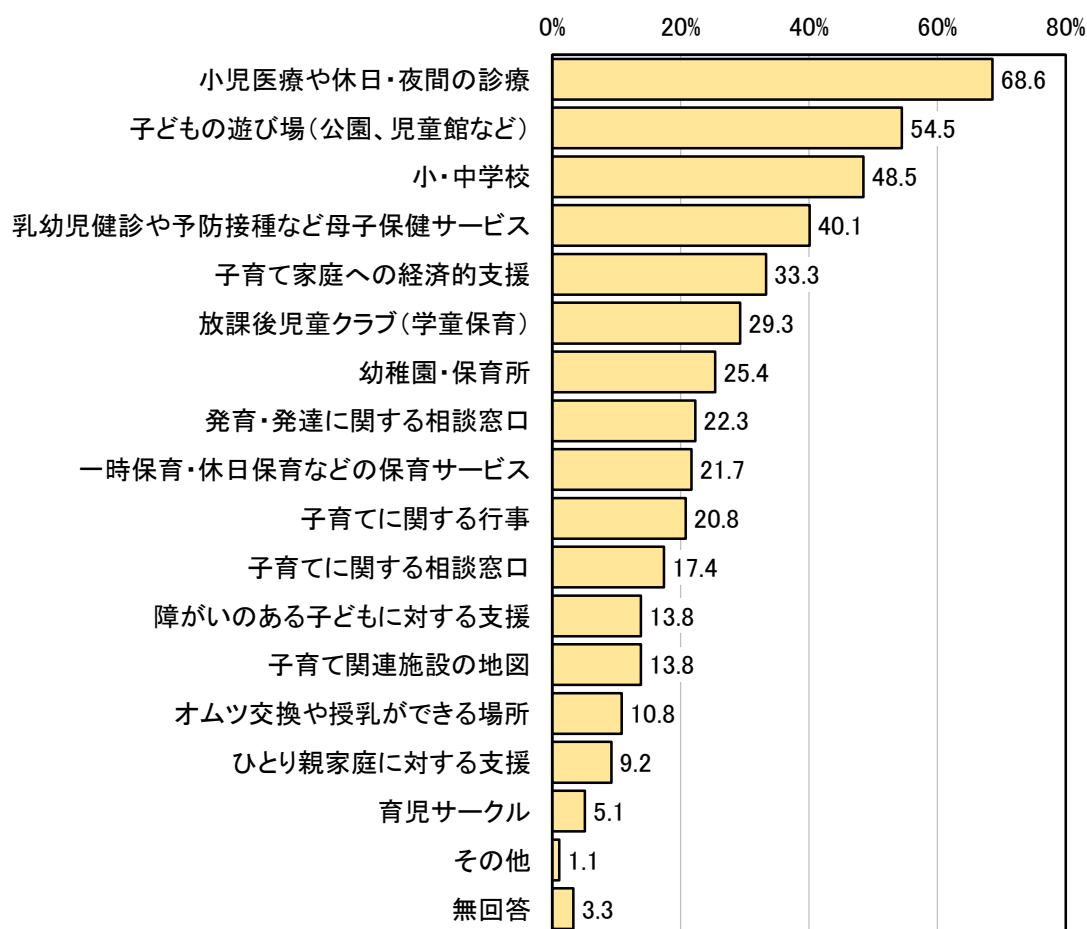


(3) 子育てに関する必要な情報

問24 子育てに関する情報について、どのような情報が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する必要な情報は、「小児医療や休日・夜間の診療」が68.6%で最も多く、次いで「子どもの遊び場(公園、児童館など)」が54.5%、「小・中学校」が48.5%、「乳幼児健診や予防接種など母子保健サービス」が40.1%、「子育て家庭への経済的支援」が33.3%となっています。

(n=631)



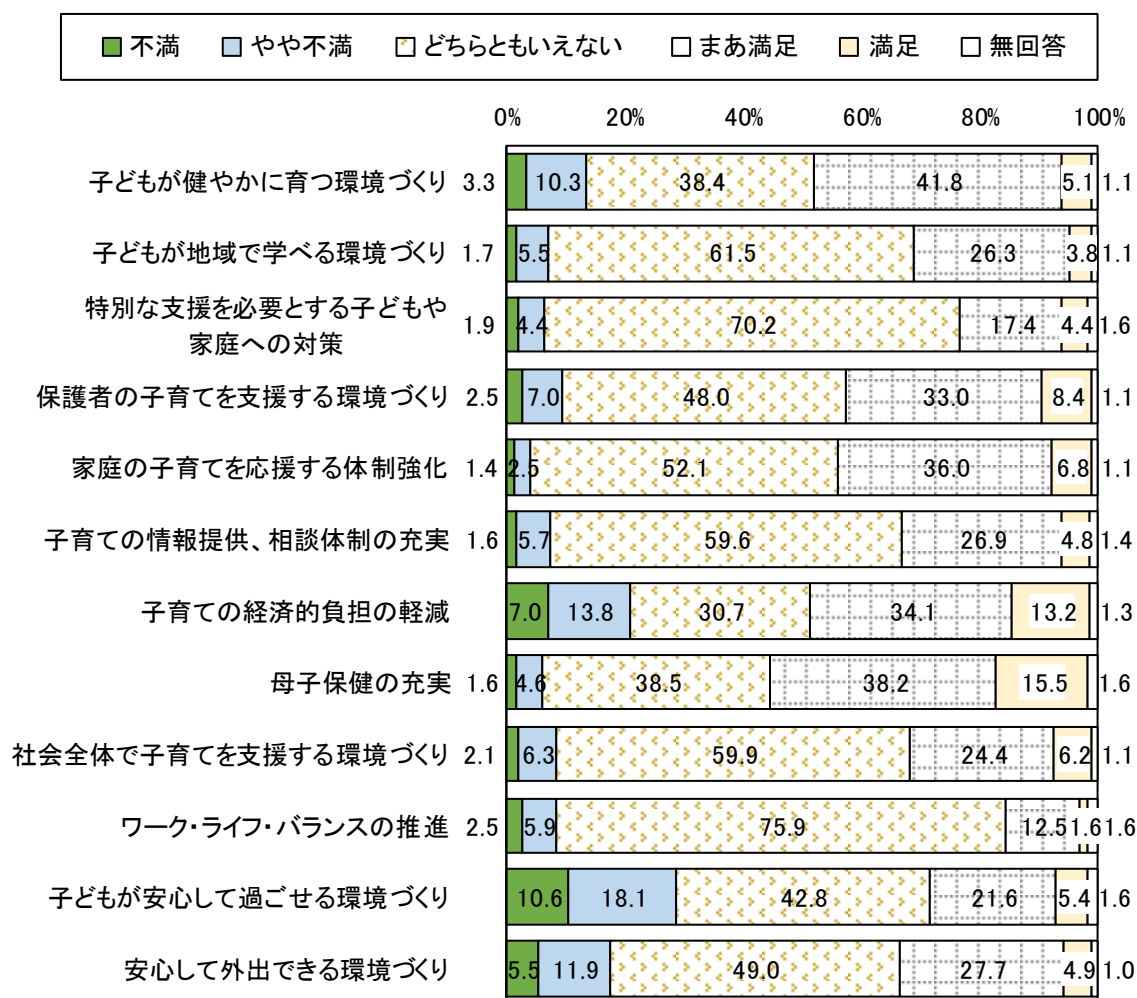
(4) 久喜市の子育て支援の取組に対する満足度

問25 久喜市の子育て支援の取組についてどのように思いますか。  
現在の満足度と今後の重要度をそれぞれお答えください。(それぞれ1つに○)

久喜市の子育て支援の取組についての満足度は、大別して、『不満』（「不満」、「やや不満」の合計）が多い順に、「子どもが安心して過ごせる環境づくり」（28.7%）、「子育ての経済的負担の軽減」（20.8%）、「安心して外出できる環境づくり」（17.4%）、「子どもが健やかに育つ環境づくり」（13.6%）、「保護者の子育てを支援する環境づくり」（9.5%）となっています。

一方、『満足』（「満足」、「まあ満足」の合計）が多い順では、「母子保健の充実」（53.7%）、「子育ての経済的負担の軽減」（47.3%）、「子どもが健やかに育つ環境づくり」（46.9%）、「家庭の子育てを応援する体制強化」（42.8%）、「保護者の子育てを支援する環境づくり」（41.4%）となっています。

(n=631)

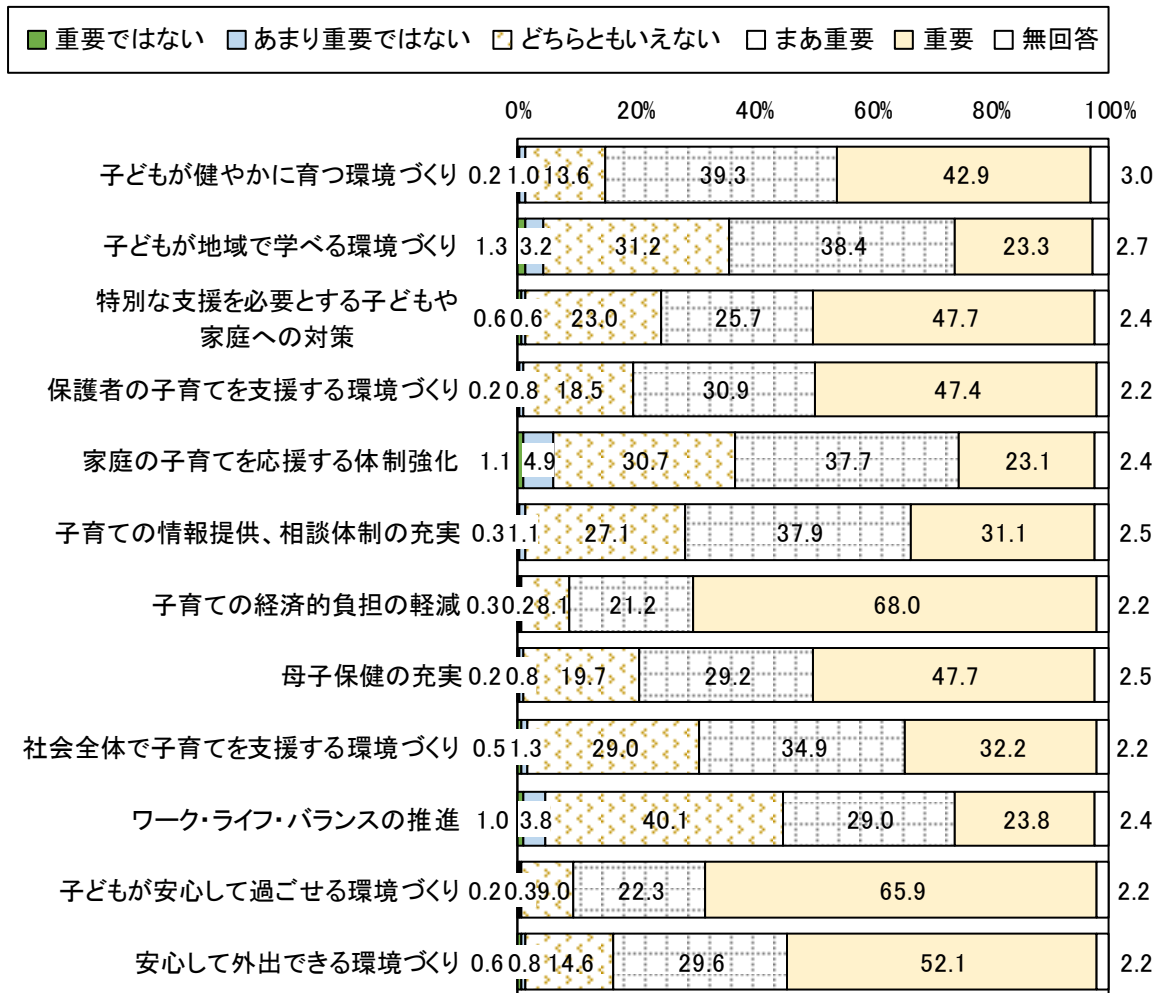


(5) 久喜市の子育て支援の取組に対する今後の重要度

問25 久喜市の子育て支援の取組についてどのように思いますか。  
現在の満足度と今後の重要度をそれぞれお答えください。(それぞれ1つに○)

久喜市の子育て支援の取組に対する今後の重要度は、大別して、『重要である』（「重要」、「まあ重要」の合計）が多い順では、「子育ての経済的負担の軽減」（89.2%）、「子どもが安心して過ごせる環境づくり」（88.2%）、「子どもが健やかに育つ環境づくり」（82.2%）、「安心して外出できる環境づくり」（81.7%）、「保護者の子育てを支援する環境づくり」（78.3%）となっています。  
一方、突出して重要度が低い項目は見られませんでした。

(n=631)



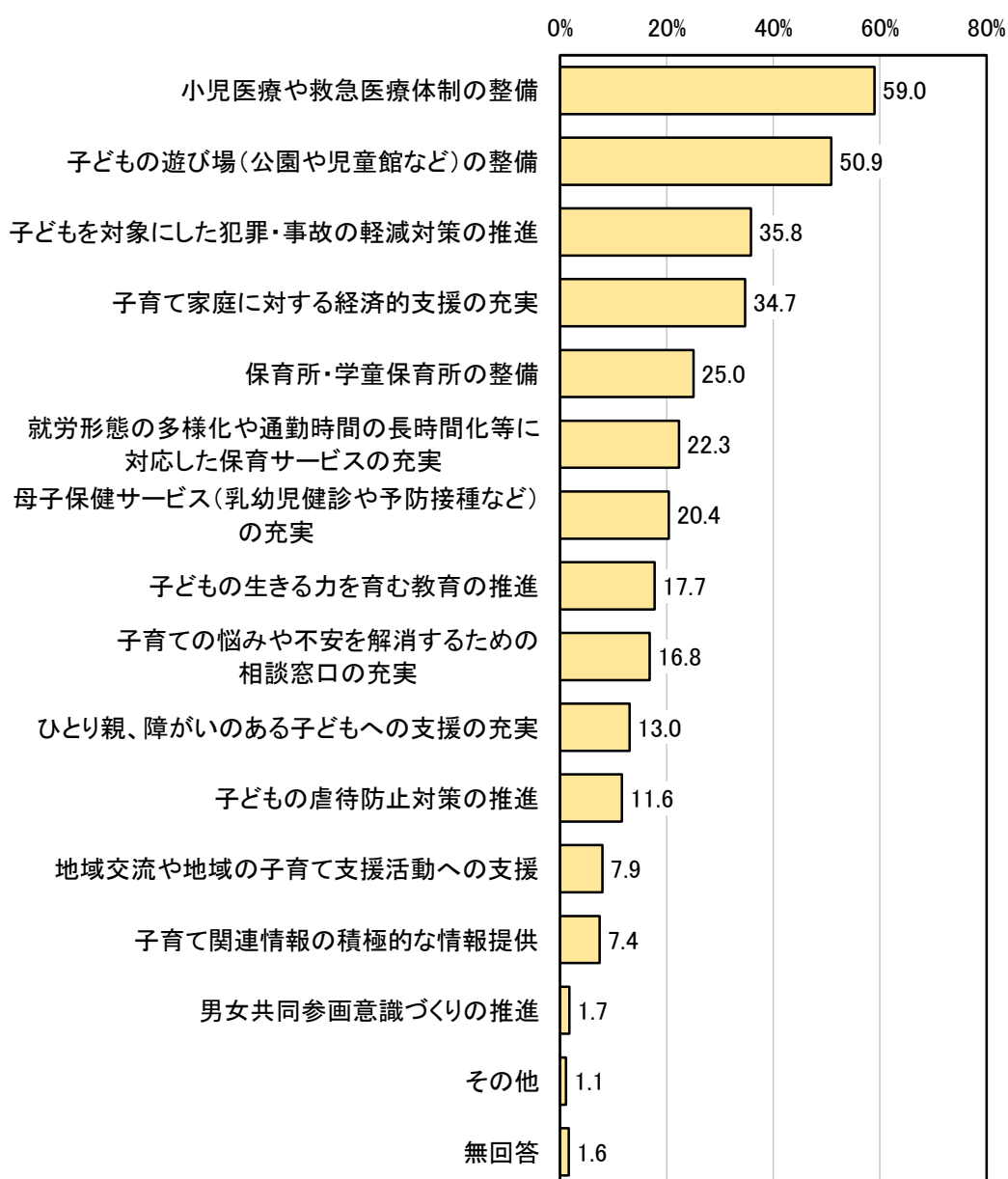


## (6) 今後充実していくべきと思うもの

問26 今後、久喜市の子育て環境を良くしていくために、ぜひ充実していくべきだと思うものはありますか。  
(あてはまるもの3つまでに○)

今後、子育て環境を良くするために充実していくべきものは、「小児医療や救急医療体制の整備」が59.0%で最も多く、次いで「子どもの遊び場（公園や児童館など）の整備」が50.9%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減対策の推進」が35.8%、「子育て家庭に対する経済的支援の充実」が34.7%、「保育所・学童保育所の整備」が25.0%となっています。

(n=631)

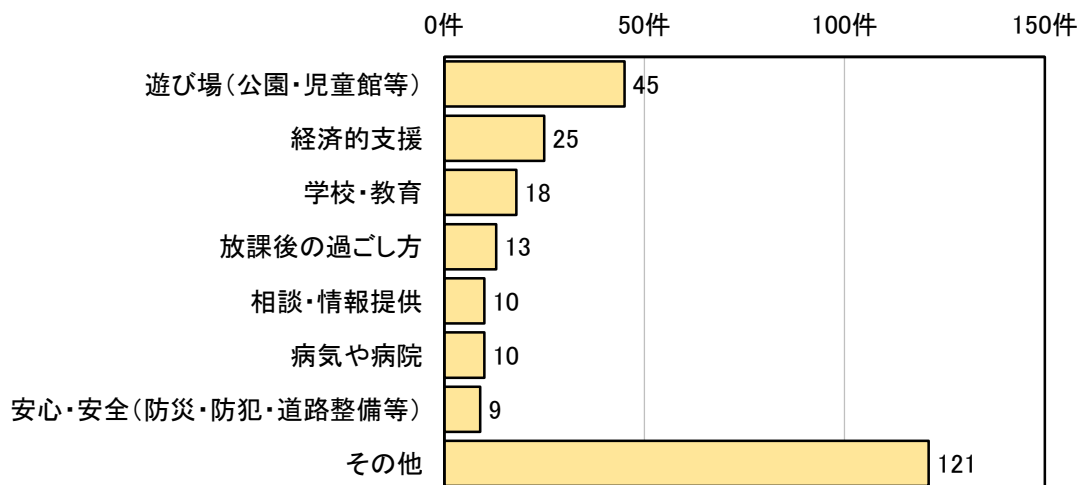


(7) 自由記述

問27 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見を、ご自由にご記入ください。

自由記述として、251件の記述がありました。最も件数の多かった記述は「遊び場」で45件、次いで「経済的支援」が25件、「学校教育」が18件などとなっています。

(n=251)



■主な記述内容

記述区分
<p>遊び場（公園・児童館等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生でも満足できるような大きな公園（遊具もたくさんある）があることが望ましいです。</li> <li>・北本市や上尾市などのように、充実した児童館や大きな遊具が多い公園がほしい。</li> <li>・公園、遊具を新しくしたり増やしたりして欲しい。</li> <li>・遊具のある公園が近くに無いので、子どもたちが遊べる公園（ボール遊び等もできる広場もある）があったらいいと思います。</li> </ul>
<p>経済的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多子家庭へもっと手厚い支援を頂きたいです。</li> <li>・高校生まで医療費の無料化を拡大してほしい。</li> <li>・率直な意見として経済的な支援が一番助かります。</li> <li>・予防接種も公的支援も増えてきましたが、インフルエンザの予防接種も支援して頂けると大変助かります。</li> </ul>
<p>学校・教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の自校式給食（学校での調理）がなくなるのはとても残念に思います。存続して欲しかったです。</li> <li>・不登校の子ども（特に障がいのある子ども）の居場所がない。適応教室にも入れないので、フリースクールなどを充実させてほしい。</li> </ul>

記述区分
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいと言われている子どもや、グレーゾーンと言われている子どもの教育に関わる人材の確保、育成に努めて頂けると、子どもたち一人一人により良い教育ができるのではないかと思います。</li> <li>・児童館などの整備も当然大事なのですが、まずは小学校内の施設整備をお願いしたい。新しいものを何か整備する以前に、現状困っていることから1つ1つ直してもらいたいです。</li> </ul>
<p>放課後の過ごし方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有料でもよいので、習字、そろばんなど放課後の教育活動など充実してほしい。</li> <li>・学童クラブの祝日の受け入れと、学級閉鎖時の子どもの受け入れを希望します。</li> <li>・学童の設備に差があります。学童を利用していますが、非常に狭く、遊ぶ場所、勉強する場所を分けられるくらいの広さが欲しいです。</li> <li>・学童保育の終了時間が19時15分となっており、その時間ではお迎えが間に合わない日もあり、利用できません。20時まで延長できると非常に助かります。</li> </ul>
<p>相談・情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共働き世帯が増加していく中で、時代のニーズに適した子育て環境の整備をお願いしたい。ネットを活用した情報提供の充実をお願いしたい。</li> <li>・教育、保育について色々な場所へ行かなくてはならず、どこへ相談していいのかわからないことも多い。1つの場所で解決できるような施設があると何かあった時にありがたい。</li> <li>・育児相談ができる体制がまだまだ限られていると思います。育児は毎日のことで辛い時はすぐにでも聞いてもらいたいのので、平日2～3日、土日どちらか1日、夕方くらいまで相談できるようにしてもらいたいです。</li> </ul>
<p>病気や病院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児医療の充実を強く望みます。</li> <li>・小児医療の救急体制に是非力を入れて欲しいと願っています。親が笑顔で子育てができるように、万が一の時の小児医療の救急体制ですが、少しでも安心できるように願っています。</li> </ul>
<p>安心・安全（防災・防犯・道路整備等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者情報が頻繁に出され、我が子も何度か怖い思いをしています。主要道路だけでなく住宅街もパトロールをしていただけると助かります。</li> <li>・子どもが安全に楽しく暮らせる場所づくりをお願いします。</li> <li>・中学校が統合することにより、通学路の外灯を増やすこと、人通りの少ない時の安全を守る支援をしてほしいです。</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリー・サポート・センターの説明会や実際にサポートして頂く方の面談等、平日の17時までなので、少し時間を延長して頂けたら助かります。働いている方に有効な制度なので、手続き等配慮して頂けると幸いです。</li> <li>・市内に小学校低学年までの子どもを育てながら、更に要介護の高齢者と同居しているような保護者はどのくらいいるのでしょうか。子どもをみてもらえる祖父母や知人がいるかだけでなく、祖父母のケアをしている家庭がある事も視野に入れた調査や援助も必要かと思います。</li> </ul>

記述区分

- ・今回のアンケートの回答に関して、あてはまる部分がありませんでした。小学校に入学すると一気に子育てが楽になり、就学前までの園の大切さを強く感じています。これから赤ちゃんを育てる方が充実されるようになれば良いと思いながら記入しました。
- ・父母ともに共働きをしています。フルタイムで働いていますが、子育ての主を担うのは母親です。夫の協力なしにはやっていけません、母親が負担することが多いと感じています。お父さんたちの意識改革をはかるような働きかけを市でも行ってもらいたいです。

久喜市子育て支援に関するアンケート調査  
結果報告書

発行 平成31年3月

編集 久喜市役所 福祉部 子育て支援課

〒346-8501 埼玉県久喜市下早見 85-3

Tel 0480-22-1111 (代表)

URL <https://www.city.kuki.lg.jp/>